

平成 24 年版

(平成 25 年刊行)

# 富山県消防防災年報



富山県消防課

富山県防災・危機管理課

## ま え が き

この年報は、県内各市町村及び消防機関からの報告に基づいて、平成25年4月1日現在の消防防災体制と、平成24年中の消防防災の現況をとりまとめたものです。

本県は、出火件数の少なさ・出火率（人口1万人当たりの出火件数）の低さにおいては、全国トップレベルにあり、平成3年以降、22年連続して出火率全国最小という輝かしい記録を継続中であります。

この背景には、消防機関をはじめ、幼少年消防クラブ、婦人防火クラブ、自主防災組織など各種団体や県民の皆様が「自分の家や職場から火を出さない。自分の身は自分で守る。」を合い言葉に、地道で粘り強い防火活動を続けてこられた結果だと思えます。あらためて、県民一人ひとりの高い防火意識に心から感謝申し上げます。

しかしながら、平成24年中の火災による死者数は19人と、前年の平成23年から1人増加しており、65歳以上の高齢者が半分近くを占めております。

このことから、今後の高齢化の進展に伴い、特に住宅火災による死者数の増加が懸念されるところであります。

また、近年は自然災害が多発するとともに、消防・防災を取り巻く環境も複雑多様化大規模化し、消防防災に対する県民の感心と期待はますます大きなものとなっております。

こうした中で、今後の消防防災行政を推進するうえで、本書が関係各位に広く御活用いただければ幸いと存じます。

終わりに、年報作成にあたりご協力をいただいた県内各市町村及び消防関係機関の皆様に対し厚くお礼申し上げます。

平成25年12月

富山県消防課長

岡 本 達 也



# 目 次

## 第1章 消 防 の 概 況

1. 市町村の消防体制	1
2. 消防機関相互の協力体制	1
3. 消防体制等の概況	1
第1図 富山県消防の概況図	2
第1表 消防体制等の状況	3

## 第2章 消防組織及び消防職団員

1. 消防本部、署所及び消防団の現況	4
2. 消 防 職 員	4
第1表 消防吏員数及び平均年令の推移	4
3. 消 防 団 員	4
第2表 消防団員数及び平均年令の推移	4

(市町村別資料)

第3表 消防本部・署所及び消防団の現況	5
第4表 消防職員数	6
第5表 消防団員数及び報酬等	7
第6表 年齢別・在職年数別消防吏員数	8
第7表            "          消防団員数	9
第8表 消防吏員の退職者及び公務による死傷者	10
第9表 消防団員の退職・新任状況	11
第10表 消防団員の公務による死傷者	12

## 第3章 消 防 施 設

1. 消防ポンプ自動車等	13
第1表 消防ポンプ自動車等の状況	13
2. 消 防 水 利	13
第2表 消防水利の状況	13
3. 消 防 用 無 線	14
第3表 消防用無線の状況	14
4. 消防施設充足状況	14
第4表 消防施設充足率の推移	14

(市町村別資料)

第5表 消防ポンプ自動車等の現況 (消防本部・署)	15
第6表 消防ポンプ自動車等の現況 (消防団)	17
第7表 化学消火薬剤備蓄状況 (市町村分)	19
第8表 消防水利の現況	20

第9表	消防・救急業務用無線の状況	21
第10表	火災通報施設等の現況	22

#### 第4章 消防財政

第1表	国庫補助金による消防施設整備状況	23
第2表	県費補助金による消防施設整備状況	23

#### 第5章 消防機関の活動状況

1.	消防本部・署の活動状況	24
2.	消防団の活動状況	24
第1表	消防機関の活動状況	24
(市町村資料)		
第2表	消防本部・署の出動回数	25
第3表	〃 の出動延人数	26
第4表	消防団の出動回数	27
第5表	〃 の出動延人数	28

#### 第6章 火災予防

1.	火災予防運動	29
2.	第58回文化財防火デー	30
3.	防火管理体制	30
4.	民間防火組織	31
第1表	甲種防火対象物防火管理者選任状況	32
第2表	乙種防火対象物防火管理者選任状況	33
第3表	幼年消防クラブ及び少年消防クラブの現況	34
第4表	婦人防火クラブの現況	35
5.	表示、公表制度	36
第5表	防火基準点検済証及び防火優良認定書交付状況	36
6.	消防設備士	36
第6表	平成24年度消防設備士試験実施結果	37
第7表	〃 免状交付状況	37
第8表	〃 法定講習実施状況	37

#### 第7章 火災の実態

1.	概要	38
第1表	火災の概況	38
図一1	最近10年間の火災の推移	39
図一2	〃 火災の傾向	39

第2表	1日当たり及び1件当たりの火災の概況	40
2.	出火件数	40
(1)	火災種別出火件数	40
第3表	火災種別出火件数の構成割合	40
(2)	四季別出火件数	40
第4表	四季別出火状況	40
(3)	出火率	41
図一3	出火率の推移	41
(4)	市町村別出火件数	41
(5)	市町村別出火率	41
第5表	市町村別出火件数及び出火率	41
3.	損害額	42
第6表	損害額の推移	42
第7表	火災種別損害額	42
4.	出火原因	42
図一4	出火原因別火災件数	42
第8表	発火源別火災件数	43
第9表	経過別火災件数	43
第10表	着火物別火災件数	44
第11表	総合出火原因別、主な損害状況及び月別出火原因	45
第12表	過去5年の原因別出火件数	46
第13表	市町村別出火原因	47
5.	火災による死傷者	48
第14表	過去5年の死因別死者発生状況の推移	48
第15表	過去5年の火災による負傷者の推移	48
第16表	火災種別、月別死傷者数	49
図一5	月別死傷者数	49
第17表	年齢別、月別死者数	50
図一6	年齢別死者数	50
6.	建物火災	50
(1)	出火件数	50
(2)	焼損床面積及び損害額	50
図一7	月別建物火災の状況	51
図一8	過去10年の建物火災1件当たり焼損面積	51
7.	林野火災	52
図一9	林野火災の推移	52
8.	車両火災	53
図一10	車両火災の推移	53

9. その他火災	53
10. 統計図表	54
図一11 富山県内市町村別出火率	54
第18表 月別火災発生及び損害状況	55
第19表 市町村別火災発生及び損害状況	56
第20表 市町村別・月別火災発生状況	57
第21表 発火源別火災件数	58
第22表 経過別火災件数	61
第23表 着火物別火災件数	62
第24表 火災による死者	63
第25表 死に至った経過と年齢別の状況	64
第26表 主要火災	65
第27表 建物火災の用途別出火件数	67
図一12 建物火災の用途別出火件数	67
第28表 年次火災統計（昭和21年以降）	68
第29表 富山県における過去の大火記録	70

## 第8章 危険物規制

1. 危険物施設の現況	71
(1) 危険物の規制	71
(2) 危険物施設数	71
第1表 危険物施設数の推移	71
第2表 危険物規制対象施設数一覧表	72
第3表 数量別危険物製造所等数（完成検査済証交付施設）	73
第4表 類別危険物製造所等数（完成検査済証交付施設）	74
第5表 容量別屋外タンク貯蔵所数（危険物類別）	75
第6表                    "                  （第4類の内訳）	75
(3) 危険物施設の区分構成	76
図一1 危険物施設構成比（施設別）	76
(4) 危険物施設の規模別構成	76
図一2 危険物施設構成比（規模別）	76
(5) 地域別分布状況	77
図一3 危険物施設の地域別分布状況	77
2. 危険物施設の自主保安	78
第7表 危険物保安統括管理者等の選任、設置事業所数	78
3. 危険物施設の保安検査	78
第8表 危険物施設の保安検査実施状況	78
4. 危険物施設への立入検査	78

5. 危険物施設等の事故	79
第9表 危険物製造所等における事故	79
第10表 危険物施設等における火災・流出事故件数	81
第11表 危険物施設等における事故の発生原因	81
6. 危険物取扱者	82
(1) 危険物取扱者試験	82
(2) 危険物取扱者保安講習	82
第12表 危険物取扱者試験の実施状況	82
第13表 危険物取扱者免状の交付状況	82
第14表 危険物取扱者の保安に関する講習の実施状況	82

## 第9章 救急・救助業務

1. 救急業務実施体制	83
第1表 救急業務実施体制	83
2. 救急活動状況の概要	84
第2表 事故種別救急出場件数	84
第3表 事故種別救急搬送人員	84
第4表 年齢区分別救急搬送人員	84
第5表 傷病程度別救急搬送人員	84
第6表 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員	85
図一1 救急出場件数及び救急搬送人員の推移	86
図一2 事故種別救急搬送人員及び割合の推移	87
第7表 現場到着所要時間別出場件数	88
第8表 収容所要時間別搬送人員	88
第9表 曜日別月別搬送人員	89
図一3 曜日別搬送人員	89
図一4 月別搬送人員	89
図一5 時間別搬送人員	90
第10表 事故種別転送回数別搬送人員	90
第11表 管内管外別搬送人員	90
第12表 発生場所別搬送人員	90
第13表 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員	91
図一6 急病にかかる疾病分類別搬送人員	91

### (市町村別資料)

第14表 救急出場件数	92
第15表 現場到着所要時間別出場件数	93
第16表 救急搬送人員	94
第17表 年齢区分及び傷病程度別搬送人員	95



第18表	収容所要時間別搬送人員	96
第19表	救急医療体制（医療機関数）	97
第20表	医療機関別搬送人員	98
第21表	救急隊員の行った応急処置件数	100
3.	高速自動車国道救急実施状況	102
第22表	高速自動車国道における救急体制	102
第23表	北陸及び東海北陸自動車道I・C別救急出場件数及び搬送人員	102
4.	救助業務実施体制及び活動状況	103
第24表	救助業務実施体制	103
第25表	事故種別救助出動件数	104
第26表	事故種別救助活動件数	104
第27表	事故種別救助人員	104
第28表	事故種別活動人員	104
(市町村別資料)		
第29表	事故種別救助出動件数	105
第30表	事故種別救助活動件数	106
第31表	事故種別救助人員	107
第32表	事故種別救助活動人員	108

## 第10章 航空消防防災活動の概要

1.	消防防災ヘリコプター運航の目的	109
2.	運航体制	109
3.	活動範囲	109
4.	ヘリコプターの機種及び装備	109
5.	緊急運航	110
6.	ヘリコプターの活用状況	110
7.	飛行場外離着陸場（ヘリポート）	110

## 第11章 消防表彰

1.	国の表彰	111
第1表	国が行う各種表彰の受賞状況	111
2.	県の表彰	112
第2表	県が行う各種表彰の受賞状況	112

## 第12章 消防教育訓練

1.	消防学校の沿革	113
2.	学校施設の概要	113
3.	学校教育の内容	113

4. 教育訓練の実施状況	115
第1表 消防職員の教育訓練実施状況	116
5. 消防学校以外の教育訓練	117
第2表 平成24年度消防学校教育訓練実施表	118
第3表 消防大学校へ派遣した職員数	119

### 第13章 防 災 の 概 況

防災対策の推進	120
1. 災 害 対 策	120
2. 石油コンビナート災害対策	120
3. 震 災 対 策	120
4. 雪 害 対 策	122
5. 原子力災害対策	122
平成24年度富山県総合防災訓練の実施	124
平成24年（2012年）の気象概況	130
第1表 平成24年災害別被害状況	134
第2表 防災会議及び地域防災計画等の現況	136
第3表 防災・震災対策の状況	138
第4表 防災・震災訓練の状況	140
第5表 災害対策啓発事業の実施状況	141
第6表 防災無線通信施設等の状況	142
第7表 自主防災組織の現況	144
第8表 災害危険箇所等の現況	147
第9表 避難場所・施設等の状況	150
第10表 備蓄等の状況	151
第11表 相互応援協定の状況	152
富山県高度情報通信ネットワーク回線構成図	153

### 第14章 国 民 保 護 の 概 況

国民保護の普及推進	154
-----------	-----

防災関係機関連絡先一覧表	155
--------------	-----



# 第1章 消 防 の 概 況

## 1. 市町村の消防体制(第1図参照)

平成 25 年 4 月 1 日現在、一部事務組合構成市町村を含め 15 市町村すべてが消防本部、署を常備している。

なお、魚津市、滑川市、上市町及び舟橋村は、消防事務を富山県東部消防組合(平成 25 年 3 月 31 日消防本部設置)で行い、黒部市、入善町及び朝日町は、新川地域消防組合(平成 25 年 3 月 30 日消防本部設置)で行い、砺波市、小矢部市及び南砺市は、砺波地域消防組合(平成 23 年 4 月 1 日消防本部設置)で行っている。

## 2. 消防機関相互の協力体制

昭和 44 年 2 月 7 日に消防組織法第 21 条第 2 項の規定に基づく「富山県市町村消防相互応援協定」を県内全市町村が締結し、協力体制の整備を図っている。

応援の具体的内容は次のとおりである。

- (1) 火災防御のための消防隊の派遣
- (2) 大規模な災害事故における救助隊及び救急隊の派遣
- (3) その他の災害に際し、防御に必要な人員及び資機材の援助

## 3. 消防体制等の概況

平成 25 年 4 月 1 日現在の消防組織、消防施設の状況並びに平成 24 年の消防機関の活動状況は第1表のとおりである。

# 第 1 表 消防体制等の状況

## 1 消防体制 (25. 4. 1 現在)

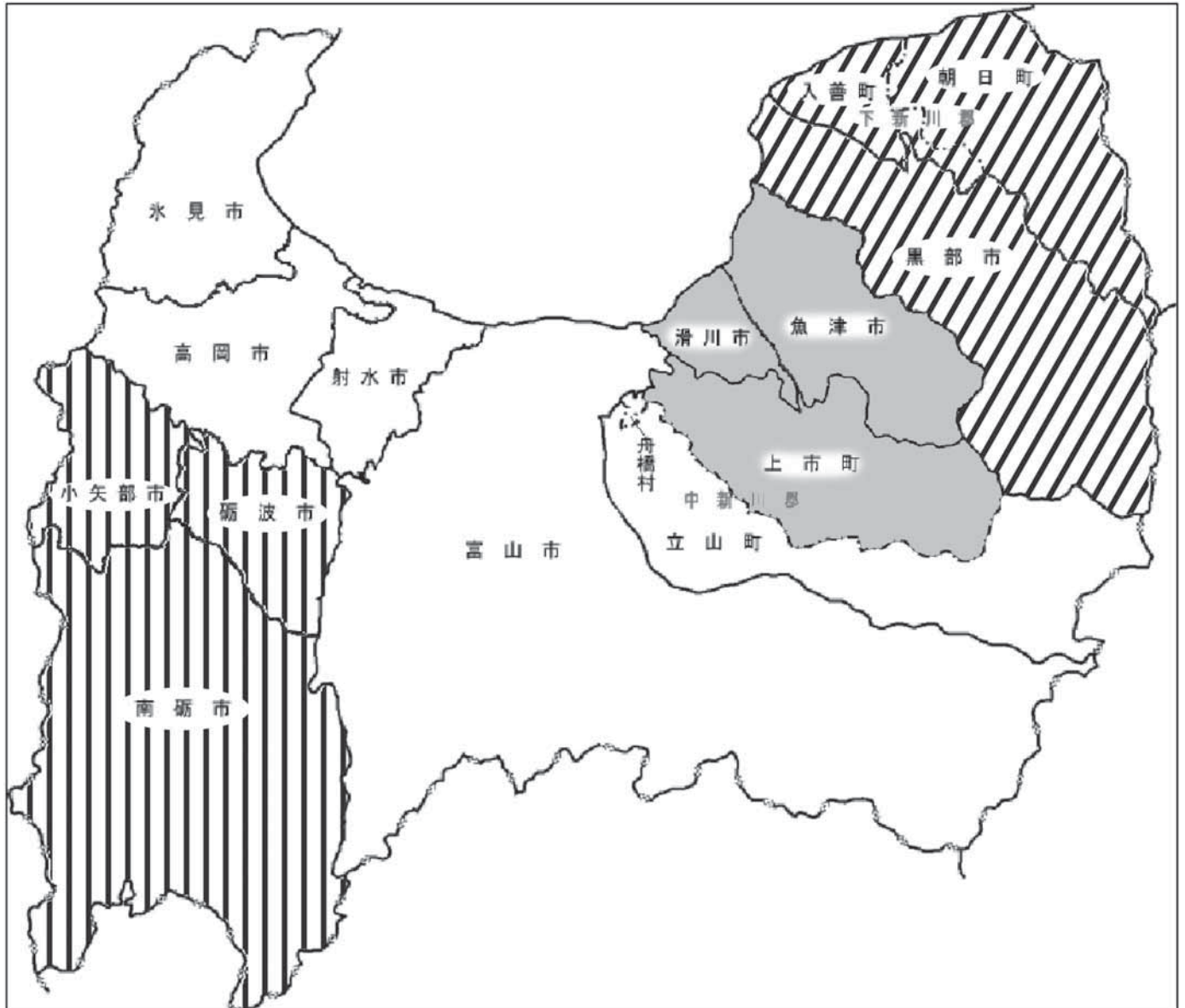
消防本部	設置別	消防本部のみ設置	8
	消防本部・署併設		26
消防本部	出張所数	20	1,308
	消防吏員	13	1,321
消防本部	消防職員		7
	専任		1
消防本部	市長の兼任		
	助役の専任		
消防本部	事務取扱		
	組合管理		
消防本部	消防団数	15	
	消防団員数	320	
消防本部	常備出張所数		
	常備機関員の配置箇所数		
消防本部	役場消防等の配置数		
	計		9,565
消防本部	非常勤団員数		9,565
	うち役場消防等の職		
消防本部	常勤団員数		
	消防本部・署	45 台	310 台
消防本部	普通消防ポンプ自動車	43	1
	水槽付消防ポンプ自動車	11	
消防本部	はしご付消防(ポンプ)自動車	4	
	屈折はしご付消防(ポンプ)自動車	2	
消防本部	大型高所放水車	2	
	泡原液搬送車	15	
消防本部	化学消防自動車	64	
	救急自動車	24	2
消防本部	無線指揮車	3	
	消防指揮車	2	103

## 2 活動概況 (24. 1. 1~24.12.31)

消防本部	区分	出動回数(回)	出動人員(人)
	全	69,482	217,020
消防本部	うち火災	217	4,369
	” 救急業務	37,873	116,721
消防本部	” 演習訓練	1,085	9,072
	” 広報指導	5,860	14,923
消防本部	” 警防調査	4,608	11,887
	” 予防巡察	14,008	33,218
消防本部	全	6,627	128,486
	うち火災	177	6,736
消防本部	” 演習訓練	1,190	37,220
	” 特別警戒	1,355	25,032

# 第1図 富山県消防の概況図

(平成25年4月1日現在)



- 単独常備市町 5市町
- ▨ ▩ ▪ 組合常備市 10市町村

## 第2章 消防組織及び消防職団員

### 1. 消防本部、署所及び消防団の現況(第3表参照)

平成25年4月1日現在、県内の消防組織は、消防本部8、消防署26、出張所20、消防団15、分団320となっている。

### 2. 消防職員(第4、6、8表)

消防職員数は1,321人で、そのうち消防吏員は1,308人であった。消防吏員の平均年令は、満38.1才で前年の満38.4才を下回った。

平成24年度中の退職者は42人で、そのうち定年等によるものが36人であった。

第1表 消防吏員数及び平均年令の推移

(各年4月1日現在)

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年
消防吏員数(人)	1,269	1,281	1,287	1,294	1,303	1,308
平均年令(才)	39.9	39.2	38.6	38.4	38.4	38.1

### 3. 消防団員(第5、7、9、10表参照)

消防団員数は9,565人で前年の9,594人に比べ、29人減少した。

消防団員の平均年令は、満43.5才で前年の満43.4才を上回った。

退職団員は524人で、この内訳は、自己都合による者が457人、定年等による者が51人、傷病による者が5人、死亡11人であった。

第2表 消防団員数及び平均年令の推移

(各年4月1日現在)

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年
消防団員数(人)	9,694	9,703	9,712	9,618	9,594	9,565
平均年令(才)	42.9	43.1	43.2	43.2	43.4	43.5





# 第4表 消防職員数

[平成25年 4月 1日現在]

区分	消防職員													条例定員		
	消		防				職				員					
	計	うち女性	消防総監	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員		うち女性	
市町村名																
富山市	475	8			1	11	18	52	91	152	6	144				474
高岡市	228	2			1	7	9	30	59	52	20	48	2	2		228
魚津市																
水見市	52						1	11	14	11	3	12				52
滑川市																
黒部市																
砺波市																
小矢部市																
南砺市																
射水市	116					1	5	23	37	49			1			115
舟橋村																
上市町																
立山町	32						1	9	8	2		12				32
入善町																
朝日町																
砺波地域	191	3				1	9	39	65	35		39	3			188
富山県東部	110	2				1	4	22	29	23	3	24	4	2		117
新川地域	117					1	4	9	42	16	5	37	3			117
合計	1,321	15			2	22	51	195	345	340	37	316	13	4		1,323







第 8 表 消防吏員の退職者及び公務による死傷者

区分	退職者 (24. 4. 1~25. 3. 31)										公務による死傷者 (24. 1. 1~24. 12. 31)										
	退職 吏員 数	年 令 別						退 職 事 由 別				計	火 災	風 水 災 害 等 害	救 急 業 務	演 習 訓 練	特 別 警 戒	捜 索	そ の 他		
		20 才 未 満	2030 才 以 上 満	3040 才 以 上 満	4050 才 以 上 満	5055 才 以 上 満	5560 才 以 上	60 才 以 上	自己都合(在職年数別)		傷病・死亡									定年等 (免職等 合)	
市町村名																					
雷山市	10																			1	
高岡市	10	2			1	7														2	
魚津市																					
水見市	4					4															
滑川市																					
黒部市																					
砺波市																					
小矢部市																					
南砺市																					
射水市	3																				3
舟橋村																					
上市町																					
立山町	2					1															1
入善町																					
朝日町																					
砺波地域	10	1																			9
富山県東部	1																				1
新川地域	2	1																			1
合 計	42	4				2					36	4			2						36
																					1
																					7
																					5



第10表 消防団員の公務による死傷者

[24.1.1~24.12.31]

区分 市町村名	死 傷 者							
	計	火災	風水害等の災害	救急業務	演習・訓練等	特別警戒	捜索	その他
富山市								
高岡市	1							1
魚津市								
氷見市	1				1			
滑川市								
黒部市								
砺波市	1				1			
小矢部市	2				2			
南砺市								
射水市								
舟橋村								
上市町								
立山町								
入善町								
朝日町								
砺波地域								
富山県東部								
新川地域	1				1			
合計	6				5			1

## 第3章 消 防 施 設

### 1. 消防ポンプ自動車等(第5、6表参照)

(1) 消防ポンプ自動車

平成25年4月1日現在、本部・署の消防ポンプ自動車は103で、その内訳は、普通45台、水槽付43台、はしご付11台、屈折はしご付4台である。

消防団の消防ポンプ自動車は311台で、その内訳は普通310台、水槽付1台であった。

(2) 小型動力ポンプ、小型動力ポンプ積載車

小型動力ポンプは、本部・署26台、消防団391台であり、小型動力ポンプ積載車は、本部・署2台、消防団103台であった。

(3) その他

その他の主な消防自動車等としては、県内に化学消防自動車15台、無線指揮車26台、消防艇3隻、資機材搬送車19台がある。

第1表 消防ポンプ自動車等の状況

(単位:台)

区 分	本 部 ・ 署			消 防 団		
	消防ポンプ 自 動 車	小型動力ポンプ		消防ポンプ 自 動 車	小型動力ポンプ	
		ポ ン プ	積 載 車		ポ ン プ	積 載 車
25.4.1 現在	103	24	2	311	288	103

### 2. 消防水利(第8表参照)

平成25年4月1日現在、消火栓は、全体で19,300となった。

防火水槽は前年に比べ9基減少し、4,392基となった。

第2表 消防水利の状況

区 分	消 火 栓			防 火 水 槽					井 戸	その他
	公 設	私 設	計	100 m <sup>3</sup> 以 上	60m <sup>3</sup> ~ 100 m <sup>3</sup> 未 満	40m <sup>3</sup> ~ 60 m <sup>3</sup> 未 満	20m <sup>3</sup> ~ 40 m <sup>3</sup> 未 満	計		
25.4.1 現在(A)	19,290	10	19,300	82	160	3,634	516	4,392	114	192
24.4.1 現在(B)	18,601	49	18,650	82	161	3,632	526	4,401	114	221
(A) - (B)	689	△39	650	±0	△1	2	△10	△9	±0	△29



### 3. 消防用無線(第9表参照)

平成25年4月1日現在、県内の消防用無線局数は1,100局である。

第3表 消防用無線の状況

区 分	固 定 局	基 地 局	移 動 局	そ の 他	計
25.4.1 現在(A)	89	47	959	5	1,100
24.4.1 現在(B)	102	46	921	6	1,075
(A) - (B)	△13	1	38	△1	25

### 4. 消防施設充足状況

消防本部・署のポンプ自動車(はしご付を除く)は、充足率115.8%(88台)となっている。

消防水利の充足率は114.0%(現有数23,806)となっている。

第4表 消防施設充足率の推移

(各年4月1日現在)

区分		年					
		20	21	22	23	24	25
ポン プ 車 (本 部 ・ 署)	現有台数(台)	90	90	88	88	87	88
	充足率(%)	115.4	113.9	111.4	111.4	110.1	115.8
ポン プ (消 防 団)	現有口数(口)	1,077	1,062	1,055	1,052	1,033	-
	充足率(%)	99.3	98.4	97.8	97.5	95.7	-
消 防 水 利	現 有 数	24,243	22,336	23,010	23,197	23,165	23,806
	充足率(%)	102.3	90.6	93.2	93.9	93.8	114.0

※ ポンプ車にははしご付を含まず。

※ 3年毎に基準数の見直しあり。

※ 基準値は平成24年4月1日現在で実施された「平成24年度消防施設整備計画実態調査」による。平成24年度調査からポンプ(消防団)の基準値の計上が行われなくなった。

第5表 消防ポンプ自動車等の現況（消防本部・署）

[平成25年4月1日現在]

区分 市町村名	普通消防ポンプ自動車 B-1以上	水槽付消防ポンプ自動車 B-1以上	はしご付消防自動車(ポンプ付でない車両を含む)				屈折はしご付消防自動車 (ポンプ付でない車両を含む)	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防車	
			18m以下	24m	30m	38m以上				泡消火型	粉末消火型
富山市	13	15	1			2	1	1	3	1	
高岡市	9	5				1	2		3		
魚津市											
氷見市	3	2			1				1		
滑川市											
黒部市											
砺波市											
小矢部市											
南砺市											
射水市	6	3			1		1	1	1		
舟橋村											
上市町											
立山町		2							1		
入善町											
朝日町											
砺波地域	7	6		2	1				1		
富山県東部	4	3			1		1		3		
新川地域	3	7			1					1	
計	45	43	1	2	5	3	4	2	13	2	



第6表 消防ポンプ自動車等の現況（消防団）

〔平成25年4月1日現在〕

区分 市町村名	普通消防ポンプ自動車		水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防自動車(ポンプ付でない車両を含む)				屈折はしご付消防自動車(ポンプ付でない車両を含む)	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防車	
	B-1以上	B-1以下		18m以下	24m	30m	38m以上				泡消火型	粉末消火型
富山市	79											
高岡市	37											
魚津市	13											
氷見市	20											
滑川市	8											
黒部市												
砺波市		15										
小矢部市		18										
南砺市		35	1									
射水市		26										
舟橋村		1										
上市町		8										
立山町		10										
入善町												
朝日町												
砺波地域												
富山県東部												
新川地域		40										
計		310	1									

第6表 消防ポンプ自動車等の現況（消防団）

区分 市町村名	指揮車	消防艇	林野火災 工作車	電源・照明車	小型動力ポンプ		ヘリコプター	排煙・高発泡車	広報車	空気充填車	資機材搬送車	消火剤投入車	破壊工作車	レッカー車	クレーン車	震災救難車	屈折放水塔車	自動二輪車 全消防活動用	自動二輪車 救急活動用	水槽車		耐煙救出車	支援車	人員搬送車	給食・給水車	移動無線電話車	防災指導車	起震車	水利システム	水消火利用型消防	無人ロボット	その他の車両									
					積載 ポンプ 車付 力	小型 ポンプ 車付 力														積載 ポンプ 車付 力	小型 ポンプ 車付 力																				
富山市					9	33																																			
高岡市					10	9																																			
魚津市					7	19																																			
水見市						52																																			
滑川市	1				5	1																																			
黒部市																																									
砺波市					8	23			2																																
小矢部市					1	1			1																																
南砺市					45	38			2																																
射水市					3	15			1																																
舟橋村	1				1	1																																			
上市町					3	16																																			
立山町					5	30																																			
入善町																																									
朝日町																																									
砺波地域																																									
富山県東部																																									
新川地域					6	32			1																																
計	2				103	245	43		7																																

第7表 化学消火薬剤備蓄状況(市町村分)

[平成25年 4月 1日現在]

区分	化学消火薬剤種別										
	計		たん白系(kl)		合成界面活性剤	水成膜泡消火薬剤	水溶性液体用泡消火薬剤 (葡アルコール用)	粉末 (kg)			
	粉末以外小計 (kl)	粉末小計 (kg)	3%型	6%型	(kl)	(kl)	(kl)	第1種粉末	第2種粉末	第3種粉末	第4種粉末
市町村名	ア~オ	カ~ケ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ
富山市	32.16	100			7.89	19.56	4.71			100	
高岡市	32.08		15.24		1.88	13.9	1.06				
魚津市											
氷見市	1.08			0.16	0.42	0.5					
滑川市											
黒部市											
砺波市	1.67		0.02		1.57	0.08					
小矢部市	0.24				0.16	0.08					
南砺市											
射水市	19.47				1.3	18.17					
舟橋村											
上市町											
立山町	0.31					0.31					
入善町	0.24				0.14	0.1					
朝日町											
砺波地域	4.18		0.13		1.31	2.44	0.3				
富山県東部	3.18				1.14	1.8	0.24				
新川地域	3.12	228			3.02	0.1				228	
計	97.73	328.00	15.39	0.16	18.83	57.04	6.31			328.00	



第9表 消防・救急業務用無線の状況

[平成25年4月1日現在]

区分 市町村名	固定局			基地局及び携帯基地局の数				航空局		移動局					無線局 無線局 計 (ア)~(オ)			
	局 多重	数		基地局	携帯 基地局	計 (イ)	電波の数		局 数 (ウ)	陸上移動 局 数	携帯局数	航空 局 数	船舶局数	計 (エ)		その他の 無線局数 (オ)		
		「その他」 の局の 電波の数	計 (ア)				全国 共通波	県内 共通波									その他	
																	単信波	複信波
富山市	2	2	10	3	1	4	1	205	205					217				
高岡市	2	2	5	3	1	2	1	91	91					100	2			
魚津市								13	13					13				
氷見市		33	1	3	1	2	1	35	12					47				
滑川市								10						10				
黒部市																		
砺波市								58						58				
小矢部市								19						19				
南砺市								54						54				
射水市			2	3	1	3	1	78						78				
舟橋村								6						6				
上市町								11						11				
立山町		2	2	2	1	2	1	41						41	1			
入善町		12	1	1	1	1		19	8					27				
朝日町																		
砺波地域		2	3	3	1	3	1	120						120				
富山県東部		2	2	3	1	7	1	34	40					74	2			
新川地域		34	34	8	1	2		62	43					105				
計	4	85	47	18	9	26	7	856	103					959	5			
															1,100			



第10表 火災通報施設等の現況

[平成25年4月1日現在]

区分	火災報知機			テレビ 監視装置 (基)	様		電 話				救急司令装置		
	受信機	発信機			24時間監視 体制をとつ ているもの	その他 (工)	小計 (ウ)+(エ)	火災報知 専用電話 (回線) (オ)	消 防 機 関 に あ る も の		加入電話 (回線) (キ)	救急司令 専用	救急司令 装置と兼用
		小計(基) (ア)+(イ)	公衆用(基) (ア)						自衛用(基) (イ)	回線 (カ)			
市町村名													
富山市				1			192	16	55	801	121		
高岡市							147	18	15	242	114		13
魚津市													
氷見市				1			21	12			9		1
滑川市							22	6			16		
黒部市													
砺波市													
小矢部市													
南砺市													
射水市							51	10	6	139	35		1
舟橋村													
上市町													
立山町							16	11			5		
入善町							7				7		
朝日町													
砺波地域							68	16	7	170	45		1
富山県東部				1			66	30			36		1
新川地域							50	16	3	68	31		
計				3			640	135	86	1,420	419		17

## 第4章 消 防 財 政

### 第1表 国庫補助金による消防施設整備状況

年度 施設名	平成16 年度	平成17 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度	平成21 年度	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度	平成16～24 合 計
消防ポンプ	1	4	1	1	1		3	1	1	13 台
化学車			1	1						2 台
はしご車						1				1 台
消防団活性化総 合整備事業	3	2								5 式
救助資機材等総 合整備事業	1				3	2				6 式
コミュニティ防災資 機材										0 式
救急業務高度化資 機材緊急整備事業	4		1	3	6	2	2	3	1	22 式
消防緊急通信指 令システム	1									1 式
防災行政無線										0 式
防火水槽										0 基
耐震性貯水槽	9	1	4		4		2	2	9	31 基
消防団拠点施設	2	1								3 棟
その他	1		1		1		3		3	9
補助金額計(千円)	134,509	331,322	127,629	37,105	85,882	74,212	178,461	53,540	173,498	1,196,158

(消防ポンプ自動車、化学車、はしご車、救急業務高度化資機材緊急整備事業には、災害対応を含む。)  
(平成16年度のその他には、富山県のヘリコプター電送システム分を含む。)

### 第2表 県費補助金による消防施設整備状況

年度 施設名	平成16 年度	平成17 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度	平成21 年度	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度	平成16～24 合 計
化学車			1	1			1			3 台
はしご車		1				1				2 台
救助資機材等総 合整備事業					3	2				5 式
救急業務高度化資 機材緊急整備事業	3		1	3	4	2	2	3	1	19 式
消防緊急通信指 令施設	1									1 式
その他		2	1		3				1	7
補助金額計(千円)	34,269	71,730	22,312	9,081	22,267	24,736	8,733	12,380	9,694	215,202

(化学車、はしご車、救急業務高度化資機材緊急整備事業には、災害対応を含む。)  
(その他に消防団拠点施設の整備費に対する補助は含まない。)  
(消防緊急通信指令施設は、平成11年度以降、広域化の場合のみ、県費上乘せ補助を行っている。)

## 第5章 消防機関の活動状況

### 1. 消防本部・署の活動状況

平成24年中の消防本部・署の出動回数は69,482回で、前年68,359回に比べ1,123回(1.6%)増加した。  
出動人員は、217,020人で前年に比べ1,071人(0.5%)減少した。

### 2. 消防団の活動状況

平成24年中に、消防団は6,627回出動し、その出動人員は128,486人であった。前年に比べ出動回数は290回(4.2%)減少し、出動人員は9,704人(8.2%)増加した。

第1表 消防機関の活動状況

[ H24. 1. 1 ~H24.12.31 ]

項 目		平成24年 (A)	平成23年 (B)	増減 (A) - (B) = (C)	増減率 (C) / (B)
消防本部・署	出 動 回 数	69,482 回	68,359 回	1,123 回	1.6 %
	うち 火 災	217 回	239 回	△ 22 回	△ 9.2 %
	〃 救 急 業 務	37,873 回	38,457 回	△ 584 回	△ 1.5 %
	〃 演 習 訓 練	1,085 回	1,382 回	△ 297 回	△ 21.5 %
	〃 広 報 指 導	5,860 回	4,933 回	927 回	18.8 %
	〃 警 防 調 査	4,608 回	4,458 回	150 回	3.4 %
	〃 予 防 査 察	14,008 回	11,929 回	2,079 回	17.4 %
	出 動 人 員	217,020 人	218,091 人	△ 1,071 人	△ 0.5 %
	うち 火 災	4,369 人	3,958 人	411 人	10.4 %
	〃 救 急 業 務	116,721 人	117,926 人	△ 1,205 人	△ 1.0 %
	〃 演 習 訓 練	9,072 人	10,591 人	△ 1,519 人	△ 14.3 %
	〃 広 報 指 導	14,923 人	12,722 人	2,201 人	17.3 %
	〃 警 防 調 査	11,887 人	11,706 人	181 人	1.5 %
〃 予 防 査 察	33,218 人	29,902 人	3,316 人	11.1 %	
消防団	出 動 回 数	6,627 回	6,917 回	△ 290 回	△ 4.2 %
	うち 火 災	177 回	154 回	23 回	14.9 %
	〃 演 習 訓 練	1,190 回	1,437 回	△ 247 回	△ 17.2 %
	〃 特 別 警 戒	1,355 回	1,588 回	△ 233 回	△ 14.7 %
	出 動 人 員	128,486 人	118,782 人	9,704 人	8.2 %
	うち 火 災	6,736 人	6,522 人	214 人	3.3 %
	〃 演 習 訓 練	37,220 人	40,197 人	△ 2,977 人	△ 7.4 %
〃 特 別 警 戒	25,032 人	21,698 人	3,334 人	15.4 %	

第2表 消防本部・署の出動回数

[24.1.1～24.12.31]

区分	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	救急	救助活動	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
市町村名														
富山市	33,080	67	221	350	16,277	166	2,422	2,486	82	601	66	9,040	129	1,173
高岡市	11,105	42	134	222	5,714	85	1,730	521	41	137	1	1,372	49	1,057
魚津市														
氷見市	2,157	6	4	7	1,542	23	77	35	12	16	7	297	11	120
滑川市														
黒部市														
砺波市														
小矢部市														
南砺市														
射水市	4,660	17	113	147	2,872	45	312	29	17	75	4	803	10	216
舟橋村														
上市町														
立山町	1,558	5	6	9	1,136	15	69	42	4	24	1	229	16	2
入善町														
朝日町														
砺波地域	6,761	39	43	131	4,336	84	496	131	44	40		1,274	23	120
富山県東部	5,401	29	23	106	3,401	43	413	263	28	16	6	658	17	398
新川地域	4,760	12	44	113	2,595	39	341	1,101	12	62	45	335	13	48
合計	69,482	217	588	1,085	37,873	500	5,860	4,608	240	971	130	14,008	268	3,134

第3表 消防本部・署の出動延人数

[24.1.1~24.12.31]

区分	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	救急	救助活動	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
市町村名	103,204	1,691	945	2,619	51,789	2,322	7,349	7,225	470	1,823	245	20,834	820	5,072
富山市	37,898	1,145	475	1,702	17,143	1,401	3,745	2,078	229	469	5	4,680	533	4,293
高岡市														
魚津市														
氷見市	6,570	60	14	144	4,629	111	174	100	74	78	41	648	63	434
滑川市														
黒部市														
砺波市														
小矢部市														
南砺市														
射水市	15,600	270	429	1,633	8,633	402	717	175	89	180	24	2,091	60	897
舟橋村														
上市町														
立山町	4,450	47	21	142	3,408	46	107	84	25	48	6	458	51	7
入善町														
朝日町														
砺波地域	20,317	743	249	679	13,174	743	1,138	280	298	133		2,427	94	359
富山県東部	16,419	284	58	1,015	10,153	295	1,038	599	151	50	34	1,360	89	1,293
新川地域	12,562	129	118	1,138	7,792	130	655	1,346	91	163	96	720	44	140
合計	217,020	4,369	2,309	9,072	116,721	5,450	14,923	11,887	1,427	2,944	451	33,218	1,754	12,495

第4表 消防団の出動回数

[24. 1. 1～24.12.31]

区分	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	救急	救助活動	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
市町村名														
富山市	1,337	44	20	56		1	361	2		684	4		25	140
高岡市	1,731	36	45	96		9	1,308	24		145	1		4	63
魚津市	36	9		6			7			11	1			2
氷見市	132	5	1	44				12		5	5		3	57
滑川市	149	3	1	78			56	8		3				
黒部市														
砺波市	71	13	1	14		1	8			7	8			19
小矢部市	44	9	1	5			24			5				
南砺市	1,000	20	9	231			326	116		203	8	2		85
射水市	875	24	17	109			442	15		55	3		3	207
舟橋村	37	1	1	10						3				22
上市町	90	3		11			50	10		8				8
立山町	84	3		5				30		45	1			
入善町														
朝日町														
砺波地域														
富山県東部														
新川地域	1,041	7	60	525			80	36		181				152
合計	6,627	177	156	1,190		11	2,662	253		1,355	31	2	35	755

第5表 消防団の出動延人数

[24.1.1~24.12.31]

区分	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	救急	救助活動	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	搜索	予防査察	誤報等	その他
市町村名														
富山市	19,295	1,518	84	1,249		20	3,922	131		9,686	47		124	2,514
高岡市	17,260	924	258	2,616		468	9,854	259		1,257	4		100	1,520
魚津市	1,227	257		358			45			544	15			8
氷見市	12,240	381	20	3,626				960		1,186	62		75	5,930
滑川市	6,057	62	52	2,804			3,065	30		44				
黒部市														
砺波市	8,029	456	145	2,901		1	2,577			1,483	148			318
小矢部市	2,450	547	6	1,090			120			687				
南砺市	19,249	1,146	201	8,364			2,164	2,891		3,071	237	34		1,141
射水市	22,259	715	748	5,377			5,598	251		2,642	17		19	6,892
舟橋村	480	3	4	175						48				250
上市町	4,310	28		662			2,873	125		486				136
立山町	836	140		355				150		185	6			
入善町														
朝日町														
砺波地域														
富山県東部														
新川地域	14,794	559	572	7,643			523	496		3,713				1,288
合計	128,486	6,736	2,090	37,220		489	30,741	5,293		25,032	536	34	318	19,997

# 第6章 火 災 予 防

## 1. 火災予防運動

春季及び秋季の火災予防運動については、毎年火災の多発期となる 3 月と 11 月に、消防庁の提唱で全国一斉に実施されているが、本県においても県と市町村が中心となって、関係者の協力をもとに住民に対する火災予防思想の普及をはじめ、消防機関による建物の予防査察の実施、各事業所における消火、通報、避難の各種訓練等、多彩な行事を実施し、火災予防に努めている。

なお、富山県では、フェーン現象等の影響により、春の火災予防運動実施期間を 3 月 20 日～3 月 26 日に変更し、車両火災予防運動、山火事予防運動と同時に実施している。

平成 24 年中の実施状況は次のとおりである。

### (1) 春季火災予防運動

ア. 実施期間 平成 24 年 3 月 20 日～3 月 26 日(全国统一実施期間は 3 月 1 日～3 月 7 日)

イ. 統一標語 「消したはず 決めつけしないで もう一度」

ウ. 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- (ウ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (エ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (オ) 林野火災予防対策の推進

エ. 期間中の火災発生件数 2 件 期間中の死傷者(死者 0 名、負傷者 0 名)

### (2) 秋季火災予防運動

ア. 実施期間 平成 24 年 11 月 9 日～11 月 15 日(全国统一実施期間と同じ)

イ. 統一標語 「消すまでは 出ない行かない 離れない」

ウ. 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- (ウ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (エ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

エ. 期間中の火災発生件数 3 件 期間中の死傷者(死者 0 名、負傷者 0 名)

(平成 24 年春 期間中 3/20～3/26)

火災種別	火災件数	死者	負傷者	備考
建 物	2			
住宅	1			
林 野				
車 両				
船 舶				
航空機				
その他				
計	2			

(平成 24 年秋 期間中 11/9～11/15)

火災種別	火災件数	死者	負傷者	備考
建 物	2			
住宅	1			
林 野				
車 両	1			
船 舶				
航空機				
その他				
計	3			



### (3) 車両火災予防運動

ア. 実施期間 平成 24 年 3 月 20 日～3 月 26 日

イ. 重点実施要綱

- (ア) 駅舎及びトンネルの防火安全対策の徹底
- (イ) 危険物品の車両内への持込み禁止
- (ウ) 車両からのたばこの投げ捨て防止
- (エ) 車両の防火安全対策の徹底
- (オ) 食堂車等における火気使用設備の点検、整備の励行
- (カ) 危険物品及び有害物品の安全輸送の励行
- (キ) 水底トンネル等における危険物等を積載する車両の通行の禁止又は制限の遵守

### (4) 山火事予防運動

ア. 実施期間 平成 24 年 3 月 20 日～3 月 26 日

イ. 統一標語 「忘れない 山への感謝と 火の始末」

ウ. 実施要領

- (ア) 枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと
- (イ) たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- (ウ) 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- (エ) 火入れを行う際、許可を必ず受けること
- (オ) たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと
- (カ) 火遊びはしないこと

## 2. 第 58 回文化財防火デー(平成 24 年 1 月 26 日)

昭和 24 年 1 月 26 日の法隆寺金堂火災を契機として、昭和 30 年以降、消防庁と文化庁の共唱により毎年 1 月 26 日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動を展開している。

本県においては、国・県指定の文化財建造物を中心として、県・消防機関等が協力して消火点検・消防訓練等を行っている。

## 3. 防火管理体制

消防法第 8 条は、一定の防火対象物には防火管理者を置き、消防計画の作成、消火、通報及び避難訓練の実施等防火管理上必要な業務を行わせなければならないことを規定している。

平成 25 年 3 月 31 日現在における防火管理者を選任すべき防火対象物は甲種 7,307 対象物、乙種 1,499 対象物の計 8,806 で前年度末に比べ 35(0.4%) 対象物減少している。このうち防火管理者が選任されている対象物は 7,804 対象物で、選任率は 88.6%(前年 87.8%)、また、消防計画届出済防火対象物は 7,182 対象物で、届出率は 81.6%(前年 81.7%)となっている。

防火管理者の選任、消防計画の届出状況は消防機関の指導により改善傾向にはあるが、不十分な面もあり、今後さらに消防機関の強力かつきめ細かい指導が望まれる。

## 4. 民間防火組織

### (1) 幼年消防クラブ

幼年消防クラブは、満9歳以下(小学校4年生以下)の児童、幼稚園、保育園の園児等を対象として編成されており、消防施設見学、防火教室、避難訓練、火災予防運動への参加等を行っている。

平成25年5月1日現在の結成状況は第3表のとおりで、312クラブが編成され、クラブ員は17,873名となっている。

### (2) 少年消防クラブ

少年消防クラブは、10歳以上15歳以下(小学校5,6年、中学校1年～3年)の少年少女により編成され、この年代から火災予防に関する知識を習得し、学校や各家庭における火災発生を防止する目的で組織づくりが進められており、主に学校単位で結成されている。

平成25年5月1日現在の結成状況は第3表のとおりで、192クラブが結成され、25,672名のクラブ員となっており、各クラブ員は、学校教職員、消防職団員の指導のもとに消防施設見学、防火教室、避難訓練、防火ポスターや標語の作成、火災予防に関する研究発表、火災予防運動への参加等の諸活動を通じ、火災予防の重要性の習得に努めている。

また、消防庁及び県では、毎年、優良な少年消防クラブ及び指導者を表彰している。(第11章参照)

### (3) 婦人(女性)防火クラブ

婦人防火クラブは、火災予防の知識を養い、家庭及び地域を火災から守る目的で結成されており、消防職団員の指導のもと、家庭の防火診断、避難訓練、消火器や小型ポンプの操作方法の習得、防火研修会の開催、火災予防運動への参加等の活動を行っている。

平成25年4月1日現在の結成状況は第4表のとおりで、139クラブが結成され、37,002名のクラブ員がいる。

[※第1表～第4表のデータは「消防防災震災対策現況調査」による。]



第2表 乙種防火対象物防火管理者選任状況

防火 対象物 の区分	管理権原が単一の対象物				防火管理者の選任が完全に実施されているもの				管理権原が2つ以上に分かれている対象物				部分的に防火管理者の選任がなされているもの					
	対象物数 A		消防計画 届出済 対象物数		対象物数 B (B≥ C+D+E)		全管理 権原者 が共同し て1人の 防火管 理者を選 任してい る対象物 数 C		防火管理者が2人以上選任されているもの		消防計画		対象物数 E		令第3条 第2項適 用		令第3条 第2項適 用	
	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用	令第3条 第2項適 用
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
□	130	130	45	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	7	6	5	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
□	6	6	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニ	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	8	8	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
□	524	517	445	0	406	0	7	4	0	1	0	4	0	0	0	0	1	0
4	226	226	176	0	152	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	21	21	20	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
□	17	17	11	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
□	9	9	7	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハ	26	26	23	1	21	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニ	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	8	8	8	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	18	18	15	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
□	42	42	36	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	100	100	67	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	8	8	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
□	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
□	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	6	6	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	189	189	141	0	117	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	117	109	86	0	68	0	8	5	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0
□	22	21	17	0	12	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16の2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16の3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	6	6	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高層建築物																		
合計	1,499	1,482	1,130	1	971	1	17	11	0	2	0	6	0	7	0	0	1	0

第3表 幼年消防クラブ及び少年消防クラブの現況

[平成25年5月1日]

区分	幼年消防クラブ		少年消防クラブ数						組織別クラブ員数						組織別クラブ員数			指導者数		
	クラブ数	クラブ員数	計	組織別クラブ数			計	組織別クラブ員数			計	組織別クラブ員数			計	指導者数		その他		
				小学校	中学校	市町村単位		地区単位	その他	小学校		中学校	市町村単位	地区単位		その他	小学校		中学校	
市町村名																				
富山市	124	10,146	91	65	26		15,064	7,576	7,488		91	65	26							
高岡市	54	1,320	27	27			2,972	2,972			102									
魚津市																				
氷見市	10	493	6	6			552	552			20	20								
滑川市																				
黒部市																				
砺波市	5	152	7	7			745	745			7	7								
小矢部市	14	881	5	5			780	780			31	31								
南砺市	16	392	7	4		3	582	553			28	21						7		
射水市	31	829	15	15			1,933	1,933			30	30								
舟橋村																				
上市町																				
立山町	2	208	8	8			565	565												
入善町																				
朝日町																				
砺波地域																				
富山県東部	45	2,435	22	15		7	1,458	1,306			26	16						10		
新川地域	11	1,017	4	3	1		1,021	710	311		43	33	10							
合計	312	17,873	192	155	27	10	25,672	17,692	7,799	181	378	325	36					17		

## 第4表 婦人防火クラブの現況

[平成25年 4月 1日現在]

区分          市町村名	計		市街地		農山村地域		漁村地域		その他	
	組織数	人員数	組織数	人員数	組織数	人員数	組織数	人員数	組織数	人員数
	(ア)～(エ)	(カ)～(ケ)	(ア)	(カ)	(イ)	(キ)	(ウ)	(ク)	(エ)	(ケ)
富山市	69	34,415	69	34,415						
高岡市										
魚津市	2	35			2	35				
氷見市	15	321	2	85					13	236
滑川市	1	29			1	29				
黒部市	4	225	3	217	1	8				
砺波市	1	429							1	429
小矢部市										
南砺市	20	963			20	963				
射水市	11	144	7	81					4	63
舟橋村										
上市町	1	20	1	20						
立山町	5	71			5	71				
入善町	10	350	1	55					9	295
朝日町										
合計	139	37,002	83	34,873	29	1,106			27	1,023

## 5. 表示、公表制度

消防法の改正に伴い、平成15年9月30日をもって防火基準適合表示要綱に基づいて実施されていた適マーク制度が廃止され、同年10月1日より防火対象物定期点検報告制度が導入された。対象となる防火対象物は、(1) 収容人員300人以上の特定防火対象物（消防法施行令第4条の2の2第1号該当）、(2) 30人以上300人未満の防火対象物で、特定用途が3階以上の階又は地階に存するもので、階段が1つのもの（屋外に設けられた階段であれば免除）（消防法施行令第4条の2の2第2号該当）である。対象となる防火対象物の権原を有する者は、防火対象物点検資格者に年に1回の点検を依頼し、結果を消防機関へ報告しなければならない。消防機関が基準に適合したと認定した場合、防火基準点検済証を表示できる。

また防火対象物のすべての部分が3年間継続して消防法令を遵守していると消防機関が認めた場合、特例認定を受け点検・報告が3年間免除されるとともに、防火優良認定書を表示することができる。平成25年3月31日現在の状況は第5表のとおりである。

### 第5表 防火基準点検済証及び防火優良認定書交付状況

(平成25年3月31日現在)

防火対象物の区分	該当防火対象物数 A [A≥B+C]				点検報告済防火対象物数 B [B≤F]						特例認定済防火対象物数 C				点検報告件数 F		認定件数 G		実施率 H (%)			
	第1号該当		第2号該当		第1号該当			第2号該当			第1号該当		第2号該当		第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	第1号該当	第2号該当	合計	
		複 数 権 原		複 数 権 原		基 準 適 合	複 数 権 原		基 準 適 合	複 数 権 原		複 数 権 原		複 数 権 原								第1号 該 当
1	イ	36	0	0	0	14	11	0	0	0	0	19	0	0	0	20	0	7	0	97.1		97.1
	ロ	202	0	3	0	106	50	0	1	1	0	68	0	0	0	115	1	24	0	86.1	33.3	85.4
2	イ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0.0	0.0
	ロ	56	1	1	0	21	12	0	1	0	0	20	0	0	0	23	1	3	0	73.2	100.0	73.7
	ハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ニ	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	100.0		100.0
3	イ	0	0	4	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0		50.0	50.0
	ロ	10	0	41	1	3	1	0	16	3	0	2	0	8	0	3	18	1	2	50.0	58.5	56.9
4		198	8	27	0	98	50	5	11	1	1	59	2	1	0	112	12	18	0	79.3	44.4	75.1
5	イ	51	0	29	0	15	11	0	12	7	1	33	0	12	0	18	11	12	6	94.1	82.8	90.0
6	イ	37	0	14	0	13	7	0	4	3	0	20	0	8	0	14	6	3	3	89.2	85.7	88.2
	ロ	1	0	6	0	0	0	0	1	1	0	1	0	5	0	0	1	0	0	100.0	100.0	100.0
	ハ	8	0	3	0	4	3	0	1	1	0	3	0	2	0	4	1	1	0	87.5	100.0	90.9
	ニ	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	100.0	100.0	100.0
9	イ	5	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	60.0		60.0
16	イ	213	36	39	4	87	50	14	22	8	1	85	13	8	0	111	22	23	2	80.8	76.9	80.2
16の2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0.0
合 計		821	45	169	6	367	197	19	71	26	4	311	15	45	0	426	75	92	13	82.6	68.6	80.2

## 6. 消防設備士

### (1) 消防設備士試験

消防法第17条の8の規定により、消防用施設等の工事及び整備の技術基準を確保するため、消防用設備等の設置及び維持に関して必要な知識及び技能について資格者試験を行っているもので、平成24年度の実施状況は、第6表のとおりである。

また、昭和41年以降における消防設備士免状の交付状況は、第7表のとおりである。

### (2) 消防設備士法定講習

消防設備士は、消防法第17条の10の規定により、都道府県知事が行う講習を受けなければならないこととなっているが、平成24年度の実施状況は、第8表のとおりである。

第6表 平成 24 年度消防設備士試験実施結果

実施日 平成 24 年 8 月 18・19 日,平成 25 年 2 月 3 日

実施場所 富山市

区 分		受 験 者	筆記合格者	合 格 率	実技合格者	最終合格率
甲 種	特 類	7	0	0.0%	0	0.0%
	1 類	95	38	40.0%	17	17.9%
	2 類	12	8	66.7%	2	16.7%
	3 類	13	5	38.5%	2	15.4%
	4 類	219	134	61.2%	75	34.2%
	5 類	17	10	58.8%	4	23.5%
小 計		363	195	53.7%	100	27.5%
乙 種	1 類	70	42	60.0%	16	22.9%
	2 類	6	2	33.3%	2	33.3%
	3 類	7	1	14.3%	0	0.0%
	4 類	92	71	77.2%	44	47.8%
	5 類	11	6	54.5%	3	27.3%
	6 類	211	148	70.1%	87	41.2%
	7 類	70	53	75.7%	44	62.9%
小 計		467	323	69.2%	196	42.0%
合 計		830	518	62.4%	296	35.7%

第7表 平成 24 年度消防設備士免状交付状況

区分	合計	甲 種							乙 種							
		小計	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
平成 24 年度	292	98	0	17	2	2	73	4	194	16	2	0	42	3	87	44
昭和 41 年度 からの累計	12,154	6,028	16	1,522	422	380	3,415	273	6,126	413	106	91	855	160	2,315	2,186

第8表 平成 24 年度消防設備士法定講習実施状況

区分	受講申請者数	受講者数
消 火 設 備	154	154
警 報 設 備	355	355
避難設備・消火器	172	172
計	681	681

実施場所 富山市

実施日 平成 24 年 10 月 2、3、10、11、12、17、19 日

(注) 消火設備とは、甲・乙種 1、2、3 類消防設備士

警報設備とは、甲・乙種 4 類、乙種 7 類消防設備士

避難設備・消火器とは、甲・乙種 5 類、乙種 6 類消防設備士



## 第7章 火災の実態

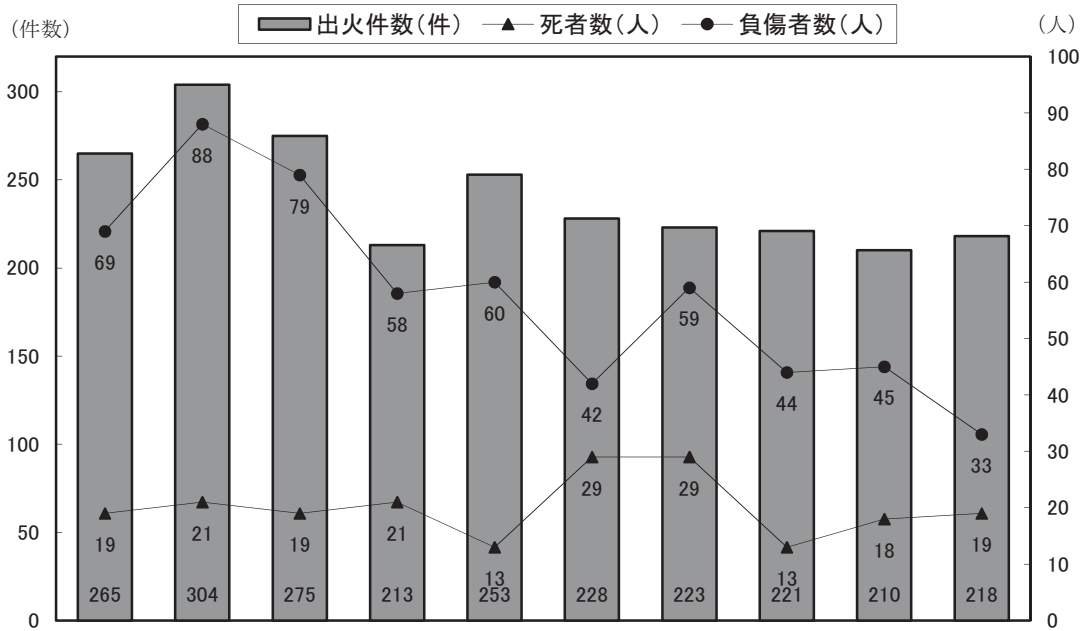
### 1. 概要

平成24年中の火災の概況については、第1表のとおりである。  
出火件数は218件で全国で3番目に少なく、前年に比べ8件(3.8%)の増加となっている。  
また、出火率は2.0で全国で最も低く、前年より0.1ポイント増加している。

第1表 火災の概況

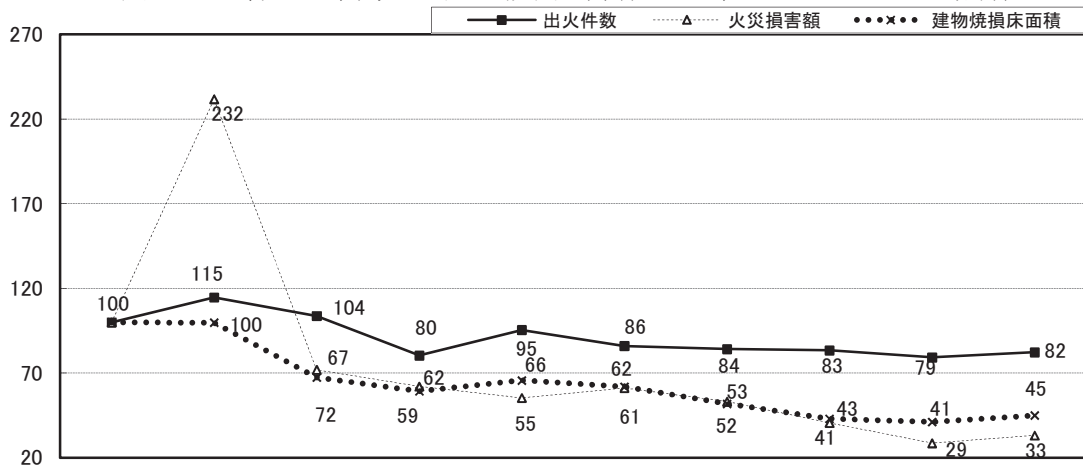
区 分		平成24年 (A)	平成23年 (B)	増 減 (C)=(A)-(B)	増減率(%) (C)/(B)×100	
出 火 件 数 (件)	合 計	218	210	8	3.8	
	建 物 火 災	156	143	13	9.1	
	林 野 火 災	2	3	△ 1	△ 33.3	
	車 両 火 災	35	35	0	0.0	
	船 舶 火 災	0	0	0	0.0	
	航 空 機 火 災	0	0	0	0.0	
	そ の 他 火 災	25	29	△ 4	△ 13.8	
焼 損 棟 数 (棟)	合 計	201	183	18	9.8	
	全 焼	40	53	△ 13	△ 24.5	
	半 焼	21	15	6	40.0	
	部 分 焼	54	60	△ 6	△ 10.0	
	ぼ や	86	55	31	56.4	
	火 元	小 計	155	138	17	12.3
		全 焼	34	46	△ 12	△ 26.1
		半 焼	14	11	3	27.3
		部 分 焼	45	35	10	28.6
		ぼ や	62	46	16	34.8
	延 焼	小 計	46	45	1	2.2
		全 焼	6	7	△ 1	△ 14.3
		半 焼	7	4	3	75.0
		部 分 焼	9	25	△ 16	△ 64.0
		ぼ や	24	9	15	166.7
建物焼損床面積 (m <sup>2</sup> )		9,235	8,455	780	9.2	
建物焼損表面積 (m <sup>2</sup> )		2,627	418	2,209	528.5	
林野焼損面積 (a)		81	413	△ 332	△ 80.4	
罹 災 世 帯	計	115	110	5	4.5	
	全 損	32	30	2	6.7	
	半 損	12	10	2	20.0	
	小 損	71	70	1	1.4	
罹 災 人 員 ( 人 )		309	344	△ 35	△ 10.2	
死 者 (人)	計	19	18	1	5.6	
	消 防 吏 員	0	0	0	0.0	
	消 防 団 員	0	0	0	0.0	
	そ の 他 の 者	19	18	1	5.6	
負 傷 者 (人)	計	33	45	△ 12	△ 26.7	
	消 防 吏 員	0	2	△ 2	△ 100.0	
	消 防 団 員	0	1	△ 1	△ 100.0	
	そ の 他 の 者	33	42	△ 9	△ 21.4	
損 害 額	合計 (千円)	433,367	373,667	59,700	16.0	
	建物 火災	建物小計	415,440	353,758	61,682	17.4
		建 物	304,394	287,705	16,689	5.8
		収容物	111,046	66,053	44,993	68.1
	林 野 火 災	444	656	△ 212	△ 32.3	
	車 両 火 災	12,542	12,897	△ 355	△ 2.8	
	船 舶 火 災	0	0	0	0.0	
	航 空 機 火 災	0	0	0	0.0	
	そ の 他 火 災	4,926	1,795	3,131	174.4	
	爆 発	15	4,561	△ 4,546	△ 99.7	
出 火 率		2.0	1.9	0.1	—	

図－1 最近10年間の火災の推移



区分	年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出火件数(件)		265	304	275	213	253	228	223	221	210	218
死者数(人)		19	21	19	21	13	29	29	13	18	19
負傷者数(人)		69	88	79	58	60	42	59	44	45	33

図－2 最近10年間の火災の傾向（平成15年＝100とした場合）



区分	年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出火件数		100	115	104	80	95	86	84	83	79	82
火災損害額		100	232	72	62	55	61	53	41	29	33
建物焼損床面積		100	100	67	59	66	62	52	43	41	45

平成24年中の火災による損害を1日当たりに換算すると第2表のとおりである。1日0.6件の火災が発生し、1,184千円の財産が灰になっていることになる。

第2表 1日当たり及び1件当たりの火災の概況

区 分		単 位	平成24年	平成23年
全火災1日当たり	出火件数	件	0.6	0.6
	損害額	千円	1,184	1,024
	建物焼損棟数	棟	0.55	0.50
	建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	25.23	23.16
	建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	7.18	1.15
	林野焼損面積	a	0.22	1.13
	り災世帯数	世帯	0.31	0.30
	り災人員	人	0.84	0.94
	死者	人	0.05	0.05
	負傷者	人	0.09	0.12
建物火災1日当たり	建物	件	0.43	0.39
全火災1件当たり	損害額	千円	1,988	1,779
建物火災1件当たり	建物損害額	千円	2,663	2,474
	建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	59.20	59.13
	建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	16.84	2.92
	焼損棟数	棟	1.29	1.28
	り災世帯数	世帯	0.74	0.77
	り災人員	人	1.98	2.41
林野火災1件当たり	林野損害額	千円	222	219
	林野焼損面積	a	41	138

## 2. 出火件数

### (1) 火災種別出火件数

火災種別ごとに出火件数をみると第3表のとおりである。総出火件数は218件で、前年に比べ8件(3.8%)増加している。そのうち156件(71.6%)が建物火災となっている。

第3表 火災種別出火件数の構成割合

	平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合
建物火災	156	71.6%	143	68.1%
林野火災	2	0.9%	3	1.4%
車両火災	35	16.1%	35	16.7%
船舶火災	0	0.0%	0	0.0%
航空機火災	0	0.0%	0	0.0%
その他火災	25	11.5%	29	13.8%
合計	218	100.0%	210	100.0%

※端数処理の関係で、割合の単純合計が100.0%とならないもの

### (2) 四季別出火件数

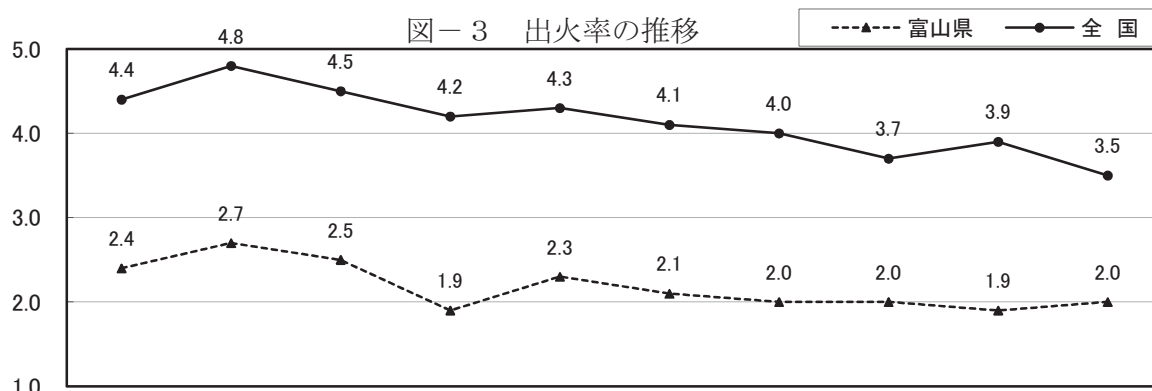
出火件数を四季別にみると、第4表のとおりである。フェーン現象により空気が乾燥し強風の吹く春季が最も多く全出火件数の29.4%を占めている。

第4表 四季別出火状況

	平成24年		平成23年	
	件数	割合	件数	割合
春季(3月～5月)	64	29.4%	71	33.8%
夏季(6月～8月)	55	25.2%	42	20.0%
秋季(9月～11月)	44	20.2%	37	17.6%
冬季(12月～2月)	55	25.2%	60	28.6%
合計	218	100.0%	210	100.0%

(3) 出火率

出火率(人口1万人当たりの出火件数)の推移は図-3のとおりである。富山県の出火率は昭和42年以降一貫して全国の出火率を下回っているが、平成24年中も全国の3.5に対し、2.0と大きく下回り、22年連続して全国一低い出火率である。



	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
富山県	2.4	2.7	2.5	1.9	2.3	2.1	2.0	2.0	1.9	2.0
全国	4.4	4.8	4.5	4.2	4.3	4.1	4.0	3.7	3.9	3.5

(4) 市町村別出火件数

市町村別出火件数をみると(下表及び第19表参照)、富山市が最も多く67件、次いで高岡市48件、魚津市18件、射水市17件の順となっている。

(5) 市町村別出火率

市町村別の出火率をみると(下表、第19表及び図-11参照)、最も出火率が高いのは魚津市(4.1)で、次いで小矢部市(3.8)、高岡市及び上市町(2.7)となっている。

第5表 市町村別出火件数及び出火率(平成24年)

市町村名	出火件数	人口	出火率
富山市	67	416,223	1.6
高岡市	48	176,120	2.7
魚津市	18	44,300	4.1
氷見市	6	52,135	1.2
滑川市	3	33,706	0.9
黒部市	10	42,257	2.4
砺波市	11	49,356	2.2
小矢部市	12	31,853	3.8
南砺市	14	54,835	2.6
射水市	17	93,835	1.8
舟橋村		3,020	0.0
上市町	6	22,110	2.7
立山町	4	27,446	1.5
入善町		26,650	0.0
朝日町	2	13,698	1.5
合計	218	1,087,544	2.0

※人口は平成24年3月31日現在の住民基本台帳

### 3. 損害額

平成24年中の火災による損害額は、433,367千円で、前年に比べると59,700千円(16.0%)増加している。火災1件当たりの損害額は1,988千円となっている。

なお、過去10年間の損害額の推移については、第6表のとおりである。

第6表 損害額の推移

区分	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
損害額(千円)	1,307,256	3,028,690	940,904	811,097	723,435	800,181	694,650	530,577	373,667	433,367
指数	100	232	72	62	55	61	53	41	29	33
1件当たりの損害額(千円)	4,933	9,963	3,421	3,808	2,859	3,510	3,115	2,401	1,779	1,988
指数	100	202	69	77	58	71	63	49	36	40

(平成15年=100)

平成24年中の火災による損害額を火災種別でみると、第7表のとおりである。建物火災の損害額が95.9%で大部分を占めている。

第7表 火災種別損害額(平成24年)

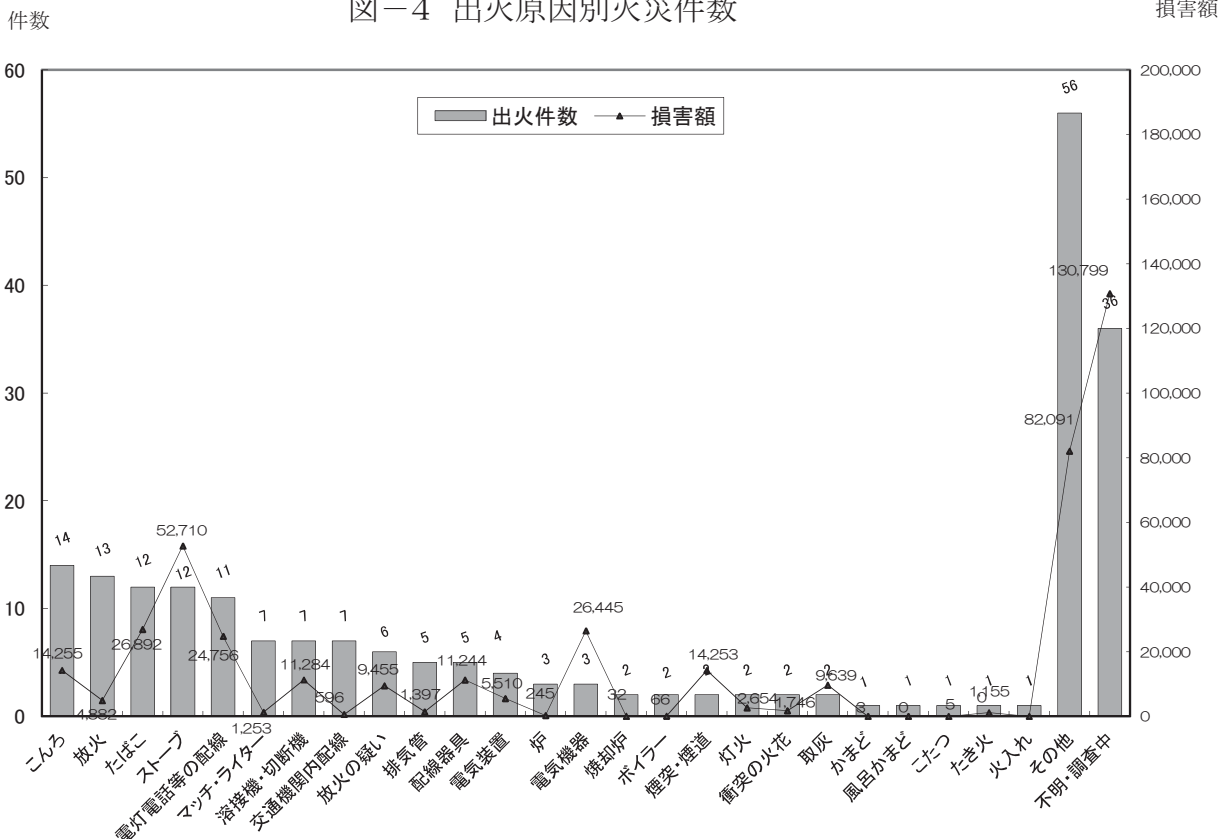
区分	損害額(千円)	割合	出火件数	1件当たりの損害額(千円)
建物火災	415,440	95.9%	156	2,663
林野	444	0.1%	2	222
車両	12,542	2.9%	35	358
船舶	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-
その他	4,926	1.1%	25	197
爆発	15	0.0%	-	-
合計	433,367	100.0%	218	1,988

### 4. 出火原因

#### (1) 出火原因別火災件数

出火原因の第1位は「こんろ」で14件、以下「放火」13件、「たばこ」、「ストーブ」12件、などとなっている。

図-4 出火原因別火災件数



(2) 発火源別火災件数

出火原因を発火源別にみると第8表のとおりである。最も多いのは、電気による発熱体(電気ストーブ、コード等)50件(22.9%)、次いで火種(たばこ、ライター、たき火等)49件(22.5%)、ガス油類を燃料とする道具装置(ガスこんろ、石油ストーブ等)41件(18.8%)となっている。

(第21表「発火源別火災件数」参照)

第8表 発火源別火災件数

	平成24年		平成23年	
	出火件数	割合	出火件数	割合
電気による発熱体	50	22.9%	50	23.8%
ガス油類を燃料とする道具装置	41	18.8%	32	15.2%
まき炭石炭燃料の道具装置	4	1.8%	2	1.0%
火種	49	22.5%	55	26.2%
高温の固体	17	7.8%	18	8.6%
自然発火しやすいもの	5	2.3%	1	0.5%
危険物品	0	0.0%	0	0.0%
天災(雷)	9	4.1%	2	1.0%
その他	1	0.5%	4	1.9%
不明	42	19.3%	46	21.9%
計	218	100.0%	210	100.0%

※端数処理の関係で、割合の単純合計が100.0%とまらないもの

(3) 経過別火災件数

発火源から火災に至るまでの経過をみると第9表のとおりである。「火源が運動により接触し発火したもの」が39件(17.9%)で最も多く、次いで「電気的原因で発熱し発火したもの」が34件(15.6%)の順になっている。

(第22表「経過別火災件数」参照)

第9表 経過別火災件数

	平成24年		平成23年	
	出火件数	割合	出火件数	割合
電気的原因で発熱する	34	15.6%	25	11.9%
化学的原因で発熱する	8	3.7%	8	3.8%
熱的原因で発火する	27	12.4%	29	13.8%
火源が運動により接触する	39	17.9%	44	21.0%
器具機械の材質構造の不良	9	4.1%	7	3.3%
使用方法の不適による	28	12.8%	23	11.0%
交通機関の事故による	2	0.9%	3	1.4%
天災地変による	8	3.7%	2	1.0%
その他	25	11.5%	28	13.3%
不明	38	17.4%	41	19.5%
計	218	100.0%	210	100.0%

## (4) 着火物別火災件数

火災を着火物別にみると第10表のとおりである。(第23表「着火物別火災件数」参照)

第10表 着火物別火災件数

		平成24年		平成23年		
		出火件数	割合(%)	出火件数	割合(%)	
建築物・ 器具 (船体・車両を含む)	屋根ひさし	4	1.8	2	1.0	
	壁軸組	12	5.5	14	6.7	
	床	4	1.8	6	2.9	
	天井	0	0.0	4	1.9	
	付帯建築物	0	0.0	1	0.5	
	建具	1	0.5	1	0.5	
	家具調度	5	2.3	6	2.9	
	造作	2	0.9	3	1.4	
	その他	11	5.0	7	3.3	
建築物 (船舶・ 車両) 内収容物	爆発物類	0	0.0	1	0.5	
	ガス類	4	1.8	4	1.9	
	引火物類 (引火性液体類)	30	13.8	20	9.5	
	可燃性固体Ⅰ	2	0.9	0	0.0	
	繊維類	26	11.9	28	13.3	
	木質物	4	1.8	2	1.0	
	可燃固体 (可燃性固体Ⅱ)	14	6.4	11	5.2	
	屑類	21	9.6	12	5.7	
	その他	5	2.3	3	1.4	
山林 その他の火	災による 着火物	山林原野にあるもの	3	1.4	7	3.3
	野積	0	0.0	3	1.4	
	その他	8	3.7	9	4.3	
車両	自動車	16	7.3	13	6.2	
	電車等	0	0.0	0	0.0	
その他	その他	6	2.8	6	2.9	
不明		40	18.3	47	22.4	
合計		218	100	210	100	

※端数処理の関係で、割合の単純合計が100.0%とならないもの

## (5) 月別出火原因等

平成24年中の月別出火原因及び損害額等は第11表のとおりである。

第11表 総合出火原因別、主な損害状況及び月別出火原因（平成24年中）

区分 出火原因	火災種別						総出火件数	割合(%)	月別件数												建物焼損		林野焼損面積 <sup>a</sup>	焼損棟数	り災世帯数	損害額(千円)						
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	床面積 <sup>㎡</sup>	表面積 <sup>㎡</sup>										
	こんろ	14	0	0	0	0			0	14	6.4	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1					1	1	1	1	1	1
放火	7	0	2	0	0	4	13	6.0	0	2	2	2	0	1	2	0	3	0	1	0	15	2	0	7	5	15	2	0	7	5	4,882	
たばこ	9	0	1	0	0	2	12	5.5	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	272	1	0	10	14	26,892	
ストーブ	12	0	0	0	0	0	12	5.5	2	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	4	1,708	4	0	21	16	1,708	4	0	21	16	52,710
電灯電話等の配線	10	0	0	0	0	1	11	5.0	0	1	2	1	0	0	2	2	0	0	1	2	511	118	0	15	9	511	118	0	15	9	24,756	
マッチ・ライター	4	0	2	0	0	1	7	3.2	0	2	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	4	3	1,253	
溶接機・切断機	6	0	0	0	0	1	7	3.2	2	0	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	16	119	0	6	0	16	119	0	6	0	11,284	
交通機関内配線	1	0	6	0	0	0	7	3.2	0	0	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	596	
放火の疑い	6	0	0	0	0	0	6	2.8	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	503	0	0	7	2	503	0	0	7	2	9,455	
排気管	0	0	5	0	0	0	5	2.3	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,397	
配線器具	4	0	0	0	0	1	5	2.3	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	43	0	0	4	6	43	0	0	4	6	11,244	
電気装置	4	0	0	0	0	0	4	1.8	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	0	1	0	4	2	5,510	
炉	3	0	0	0	0	0	3	1.4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	245	
電気機器	2	0	0	0	0	1	3	1.4	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	206	0	0	3	3	206	0	0	3	3	26,445	
焼却炉	1	0	0	0	0	1	2	0.9	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	0	32	
ボイラー	2	0	0	0	0	0	2	0.9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	3	0	0	1	1	66	
煙突・煙道	2	0	0	0	0	0	2	0.9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	444	20	0	9	1	444	20	0	9	1	14,253	
灯火	1	0	0	0	0	1	2	0.9	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	170	0	0	3	2	170	0	0	3	2	2,654	
衝突の火花	0	0	2	0	0	0	2	0.9	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,746	
取灰	2	0	0	0	0	0	2	0.9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	541	9	0	4	4	541	9	0	4	4	9,639	
かまど	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	
風呂かまど	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
こたつ	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	
たき火	1	0	0	0	0	0	1	0.5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	0	1	0	83	0	0	1	0	1,155	
火入れ	0	0	0	0	0	1	1	0.5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	40	1	10	0	0	5	56	25.7	2	3	3	5	10	7	5	4	4	6	3	4	1,612	118	30	49	22	1,612	118	30	49	22	82,091	
不明・調査中	22	1	7	0	0	6	36	16.5	3	3	2	6	1	1	2	3	4	3	4	4	2,833	2,222	51	29	14	2,833	2,222	51	29	14	130,799	
合計	156	2	35	0	0	25	218	100.0	19	17	16	22	26	20	22	13	14	14	16	19	9,235	2,627	81	201	115	9,235	2,627	81	201	115	433,367	

※端数処理の関係で、割合の単純合計が100.0%にならないもの



(6) 過去5年の原因別出火件数

過去5年の原因別出火件数は第12表のとおりである。これを過去5年間の平均値でみると、「たばこ」が17.4件(7.9%)で最も多くなっている。次いで「放火」15.4件(7.0%)、「ストーブ」14.6件(6.6%)の順となっている。

第12表 過去5年の原因別出火件数

原因	平成20年			平成21年			平成22年			平成23年			平成24年			過去5年間		
	順位	件数	割合(%)	順位	件数	割合(%)	順位	件数	割合(%)	順位	件数	割合(%)	順位	件数	割合(%)	累計件数	平均件数	割合(%)
たばこ	②	26	11.4	①	19	8.5	①	16	7.2	②	14	6.7	③	12	5.5	87	17.4	7.9
こんろ	③	15	6.6	②	16	7.2	②	14	6.3	③	10	4.8	①	14	6.4	69	13.8	6.3
かまど			-			-			-			-		1	0.5	1	0.2	0.1
風呂かまど		3	1.3		3	1.3			-			-		1	0.5	7	1.4	0.6
炉			-			-		2	0.9		3	1.4		3	1.4	8	1.6	0.7
焼却炉		2	0.9			-		1	0.5		2	1.0		2	0.9	7	1.4	0.6
ストーブ	③	15	6.6	②	16	7.2	③	13	5.9	①	17	8.1	③	12	5.5	73	14.6	6.6
こたつ			-			-			-			-		1	0.5	1	0.2	0.1
ボイラー		2	0.9		1	0.4		3	1.4		2	1.0		2	0.9	10	2.0	0.9
煙突・煙道		2	0.9		3	1.3		3	1.4		4	1.9		2	0.9	14	2.8	1.3
排気管		7	3.1		1	0.4		7	3.2		5	2.4		5	2.3	25	5.0	2.3
電気機器		4	1.8		5	2.2		3	1.4		7	3.3		3	1.4	22	4.4	2.0
電気装置		1	0.4		1	0.4		10	4.5		3	1.4		4	1.8	19	3.8	1.7
電灯電話等の配線		8	3.5		9	4.0	④	11	5.0		9	4.3	⑤	11	5.0	48	9.6	4.4
内燃機関		1	0.4		2	0.9		2	0.9		1	0.5			-	6	1.2	0.5
配線器具		6	2.6		6	2.7		8	3.6		4	1.9		5	2.3	29	5.8	2.6
火あそび		6	2.6		3	1.3		4	1.8		4	1.9			-	17	3.4	1.5
マッチ・ライター		7	3.1		9	4.0		3	1.4		4	1.9		7	3.2	30	6.0	2.7
たき火		1	0.4		3	1.3		2	0.9		1	0.5		1	0.5	8	1.6	0.7
溶接機・切断機		4	1.8		2	0.9		2	0.9		4	1.9		7	3.2	19	3.8	1.7
灯火		3	1.3		3	1.3		7	3.2		1	0.5		2	0.9	16	3.2	1.5
衝突の火花		1	0.4		1	0.4		2	0.9		0	0.0		2	0.9	6	1.2	0.5
取灰		3	1.3		1	0.4		1	0.5		1	0.5		2	0.9	8	1.6	0.7
火入れ			-		8	3.6		1	0.5		9	4.3		1	0.5	19	3.8	1.7
放火	①	28	12.3	④	15	6.7	④	11	5.0	③	10	4.8	②	13	6.0	77	15.4	7.0
放火の疑い	⑤	9	3.9	④	15	6.7		7	3.2	③	10	4.8		6	2.8	47	9.4	4.3
その他		41	18.0		42	18.8		51	23.1		42	20.0		56	25.7	232	46.4	21.1
不明・調査中		27	11.8		33	14.8		35	15.8		36	17.1		36	16.5	167	33.4	15.2
交通機関内配線		6	2.6		6	2.7		2	0.9		7	3.3		7	3.2	28	5.6	2.5
合計		228	100.0		223	100.0		221	100.0		210	100.0		218	100.0	1,100	220.0	100.0

※端数処理の関係で、割合の単純合計が100.0%とまらないもの

第13表 市町村別出火原因 (平成24年中)

原因 市町村	原因 件数		たばこ	こんろ	かまど	風か 呂まど	炉	焼却 炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突 突道	排気 管	電気 機器	電気 装置	電配 灯電 話線	内 燃 機 関	配 線 器 具	火 遊 び	マ ラ ツ イ チ タ ー	た き 火	溶切 接 断 機 関	灯 火	衝 突 の 花	取 灰	火 入 れ	放 火	放 火 の い 疑	そ の 他	不 調 査 明 中	交 内 通 記 機 関
	富山市	67	1	8	4		1		1	3			1	2	2	1	4		1	3		3			1		2	3	11	10	6
高岡市	48		2	4	1				4	1	1	1	1			3		3			1	1	1	1	1	5	1	14	2	1	
魚津市	18		1	1					2					1		1				1		1			1		1	7	2		
水見市	6										1													1	1				3		
滑川市	3																					1						1	1		
黒部市	10						1									1							1		2			3	2		
砺波市	11			1					1											1			1					4	3		
小矢部市	12		1	1											2	1					1					1	1	2	2		
南砺市	14								1				1		1					1								3	6		
射水市	17			1			2	1	1				1					1									1	5	3		
舟橋村	0																														
上市町	7			1																						1		4	1		
立山町	3															1												1	1		
入善町	0																														
朝日町	2			1																								1			
合計(件)	218		12	14	1	1	3	2	12	1	2	2	5	3	4	11	0	5	0	7	1	7	2	2	2	1	13	6	56	36	7
前年計	210		14	10	0	0	3	2	17	0	2	4	5	7	3	9	1	4	4	4	1	4	1	0	1	9	10	42	36	7	

## 5. 火災による死傷者

### (1) 死者

平成24年中の火災による死者数は19人で、前年に比べ1人の増加となっている。  
このうち、放火自殺者は3人で、前年に比べ1人の減少となっている。

第14表 過去5年の死因別死者発生状況の推移

(単位:人)

		一酸化炭素 中毒・窒息	火 傷	打撲・ 骨折等	自 殺	その他	不 明	合 計
平成 20 年	建物火災	5	8		6		3	22
	車両火災				2			2
	その他火災				5			5
	合計	5	8	0	13	0	3	29
		17.2%	27.6%	0.0%	44.8%	0.0%	10.3%	100.0%
平成 21 年	建物火災	10	10		1		1	22
	車両火災		1		1			2
	その他火災				5			5
	合計	10	11	0	7	0	1	29
		34.5%	37.9%	0.0%	24.1%	0.0%	3.4%	100.0%
平成 22 年	建物火災	5	1					6
	車両火災		3					3
	その他火災				3		1	4
	合計	5	4	0	3	0	1	13
		38.5%	30.8%	0.0%	23.1%	0.0%	7.7%	100.0%
平成 23 年	建物火災	7	3	1	1	1	1	14
	車両火災				2			2
	その他火災		1		1			2
	合計	7	4	1	4	1	1	18
		38.9%	22.2%	5.6%	22.2%	5.6%	5.6%	100.0%
平成 24 年	建物火災	4	8		1		2	15
	車両火災					1		1
	その他火災				2	1		3
	合計	4	8	0	3	2	2	19
		21.1%	42.1%	0.0%	15.8%	10.5%	10.5%	100.0%

※端数処理の関係で、割合の単純合計が100.0%とならないもの

### (2) 負傷者

平成24年中の火災による負傷者数は33人で、前年より12人減少している。

第15表 過去5年の火災による負傷者の推移

(単位:人)

	消防吏員	消防団員	応急消火 義務者	消防協力者	その他の者	合 計
平成20年	0	3	31	1	7	42
平成21年	3	6	37	2	11	59
平成22年	2	1	40	0	1	44
平成23年	2	1	36	1	5	45
平成24年	0	0	27	0	6	33

(3) 火災種別死傷者数

平成24年中の死傷者が発生した火災種別をみると、第16表のとおりである。死者が発生した火災種別については建物火災によるものが15人(78.9%)で最も多く、以下、車両火災によるものが1人(5.3%)、その他火災によるものが3人(15.8%)となっている。

負傷者が発生した火災種別についてみると、建物火災によるものが29人と負傷者全体の87.9%を占めている。

第16表 火災種別、月別死傷者数 (平成24年)

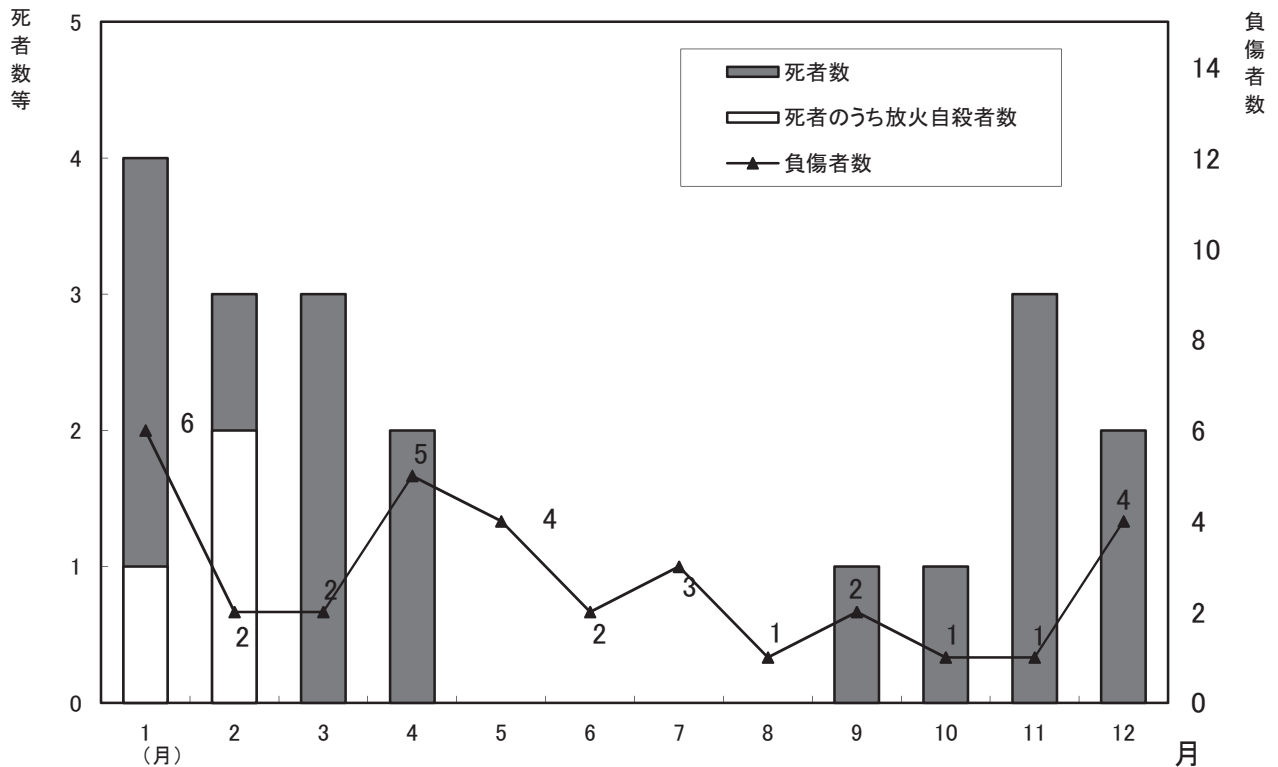
建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		航空機火災		その他火災		合計			消防吏員		消防団員		応急消火義務者		消防協力者		その他の者			
死者	自殺者	負傷者	死者	自殺者	負傷者	死者	自殺者	負傷者	死者	自殺者	負傷者	月別	死者	自殺者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	
																										4
1		2									2	2	2月	3	2	2					1	2			2	
2		2			1							3月	3	0	2					2	2			1		
2		4			1							4月	2	0	5					2	5					
		3			1							5月	0	0	4						4					
											2	6月	0	0	2						2					
		3										7月	0	0	3										3	
		1										8月	0	0	1						1					
		2									1	9月	1	0	2									1	2	
1		1										10月	1	0	1									1	1	
3		1										11月	3	0	1					3	1					
2		4										12月	2	0	4					2	4					
15	1	29	0	0	0	1	0	2	0	0	0	合計	19	3	33	0	0	0	0	13	27	0	0	6	6	
78.9%		87.9%				5.3%		6.1%				割合%	100.0		100.0					68.4%	81.8%			31.6%	18.2%	

※端数処理の関係で、割合の単純合計が100.0%とならないもの

(4) 月別死傷者数

平成24年中の月別の死傷者数は図-5のとおりである。

図-5 月別死傷者数



(5) 年齢別死者数

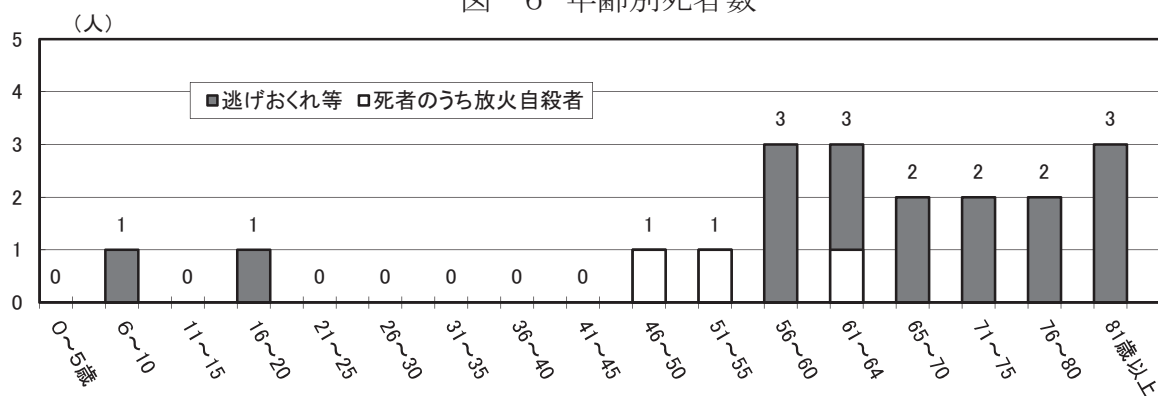
平成24年中の火災による年齢別死者数は次のとおりである。

第17表 年齢別、月別死者数（平成24年）

	性別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
0～5歳	男													0
	女													0
6～10	男	1												1
	女													0
11～15	男													0
	女													0
16～20	男													0
	女	1												1
21～25	男													0
	女													0
26～30	男													0
	女													0
31～35	男													0
	女													0
36～40	男													0
	女													0
41～45	男													0
	女													0
46～50	男		1 (1)											1
	女													0
51～55	男		1 (1)											1
	女													0
56～60	男			1								1		2
	女											1		1
61～64	男				1								1	2
	女	1 (1)												1
65～70	男				1							1		2
	女												1	1
71～75	男			1						1				2
	女													0
76～80	男		1	1										2
	女													0
81歳以上	男										1			1
	女	1										1		2
性別不明	男													0
	女													0
計	男	1	3 (2)	3	2	0	0	0	0	1	0	1	1	12 (2)
	女	3 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	7 (1)
	不明													0
	合計	4 (1)	3 (2)	3	2	0	0	0	0	0	1	1	3	2

※( )は、死者のうち放火自殺者数。

図-6 年齢別死者数



6. 建物火災

(1) 出火件数

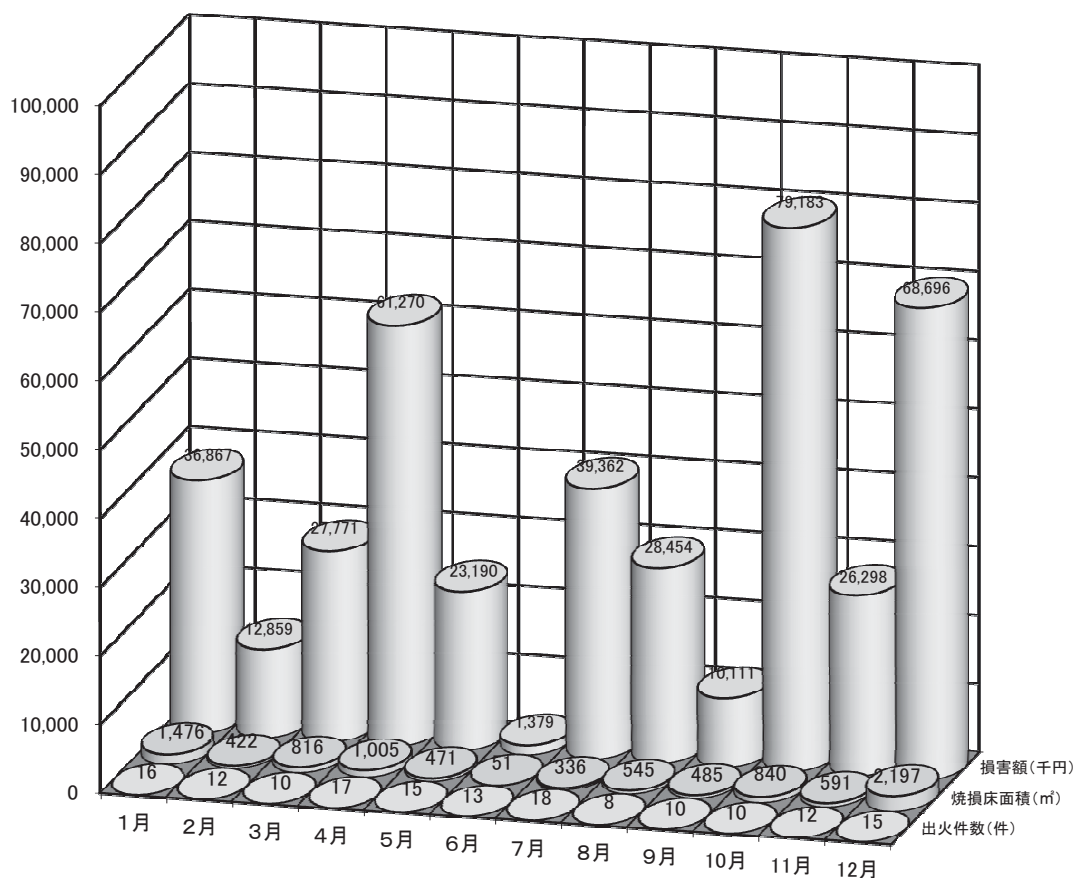
平成24年中の月別の建物火災件数については図-7のとおりである。建物火災は156件で、前年に比べ13件(9.1%)の増加となっている。春季(3月～5月)が42件、夏季(6月～8月)39件、秋季(9月～11月)32件、冬季(12月～2月)43件となっている。

(2) 焼損床面積及び損害額

平成24年中の建物火災による焼損床面積は9,235㎡で、前年に比べ780㎡(9.2%)の増加となっており、損害額は415,440千円で、前年に比べ61,682千円(17.4%)の増加となっている。

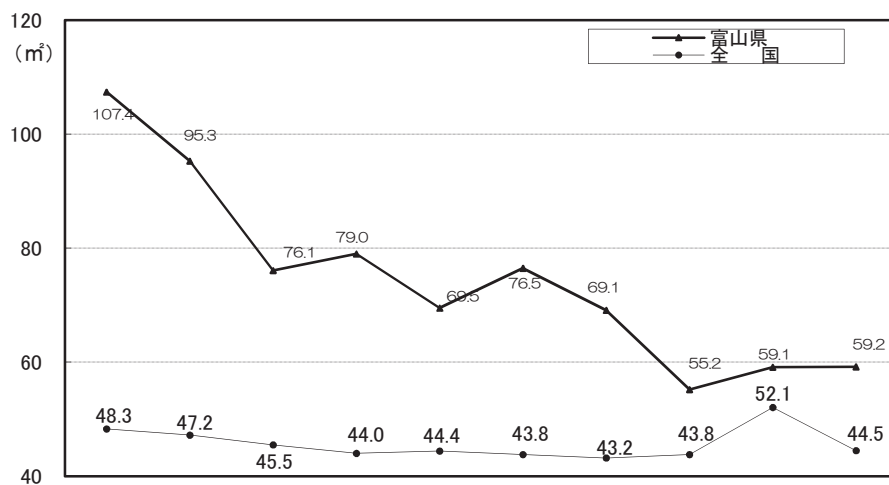
また、過去10年の建物火災1件当たりの焼損床面積は図-8のとおりである。

図-7 月別建物火災の状況(平成24年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数(件)	16	12	10	17	15	13	18	8	10	10	12	15	156
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	1,476	422	816	1,005	471	51	336	545	485	840	591	2,197	9,235
損害額(千円)	36,867	12,859	27,771	61,270	23,190	1,379	39,362	28,454	10,111	79,183	26,298	68,696	415,440

図-8 過去10年の建物火災1件当たり焼損床面積



過去10年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
富山県	107.4	95.3	76.1	79.0	69.5	76.5	69.1	55.2	59.1	59.2
全国	48.3	47.2	45.5	44.0	44.4	43.8	43.2	43.8	52.1	44.5

## 7. 林野火災

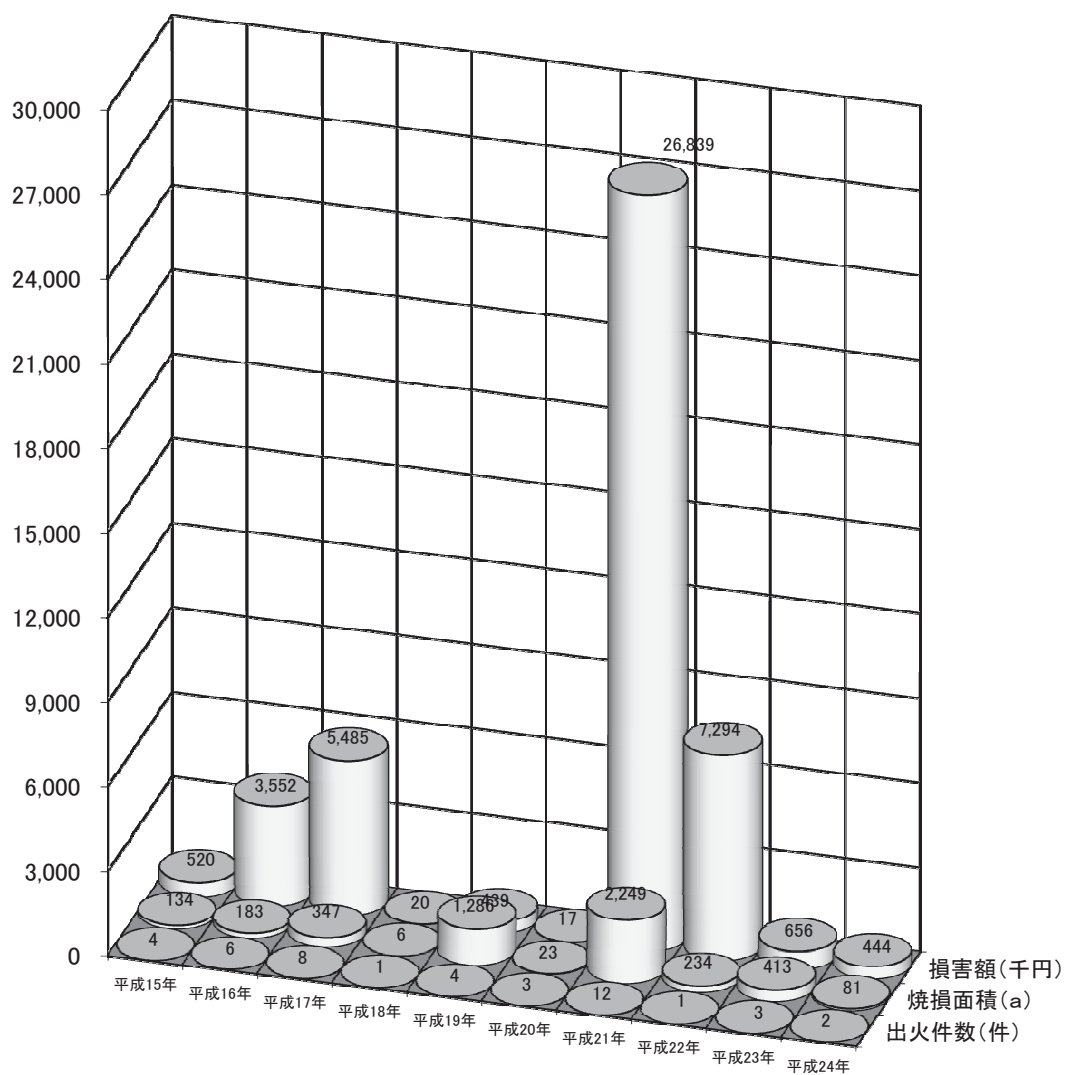
平成24年中における林野火災は2件で、前年に比べ1件(33.3%)の減少となっている。

焼損面積は81a、損害額は444千円であった。

過去10年間の林野火災の推移をみると、出火件数及び焼損面積、損害額ともに平成21年が最も多くなっている。(図－9参照)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出火件数(件)	4	6	8	1	4	3	12	1	3	2
焼損面積(a)	134	183	347	6	1,286	23	2,249	234	413	81
損害額(千円)	520	3,552	5,485	20	439	17	26,839	7,294	656	444

図－9 林野火災の推移(過去10年間)

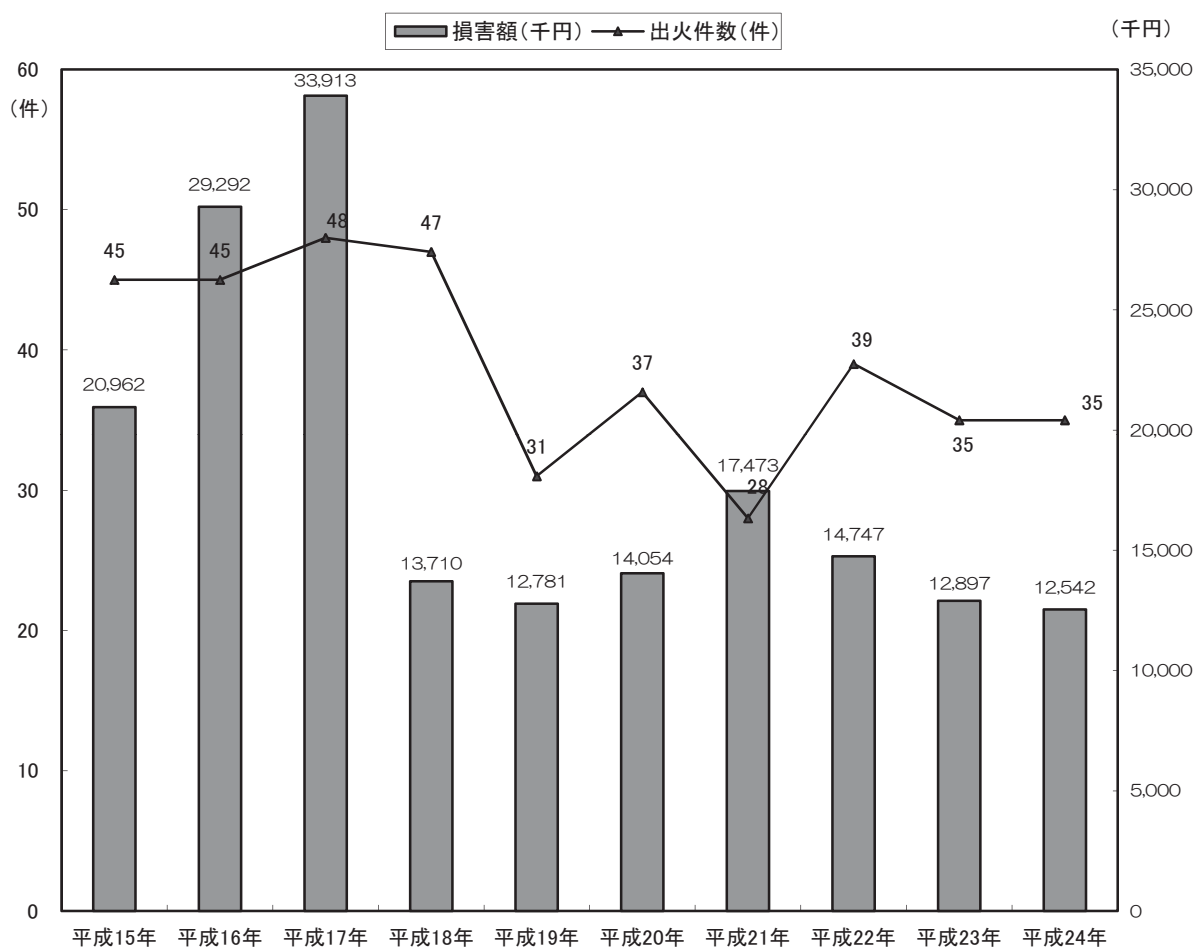


## 8. 車両火災

平成24年中における車両火災は35件で、前年と同数となっている。  
 また、損害額は12,542千円で、前年に比べ355千円(2.8%)の減少となっている。  
 過去10年間の車両火災の推移をみると、出火件数及び損害額ともに平成17年が最も多くなっている。(図-10参照)

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
出火件数(件)	45	45	48	47	31	37	28	39	35	35
損害額(千円)	20,962	29,292	33,913	13,710	12,781	14,054	17,473	14,747	12,897	12,542

図-10 車両火災の推移(過去10年間)



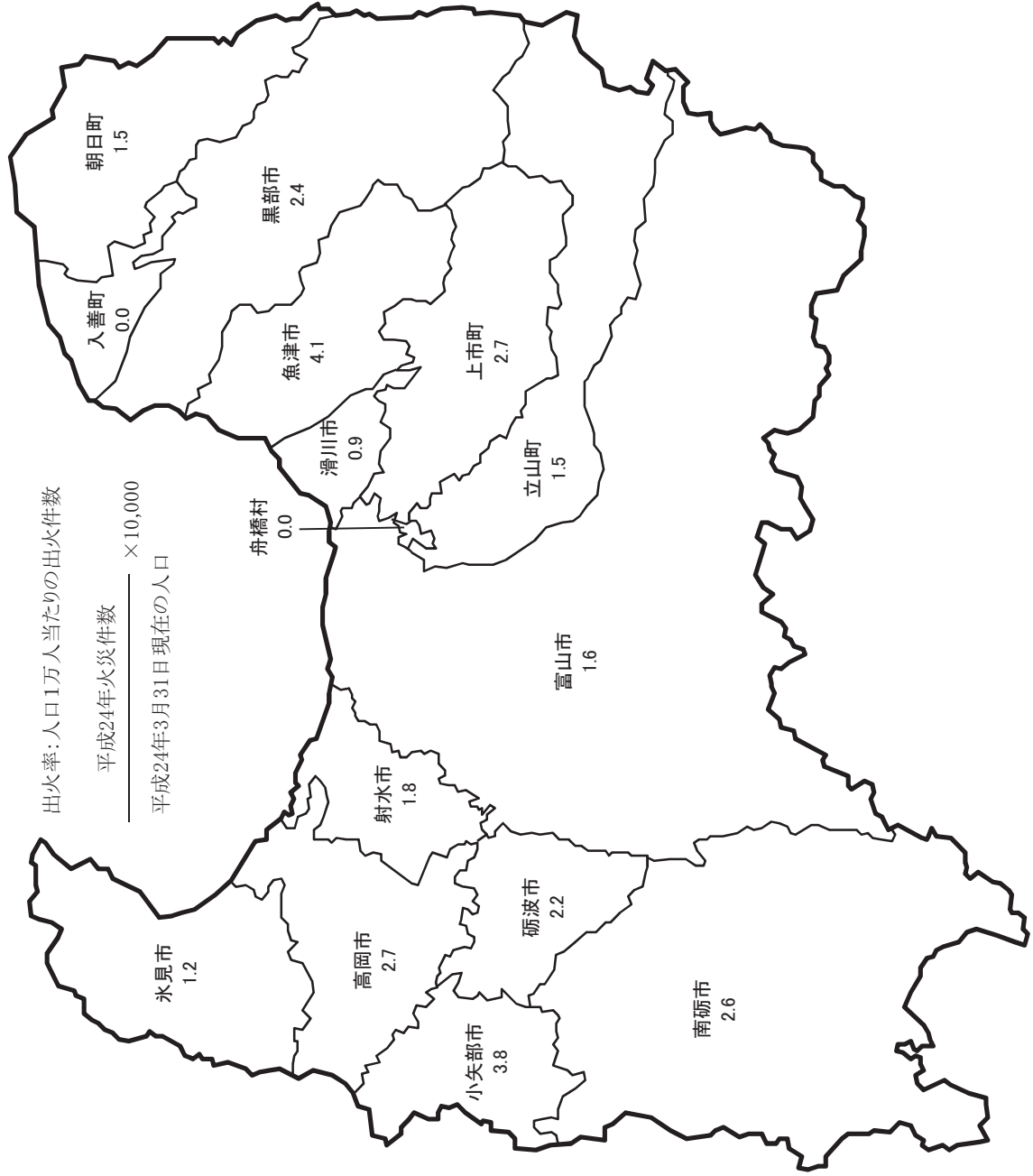
## 9. その他火災

平成24年中におけるその他火災は25件(前年29件)で、損害額は4,926千円(前年1,795千円)となっている。



10. 統計図表

図-11 富山県内市町村別出火率





第19表 市町村別火災発生及び損害状況(平成24年)

区分	火災件数										焼損棟数				り災世帯数			り災人員			焼損面積				死者数		損害額(千円)							出					
	(1)建物	(2)林野	(3)車両	(4)船舶	(5)航空機	(6)その他	(7)爆発	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損	計	被災人員	建物(㎡)	林野(a)	死者	負傷者	(1)建物	(2)林野	(3)車両	(4)船舶	(5)航空機	(6)その他	(7)爆発	計									
																															床面積	表面積	建物		取容物	小計	建物	内容物	小計
富山市	49	0	12	0	0	6	67	7	5	17	26	55	35	83	1,841	197	0	7	12	105,696	19,946	125,642	0	2,834	0	0	43	0	128,519	1.6									
高岡市	37	0	6	0	0	5	48	10	6	10	33	59	36	85	2,256	41	0	4	10	68,927	4,350	73,277	0	2,160	0	0	58	3	75,498	2.7									
魚津市	8	2	3	0	0	5	18	3	3	4	3	13	4	12	777	5	52	2	19,814	1,638	21,452	0	791	0	0	101	12	22,356	4.1										
氷見市	5	0	1	0	0	0	6	2	1	3	0	6	2	5	478	0	0	0	13,707	1,403	15,110	0	10	0	0	0	0	15,120	1.2										
滑川市	1	0	0	0	0	2	3	0	0	1	0	1	0	0	16	0	0	0	541	50	591	0	0	0	0	0	75	0	666	0.9									
黒部市	6	0	3	0	0	1	10	2	0	0	4	6	0	0	275	2,199	0	1	0	2,138	492	2,630	0	318	0	0	0	0	2,948	2.4									
砺波市	8	0	1	0	0	2	11	4	0	1	4	9	4	5	965	0	0	4	15,501	6,113	21,614	0	827	0	0	2,347	0	24,788	2.2										
小矢部市	9	0	2	0	0	1	12	4	2	4	1	11	4	13	633	140	0	3	35,765	2,964	38,729	0	649	0	0	2,270	0	41,648	3.8										
南砺市	11	0	2	0	0	1	14	6	0	5	5	16	6	18	905	24	29	1	21,712	16,270	37,982	444	1,033	0	0	0	0	39,459	2.6										
射水市	14	0	1	0	0	2	17	2	2	4	8	16	5	14	868	4	0	2	16,760	13,964	30,724	0	94	0	0	32	0	30,850	1.8										
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0									
上市町	3	0	3	0	0	0	6	0	0	2	1	3	0	2	129	1	0	0	2,055	37,748	39,803	0	598	0	0	0	0	40,401	2.7										
立山町	3	0	1	0	0	0	4	0	2	2	0	4	3	11	64	16	0	0	994	1,442	2,436	0	3,228	0	0	0	0	5,664	1.5										
入善町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0									
朝日町	2	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	2	1	4	28	0	0	0	784	4,666	5,450	0	0	0	0	0	0	5,450	1.5										
合計	156	2	35	0	0	25	218	40	21	54	86	201	32	12	9,235	2,627	81	19	304,394	111,046	415,440	444	12,542	0	0	4,926	15	433,367	2.0										

※( )書きは内数で、爆発火災分

第20表 市町村別・月別火災発生状況

市町村	1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		合計 (年間出火件数)											
	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H23	H24	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24		
富山市	9	8	5	4	4	3	8	10	10	6	5	7	3	8	7	5	3	4	4	8	2	2	6	4	104	112	95	76	92	83	83	81	70	67		
高岡市	3	4	7	5	4	3	9	3	2	6	2	4	1	5	2	0	3	6	5	2	2	1	4	1	53	67	69	39	55	46	48	40	48			
魚津市	0	0	0	2	1	2	4	1	1	3	1	3	1	2	0	2	1	1	0	1	0	1	0	1	14	12	12	16	11	18	8	14	11	18		
氷見市	2	1	1	0	0	0	3	1	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	10	15	10	9	8	10	7	8	6			
滑川市	0	1	0	1	0	0	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	12	11	8	5	8	4	6	7	3			
黒部市	1	1	1	0	0	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	1	2	2	5	9	7	8	7	5	4	6	7	10		
砺波市	2	0	0	0	0	2	1	0	0	3	2	3	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	7	11	10	7	6	9	12	7	9	11			
小矢部市	0	1	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	2	4	0	1	0	0	0	1	0	0	1	8	12	8	4	10	9	8	8	4	12			
南砺市	1	0	3	2	2	0	1	2	2	2	3	0	0	0	1	2	3	0	0	3	1	3	0	8	15	13	13	14	10	9	15	17	14			
射水市	3	2	0	2	4	0	3	2	1	3	1	1	1	2	0	0	1	1	1	1	2	0	1	22	20	18	17	20	14	22	15	16	17			
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上市町	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	1	5	3	2	6	2	4	5	3	6	6			
立山町	1	1	2	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	9	10	5	11	9	8	6	7	4			
入善町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	8	6	2	4	3	2	2	4	4	0				
朝日町	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	2	6	3	4	3	2	1	4	2				
合計	26	19	19	17	16	16	37	22	18	26	18	20	11	22	13	13	13	14	19	14	5	16	15	19	265	304	275	213	253	228	223	221	210	218		

第21表 発火源別火災件数（平成24年）

（その1）

	1. 電気による発熱体										2. ガス油類を燃料とする道具								
	小計	移動電熱器	固定電熱器	電気機器	電気装置	電灯等配線	配線器具	漏電発熱	静電スパーク	その他	小計	移動都市ガス	移動プロパン	固定都市ガス	固定プロパン	移動油燃料	固定油燃料	明かり	その他
富山市	22	2	1	6	1	10	1	1	0	0	8	2	2	0	0	2	1	0	1
高岡市	11	2	0	0	0	4	3	2	0	0	14	2	4	0	0	5	1	1	1
魚津市	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5	0	1	0	0	3	0	0	1
水見市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
滑川市	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砺波市	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	1	0	0	1	0	1	0
小矢部市	3	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
南砺市	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0
射水市	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4	0	1	0	0	1	2	0	0
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上市町	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
立山町	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
入善町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	50	6	3	7	4	18	5	4	3	0	41	4	12	0	1	13	5	3	3

第21表 発火源別火災件数（平成24年）

(その2)

	3. まき、炭、石炭等を燃料とする道具						4. 火種(それ自身発火)						5. 高温の固体					
	小計	炭たどん	まき	移動 石炭	固定 石炭	火消し	その他	小計	裸火	たばこ マッチ	火の粉	火花	その他	小計	気体熱	摩擦熱	高温 固体	その他
富山市	1	0	1	0	0	0	0	19	3	12	2	2	0	3	0	0	0	0
高岡市	2	2	0	0	0	0	0	10	2	6	2	0	0	1	4	0	0	0
魚津市	0	0	0	0	0	0	0	5	2	2	0	1	0	0	1	1	0	0
氷見市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
滑川市	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
砺波市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0
小矢部市	1	1	0	0	0	0	0	5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
南砺市	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0
射水市	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	1	0	0	2	1	0	1	0
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上市町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
立山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入善町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
合計	4	3	1	0	0	0	0	49	11	28	5	5	0	17	8	7	2	0

第21表 発火源別火災件数（平成24年）

(その3)

	6. 自然発火あるいは再燃を起こしやすい物						7. 危険物品					8. 天災	9. その他	0. 不明	合計	
	小計	自己反応	自然発火	他自然	再燃	レンズ	その他	火薬類	酸化性気体	酸化性液体	酸化性固体					その他
富山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13	67
高岡市	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	48
魚津市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	18
氷見市	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6
滑川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
黒部市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	10
砺波市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	11
小矢部市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12
南砺市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	6	14
射水市	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	17
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上市町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
立山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4
入善町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	5	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	9	1	42	218

第22表 経過別火災件数 (平成24年)

分類	計 (件)	細目0	細目1	細目2	細目3	細目4	細目5	細目6	細目7	細目8	細目9
1 電気的原因で発熱する	34	半断線により発熱する 2	漏電(地絡)する 6	電線が短絡する 12		過多の電流を流す 1	スパークする 2	金属の接触部が過熱する 2	静電スパークが飛ぶ 2	絶縁劣化による発熱 3	その他 4
2 化学的原因で発熱する	8			反応が急激に起こる 1			スパークによる引火 1	引火する 2	自然発火する 3		その他 1
3 熱的原因で発熱する	27			消したはずのものが再燃する 1		摩擦により発熱する 7	輻射を受けて発火する 6	高温物が触れる 3	伝導過熱する 1	過熱する 8	その他 1
4 火源あるいは着火物が運動により接触する	39		可燃物が火源の上に転倒落下する 3	可燃物が動いて火源に接触する 4	容器から火種がこぼれる 2	火花がはねる高温の飛沫が飛ぶ 1	火花が散る遠くへ飛火する 7	火花が飛ぶ 6	火源が転倒落下する 6	火源が動いて接触する 9	その他 1
5 器具機械の材質や構造の不良に基づく	9			機械が故障を起こす 1	構造不全 2				着火物が漏洩する 6		
6 使用方法が不良に基づく	28		機械の調整が適当でない 2	考え違いにより使用を誤る 3		不適当なところに捨て置く 7	放置する、忘れる 12	本来の用途以外の用途に用いる 1			その他 3
7 主に交通機関に起こる事故	2		衝突により発火 2								
8 天災地変による	8					落雷する 8					
9 その他	25		放火 13	放火の疑い 6		放火、火遊び以外で無意識に火をつける 3					その他 3
0 不明	38										不明 38
合計 (件)	218	2	26	25	7	27	28	14	18	20	51



第23表 着火物別火災件数（平成24年）

分	類	計 (件)	細目0	細目1	細目2	細目3	細目4	細目5	細目6	細目7	細目8	細目9		
0	不明	40										不明 40		
1	建築物・建具（船体・車体を含む）	1.1 屋根ひさし	4		板 1		瓦 1							
		1.2 壁軸組	12	木 2	板張りベニヤ 1						土台 2	柱けた、はり 4	その他 1	
		1.3 床	4	畳 1	板 1						カーペット 2			
		1.4 天井	0											
		1.5 付帯建築物	0											
		1.6 建具	1			椅子、ソファ 2		障子 1						
		1.7 家具調度	5							カーテン 3				
		1.8 造作	2							仏壇、神棚 1				その他 1
		1.9 その他	11			電線被覆 8		種算電力計 1						その他 2
		2	建築物（船舶・車両）内収容物	2.1 爆発物類	0									
2.2 ガス類	4												LPG 1 (スプレー用)	
2.3 引火性液体類	30				第一石油類 (ほろり、ペンゼン) 6		アルコール類 1	第二石油類 8	液化石油ガス 2	第三石油類 2	第四石油類 4	動植物油類 7	可燃性液体類 2	
2.4 可燃性固体(I)	2				赤りん 1								その他 1	
2.5 繊維類	26				衣類 7		ふとん、寝ふとん、寝具 5	繊維製品 5	袋及び紙製品 8				その他 1	
2.6 木質物	4						木製品 4							
2.7 可燃性固体(II)	14						木製品 3						その他 1	
2.8 屑類	21			ごみ 5	木屑、かんたん屑、のぎり屑 4	紙屑、わら屑 5				合成樹脂製品 9	合成樹脂屑 1	金属屑 1	その他 5	
2.9 その他	5												その他 5	
3	山野原野にあるもの の火災火物 その他			3.1 山野原野にあるもの	3		落葉 2		芝草 1					
		3.2 野積	0											
		3.3 その他	8										その他 4	
		3.9 自動車等	16										その他 9	
4	車両	4.1 自動車	0											
		4.2 電車等	6										その他 6	
9	その他	218	7	9	34	14	16	26	11	17	7	77		
合計 (件)		218	7	9	34	14	16	26	11	17	7	77		

第24表 火災による死者(平成24年)

	出火月日	市町村	出火時刻	性別	年齢	火災種別 (火元の用途)	出火箇所	出火原因	死者の発生した経過(理由)
1	1月12日	富山市	17:30	男	9	建物 (住宅)	居室	不明	不明
2	〃	〃	〃	女	20	〃	〃	〃	〃
3	〃	〃	〃	女	85	〃	〃	〃	〃
4	1月19日	小矢部市	10:35	女	62	建物 (住宅)	台所	放火の疑い	放火自殺
5	2月3日	射水市	22:00	男	80	建物 (住宅)	居室	不明	不明
6	2月20日	小矢部市	8:00	男	54	その他	道路	放火	放火自殺
7	2月21日	魚津市	22:05	男	49	その他	不明	放火	放火自殺
8	3月2日	魚津市	7:20	男	72	建物 (住宅)	居室	石油・ガソリンス トープ	着衣着火 (その他の火気取扱中)
9	3月16日	高岡市	2:10	男	77	建物 (住宅)	居室	たばこ	不明
10	〃	小矢部市	17:00	男	57	車両	運転席	その他	着衣着火 (その他)
11	4月2日	富山市	15:10	男	67	建物 (住宅)	玄関	不明	その他
12	4月10日	高岡市	14:30	男	63	建物 (共同住宅)	居室	テーブルタップ	その他
13	9月10日	黒部市	9:20	男	73	その他	河川敷等	不明	不明
14	10月22日	南砺市	18:50	女	83	建物 (住宅)	居室	不明	不明
15	11月30日	富山市	6:14	男	56	建物 (住宅)	居室	石油・ガソリンこ んろ	不明
16	〃	〃	〃	女	59	〃	〃	〃	その他
17	〃	〃	〃	女	81	〃	〃	〃	不明
18	12月1日	高岡市	23:31	男	66	建物 (住宅)	居室	石油・ガソリンス トープ	その他
19	〃	〃	〃	女	63	〃	〃	〃	逃げ遅れ (延焼拡大が早く)
計	19名(男12名、女7名、うち放火自殺者3名) ※ 65歳以上の高齢者9名(男6名、女3名) うち自殺0名								

(注)火災による死者…火災により負傷した後48時間以内に死亡したもの

第25表 死に至った経過と年齢別の状況（平成24年）

(単位:人)

年齢区分等	逃			遅れ			着衣着火			放火の		小計	合計
	発見が遅れ、気が付いた時は、火煙が回り、すでに逃げ道がなくなったと思われ、(全く気が付かなかった場合を含む)	判断力に欠け、あるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかった	延焼拡大が早かったため、ほとんど避難できなかった	逃げられれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの	避難行動を起さなかったが、逃げられなかったと思われ(一応、自力避難したと思われ)	出火後再進入	着衣着火	着火	着火	着火	その他		
	発見が遅れ、気が付いた時は、火煙が回り、すでに逃げ道がなくなったと思われ、(全く気が付かなかった場合を含む)	判断力に欠け、あるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかった	延焼拡大が早かったため、ほとんど避難できなかった	逃げられれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの	避難行動を起さなかったが、逃げられなかったと思われ(一応、自力避難したと思われ)	出火後再進入	着衣着火	着火	着火	着火	その他	小計	合計
0～5歳												0	0
6～10												1	1
11～15												0	0
16～20												1	1
21～25												0	0
26～30												0	0
31～35												0	0
36～40												0	0
41～45												0	0
46～50												0	1
51～55												0	1
56～60												1	3
61～64												1	2
65～70												2	2
71～75												1	2
76～80												2	2
81歳以上												3	3
不明												0	0
合計	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	4	16	19
割合(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	10.5	68.4	84.2	100.0
平成23年	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14	18
割合(%)	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	61.1	77.8	100.0

第26表 主要火災（平成24年中）

出市発災	町月日	火災種別	火元の用途	出火箇所	出火原因				死者数	負傷者数	焼損棟数			焼床・表面積 (㎡)	損害額 (千円)	罹災世帯数	罹災人員	備考	
					電熱線	1125	過熱する	38			木材及び木製品(家具調度を除く)	263	その他						全焼
1	射水市	建物	その他の建築物の 名目	一般倉庫	電熱線	1125	過熱する	38	木材及び木製品(家具調度を除く)	263	その他	1	1	2	464	7,140	3	9	
	1月30日																		
2	高岡市	建物	住宅	車庫	取灰	6402	不適当なところに捨て置く	64	不明	009	取灰	1	1	1	357	8,210	3	7	
	9月22日																		
3	高岡市	建物	住宅	その他	不明	0009	不明	09	仏壇、神棚	186	不明	1	1	1	327	23,371	1	5	
	10月17日																		
4	上市町	建物	医薬品原薬製造業 工場	作業場、 工場	その他	1804	管中の流動液体によるス パーク	29	第一石油類	232	その他	1	1	1	127	39,466			
	10月30日																		
5	高岡市	建物	住宅	居室	ストーブ	2502	石油・ガソリンストーブ(開放式)	69	その他	234	ストーブ	3	3	2	376	7,835	5	15	
	12月1日																		

第26表 主要火災（平成24年中）

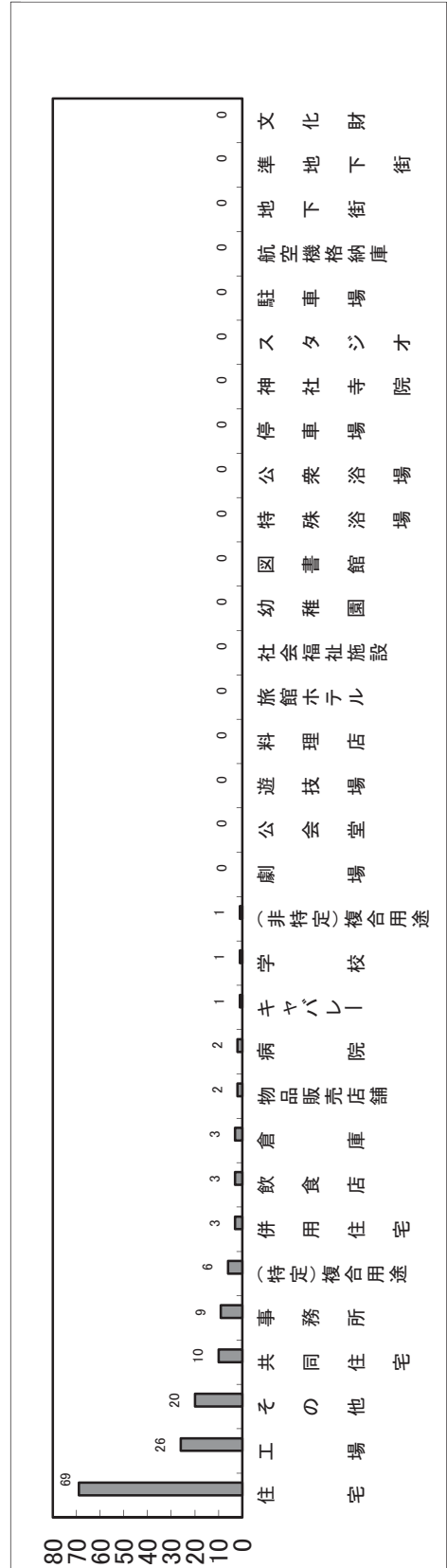
6	砺波市	建物	住宅	居室	ストーブ	石油・ガソリンストーブ(開放式)	2502	可燃物が火源の上に転倒 落下する	41	カーテン	176	1	1	8,722	1	4	
						固定煙突の火の粉	4301	火の粉が散る速くへ飛火す る	45	木屑、かんみな屑、のこぎり屑	281						
7	高岡市	建物	大工工事業(型枠大工工事業 を除く)	作業場、 工場	煙突・煙道							2	1	14,224	5	444	
			作業場								18						
8	魚津市	建物	住宅	居室	ストーブ	石油・ガソリンストーブ(開放式)	2502	火源が転倒落下する	47	第二石油類	234	1	2	3,071	2	8	
						固定煙突の火の粉	4301	火の粉が散る速くへ飛火す る	45	木屑、かんみな屑、のこぎり屑	281						

(損害額30,000千円以上又は焼損床面積300㎡以上)

第27表 建物火災の用途別出火件数（平成24年）

用途 年月	建物（計）	住宅	併用住宅	共住	劇場	公会堂	キャバレー	遊技場	料理店	飲食店	物販店舗	ホテル	病院	福祉施設	幼稚園	学校	図書館	特浴	公浴	停車場	神社	工場	スタジオ	駐車場	航空機	倉庫	事務所	複合用途（特定）	複合用途（非特定）	地下街	準地下街	文化財	その他
平成24年	156	69	3	10	0	0	1	0	0	3	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	3	9	6	1	0	0	20
平成23年	143	79	7	5	0	0	0	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	0	1	2	2	2	0	0	0	23
平成22年	160	74	5	6	0	0	0	0	0	4	1	2	0	2	0	0	0	0	1	0	2	19	0	1	3	4	8	4	0	0	0	24	
平成21年	154	77	8	7	0	0	0	2	1	5	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	2	12	0	0	1	5	8	1	0	0	0	20	
平成20年	166	78	11	17	0	0	0	1	0	3	1	0	0	1	0	2	0	0	1	0	2	15	0	0	4	5	5	0	1	0	0	19	
平成19年	194	84	9	11	0	1	0	0	0	5	0	0	1	2	0	3	0	0	1	0	1	26	0	0	4	6	9	4	0	0	0	27	

図-12 建物火災の用途別出火件数（平成24年）





焼 損 面 積			全 国		建物火災1件 当たり焼損 床面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)		一件当たり 損害額 (千円)		死 者 数 (人)				負傷者数 (人)			
建物 床面積 (m <sup>2</sup> )	建物 表面積 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	建物 火災件 数	建物 床面積 (m <sup>2</sup> )		富 山 県	全 国	富 山 県	全 国	富 山 県	全 国	富 山 県	死 発 生 率	全 国	死 発 生 率		富 山 県
			15,888	3,891,485		244.9	209,909	10,864,194	963	578	8		485		56	2,695	昭和22年
35,264		860	15,099	2,551,689	160.3	169.0	205,603	13,323,769	914	783	3		407		32	2,046	昭和23年
35,904		218	16,346	3,032,367	156.8	185.5	223,428	26,997,306	955	1,461	0		425		16	4,333	昭和24年
26,492		990	16,663	2,286,742	114.2	137.2	99,777	21,812,185	417	1,134	9		423		10	4,269	昭和25年
56,651		3,793	18,130	2,368,582	215.4	130.6	316,868	22,228,156	1,156	1,045	1		678		40	6,475	昭和26年
33,845		1,680	18,350	2,353,260	126.8	128.2	188,923	38,613,883	665	1,749	4		471		84	7,844	昭和27年
37,574		1,794	21,214	2,167,810	163.4	102.2	276,555	24,255,833	1,129	945	6		499		52	4,392	昭和28年
47,564		845	22,618	2,301,493	155.4	101.8	436,184	32,859,786	1,298	1,179	4		525		85	6,523	昭和29年
23,479		3,772	23,769	2,211,096	75.7	93.0	247,915	31,859,417	700	1,064	3		694		67	6,764	昭和30年
193,956		560	25,814	2,650,923	710.5	102.7	1,705,971	37,128,320	5,365	1,115	11		640		226	7,511	昭和31年
22,980		637	26,170	2,094,371	73.4	80.0	170,979	26,251,287	480	758	11		626		107	7,313	昭和32年
29,231		1,095	27,861	1,984,887	83.0	71.2	178,735	21,749,898	441	601	12		583		68	7,584	昭和33年
21,059		116	28,218	1,812,226	58.7	64.2	157,548	20,803,401	384	564	7		655		83	7,937	昭和34年
22,680		615	31,187	2,056,123	63.5	65.9	224,836	24,433,611	539	559	5		780		78	8,113	昭和35年
32,527		902	32,573	2,472,998	75.1	75.9	349,422	43,020,927	672	913	10		806		86	8,774	昭和36年
36,658		604	33,532	2,409,001	81.3	71.8	319,847	40,199,998	571	810	9		861		86	8,610	昭和37年
26,411		676	33,546	2,334,986	62.9	69.6	231,121	39,020,771	444	773	6		853		79	8,622	昭和38年
31,696		484	33,647	2,530,362	73.7	75.2	374,985	52,908,641	692	1,079	12		940		134	9,145	昭和39年
35,996		1,446	34,614	2,490,196	83.3	71.9	361,215	51,203,175	624	945	14		965		92	9,308	昭和40年
21,872		1,112	32,983	2,318,555	53.3	70.3	239,059	48,865,228	473	1,017	5		1,111		82	8,210	昭和41年
28,980		1,423	35,687	2,436,970	68.5	68.3	457,833	53,294,553	880	978	11	1.07	1,106	1.13	93	9,370	昭和42年
29,193		875	34,453	2,245,673	82.7	65.2	563,458	54,252,470	1,252	1,011	12	1.17	1,160	1.18	100	8,807	昭和43年
33,228		5,299	37,653	2,555,551	94.1	67.9	634,744	70,171,860	1,501	1,235	9	0.87	1,334	1.30	75	9,302	昭和44年
31,177		3,094	39,845	2,505,789	83.8	67.9	482,527	83,387,083	1,016	1,305	10	0.97	1,595	1.54	83	9,725	昭和45年
28,217		2,418	39,549	2,514,028	85.5	63.6	457,649	78,569,529	1,050	1,227	5	0.48	1,483	1.42	107	9,208	昭和46年
41,032		1,671	38,868	2,434,485	118.6	62.6	762,188	84,106,133	1,802	1,443	4	0.38	1,672	1.56	115	9,692	昭和47年
26,868		1,747	42,551	2,571,700	74.8	60.4	600,108	113,795,975	1,299	1,557	14	1.33	1,870	1.72	71	9,789	昭和48年
22,065		1,325	39,143	2,289,580	77.4	58.5	575,307	112,305,713	1,538	1,659	6	0.56	1,646	1.50	67	9,070	昭和49年
29,646		2,188	38,455	2,082,624	104.4	54.2	822,939	110,148,495	2,230	1,771	12	1.12	1,674	1.50	77	8,232	昭和50年
22,637		849	38,796	2,267,147	73.3	58.4	824,676	160,953,944	2,072	2,583	13	1.20	1,648	1.46	84	9,365	昭和51年
15,026		212	39,302	2,124,268	56.9	54.0	516,960	129,393,052	1,562	2,023	18	1.66	1,909	1.67	72	8,506	昭和52年
25,907		1,535	39,912	2,209,124	79.0	55.3	871,163	130,538,604	1,936	1,854	18	1.65	1,854	1.61	66	8,718	昭和53年
32,464		4,342	38,291	2,043,066	124.4	53.4	2,004,800	136,827,438	5,433	2,145	21	1.91	2,070	1.78	123	8,157	昭和54年
30,541		296	38,014	2,128,326	114.0	56.0	1,837,373	150,707,250	5,724	2,517	19	1.72	1,947	1.66	71	8,049	昭和55年
26,720		326	38,882	2,094,854	86.8	53.9	1,149,900	150,302,972	3,285	2,473	20	1.81	1,971	1.67	69	8,004	昭和56年
30,985		949	36,996	1,932,409	131.9	52.2	1,712,661	149,072,798	5,709	2,461	23	2.07	1,849	1.56	67	8,112	昭和57年
20,932		383	37,395	1,954,917	79.3	52.3	781,810	150,579,160	2,362	2,521	18	1.62	1,828	1.53	64	7,407	昭和58年
19,278		250	38,254	2,031,409	86.1	53.1	742,537	146,210,317	2,642	2,292	20	1.79	2,089	1.74	58	7,858	昭和59年
16,166		225	36,879	1,977,347	82.5	53.6	618,496	154,927,483	2,407	2,588	17	1.52	1,747	1.44	48	7,550	昭和60年
16,505		305	38,121	1,944,033	74.3	51.0	703,238	149,766,240	2,595	2,367	21	1.88	2,061	1.69	53	7,731	昭和61年
18,164		1,338	36,515	1,854,633	86.5	50.8	1,053,847	146,153,576	3,992	2,484	18	1.61	1,857	1.52	37	7,681	昭和62年
12,533		289	37,090	1,859,535	74.6	50.1	526,704	144,021,140	2,508	2,413	18	1.61	2,116	1.82	32	7,703	昭和63年
11,450		252	35,186	1,734,055	56.7	49.3	720,198	140,494,183	2,928	2,519	13	1.16	1,747	1.42	44	7,292	平成元年
14,863		45	34,768	1,674,064	73.6	48.1	992,377	148,457,654	4,067	2,627	20	1.79	1,828	1.48	48	7,097	平成2年
20,401		200	34,263	1,656,447	122.2	48.3	965,955	161,419,745	4,472	2,941	14	1.25	1,817	1.46	38	6,948	平成3年
16,080		68	33,532	1,691,124	86.5	50.4	878,315	156,874,370	3,614	2,865	15	1.34	1,882	1.51	55	6,896	平成4年
8,233		0	33,608	1,668,483	46.0	49.6	545,552	163,493,706	2,331	2,883	20	1.78	1,841	1.49	40	6,895	平成5年
14,986		118	34,315	1,795,118	76.5	52.3	1,170,760	172,691,685	4,486	2,740	17	1.52	1,898	1.53	46	7,007	平成6年
14,436	2,142	112	34,539	2,574,330	75.2	74.5	1,066,825	193,758,945	4,072	3,080	25	2.22	2,356	1.89	46	7,279	平成7年
16,299	1,301	180	34,756	1,709,736	82.3	49.2	1,327,760	171,299,723	5,010	2,674	19	1.69	1,978	1.58	48	8,045	平成8年
20,353	1,448	649	34,519	1,812,668	93.4	52.5	1,581,252	176,855,391	5,490	2,858	23	2.04	2,095	1.67	46	7,618	平成9年
14,305	533	461	32,519	1,553,153	99.3	47.8	979,890	146,049,398	4,924	2,679	16	1.42	2,062	1.64	35	7,309	平成10年
11,748	1,263	315	33,330	1,612,347	68.3	48.4	747,982	151,158,888	3,004	2,583	26	2.31	2,122	1.69	50	7,576	平成11年
13,924	1,845	42	34,028	1,594,049	84.4	46.8	1,040,669	150,425,935	4,034	2,409	21	1.86	2,034	1.61	44	8,281	平成12年
10,849	1,070	534	34,130	1,598,642	62.0	46.8	734,796	147,355,425	2,569	2,317	25	2.22	2,195	1.74	64	8,244	平成13年
11,310	1,021	70	34,171	1,649,751	50.9	48.3	712,094	167,373,016	2,297	2,630	21	1.87	2,235	1.77	62	8,786	平成14年
20,531	905	134	32,534	1,571,921	107.5	48.3	1,307,256	133,099,000	4,933	2,363	19	1.70	2,248	1.76	71	8,605	平成15年
20,496	974	183	33,325	1,574,582	95.3	47.2	3,028,690	135,327,440	9,963	2,241	21	1.88	2,004	1.58	88	8,641	平成16年
13,845	864	347	33,049	1,502,781	76.1	45.5	940,904	130,098,605	3,421	2,264	19	1.70	2,195	1.73	79	8,850	平成17年
12,161	917	6	31,506	1,386,092	79.0	44.0	811,097	114,228,906	3,808	2,144	21	1.88	2,067	1.63	58	8,541	平成18年
13,475	639	1,286	31,248	1,387,149	69.5	44.4	723,435	126,161,916	2,859	2,311	13	1.17	2,005	1.58	60	8,490	平成19年
12,706	399	23	30,053	1,317,231	76.5	43.8	800,181	108,416,810	3,510	2,069	29	2.62	1,969	1.55	42	7,998	平成20年
10,645	371	2,249	28,372	1,224,884	69.1	43.2	694,650	93,128,879	3,115	1,821	29	2.63	1,877	1.48	59	7,654	平成21年
8,826	513	234	27,137	1,187,415	55.2	43.8	530,577	101,762,173	2,401	2,183	13	1.18	1,738	1.37	44	7,305	平成22年
8,455	418	413	26,795	1,395,112	59.1	52.1	373,667	112,835,173	1,779	2,256	18	1.65	1,766	1.39	45	7,286	平成23年
9,235	2,627	81	25,583	1,138,178	59.2	44.5	433,367	89,698,625	1,988	2,030	19	1.74	1,721	1.36	33	6,826	平成24年

資料 「火災年報」消防白書」消防庁  
「消防防災年報」県消防課、防災・危機管理課



第29表 富山県における過去の大火記録（戦後）

焼損面積3,000㎡以上

出火年月日	発生時刻 鎮火時刻	出火場所	出火原因	気象状況			焼損棟数			り災世帯数			り災人員	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	死傷者	
				風向	風速	湿度	計	全	半	部	計	全				半	小
S24.5.1	13:30 15:10	高岡市戸出 金三製材(株)	たばこ	SW	10.0m/s	—	82	76	6					3,284	30,000		
S24.10.10	18:30 21:00	砺波市鷹栖 出町高校	電熱器の切忘れ		0m/s	—	5	5						3,099	24,000		
S25.11.4	4:30 6:00	魚津市 大町小学校	火消壺の不始末	WSW	3.4m/s	68%	22	18	4	12	9	3	64	5,815	24,203		
S26.2.18	21:30 0:30	富山市石金 松井鉄工所	こたつ	WSW	7.4m/s	81%	8	8		19			68	20,559	106,360		3
S26.2.22	8:30 11:00	上新川郡 農業 奥野正義 大沢野町大久保	いろり	SW	16.0m/s	45%	99	97	2	28				6,953	49,188		13
S26.11.21	3:00 5:00	中新川郡立山町 丸福八百屋	こたつ	SW	2.8m/s	79%	18	14	4	25	21	4		3,587	28,528		3
S27.2.1	23:10 2:30	富山市石金 不二越工業所	電熱器の放置	SSW	2.2m/s	89%	1	1						4,277	22,000		3
S27.4.17	17:00 19:30	黒部市生地 魚業 経塚秀一	子供の火遊び	S	4.0m/s	33%	85	65	20	60	45	15		7,013	25,000		56
S28.4.29	11:40 13:00	高岡市渡り 土木採取 川辺宗一	〃	SW	6.0m/s	32%	58	53	5	61	55	6		4,254	16,850		
S28.5.25	16:30 17:40	魚津市吉島 県立魚津高校	マッ子	W	11.7m/s	22%	3	2	1	1				4,557	31,420		4
S28.6.17	0:40 4:50	下新川郡朝日町 農業 谷口芳江	子供の火遊び	N	3.0m/s	55%	47	45	2	32	30	2		3,551	11,550		2
S29.4.7	8:40 11:40	西砺波郡福光町 大平木工(株)	電灯のスパーク	NINE	4.0m/s	90%	10	9	1	2	2		7	3,643	19,430		1
S29.4.10	11:08 13:30	高岡市木津 高岡農協病院	煙突の火の粉	NNE	5.9m/s	55%	9	6	3	1	1		321	5,947	81,070		10
S29.9.26	10:44 13:10	黒部市三日市 松田製パン店	〃	SW	15.0m/s	58%	164	148	12	4	127	116	570	14,708	142,899	1	23
S31.9.10	19:45 2:10	魚津市真成寺町 岡本長次郎	不明	SW	9.3m/s	53%	1,677	1,663	7	7	1,597	1,593	7,078	175,967	1,590,140	5	170
S33.5.31	10:35 14:30	西砺波郡 沢元良雄 福岡町沢	こんろ	WSW	4.0m/s	38%	41	40	1	20	18	2	123	4,026	29,406	1	
S36.12.13	1:55 4:40	中新川郡 町立 雄山中学校 立山町前沢	不明	S	8.0m/s	52%	19	19		15	15		71	6,926	74,624		3
S37.3.10	0:40 4:00	東砺波郡 大建木材工業(株) 井波町井波	煙道の不完全	ESE	1.5m/s	70%	7	5	1	1				3,427	54,100		2
S46.5.23	22:10 23:30	富山市太郎丸 県立富山高校	不明	SSE	7.0m/s	70%	19	1	1	17	13	13	42	5,621	29,014		7
S47.2.17	1:25 4:04	富山市総曲輪 てんぷら料理店	都市ガスストーブの輻射		0m/s	65%	24	13	4	7	8	4	28	4,279	148,241		7
S47.7.20	3:50 6:00	氷見市北大町 市立北部中学校	不明	NE	2.0m/s	90%	2	2		1	1		3	4,255	64,104		3
S50.7.29	23:05 1:40	東砺波郡 井波町役場 井波町井波	たばこ		0m/s	85%	1	1						5,570	153,272		7
S54.4.11	15:47 21:05	西砺波郡福光町 瀬川製材所	不明	W	6.0m/s	37%	122	89	27	6	57	42	242	14,214	1,209,100		41
S55.10.17	4:00 5:22	黒部市吉田 吉田工業(株)生地工場	屋内線絶縁劣化		0m/s	90%	1		1					5,442	757,338		
S57.11.18	0:00 1:56	東砺波郡 庄川温泉観光 庄川町金屋ホテル(株)	不明	ESE	3.0m/s	80%	1		1		5		14	3,980	472,780	2	8
H3.9.28	1:07 6:54	小矢部市藤森 水上建設	焼却火	SSW	17.0m/s	38%	35	29	6	15	14	1	66	4,601	130,004		

## 第 8 章 危 険 物 規 制

### 1. 危険物施設の現況

#### (1) 危険物の規制

危険物の規制事務は、平成25年3月31日現在、消防本部・署設置の4市1町3組合の区域に設置される施設については市町村長が所管し、2以上の行政区域にわたって設置される施設については県知事が所管している。

#### (2) 危険物施設数

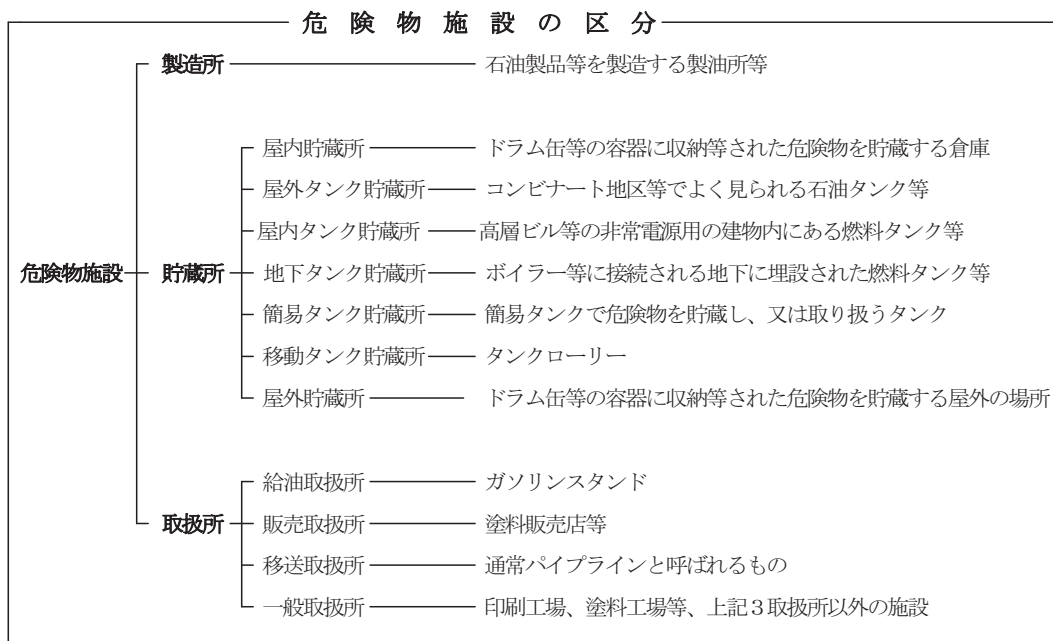
危険物施設数の推移は、第1表のとおりである。

また、平成25年3月31日現在の危険物施設数は、第2表から第6表のとおりである。

### 第1表 危険物施設数の推移

(各年度とも年度末(3月31日)現在)

施 設 \ 年 度	19	20	21	22	23	24
製 造 所	60	63	60	62	64	65
貯 蔵 所	5,714	5,579	5,464	5,366	5,242	5,136
取 扱 所	1,911	1,887	1,859	1,831	1,823	1,794
総 計	7,685	7,529	7,383	7,259	7,129	6,995
対前年増加率(%)	-1.7	-2.0	-1.9	-1.7	-1.8	-1.9



第2表 危険物規制対象施設数一覧表

(平成25年3月31日現在)

区分 市町村名	合計	製造所	貯蔵所						取扱所						事業所数		
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種売買取扱所	第2種売買取扱所		移送取扱所	一般取扱所
県計	6,995	65	5,136	920	1,170	172	1,636	29	1,101	108	1,794	788	7	3	9	987	3,294
富山県	2,345	24	1,701	316	399	44	573	10	330	29	620	264	5	2	5	344	1,198
高岡市	1,213	18	916	195	269	20	210		202	20	279	118			2	159	440
射水市	683	8	472	73	133	13	118	2	123	10	203	100	1		1	101	310
富山県東部消防組合	735	12	522	88	163	13	130	3	119	6	201	78		1		122	299
氷見市	241		188	49	23	15	57	2	39	3	53	27				26	159
新川地域	620	2	444	73	65	36	157	2	91	20	174	68	1			105	194
砺波地域消防組合	972	1	752	111	103	18	336	9	166	9	219	114				105	596
立山町	185		141	15	15	13	55	1	31	11	44	19				25	97
本部設置計	6,994	65	5,136	920	1,170	172	1,636	29	1,101	108	1,793	788	7	3	8	987	3,293
本部未設置計	1										1				1		1
前年度未県計	7,129	64	5,242	927	1,175	164	1,719	29	1,122	106	1,823	807	7	3	9	997	3,432

注：1. 貯蔵所及び取扱所の区分は政令の区分による。(以下の表において同様)

2. 本表には、設置を許可したもので完成検査済証を交付した危険物施設のうち、廃止届を受理したものを除いた数を記載した。(以下の表において同様)

3. 市町村名の項目中「本部」とは、消防本部をさす。

4. 2以上の行政区の区域にわたる施設は、本部未設置に含めた。(以下の表において同様)

第3表 数量別危険物製造所等数（完成検査済証交付施設）

（平成25年3月31日現在）

製造所等の別 数量の別	合計		貯蔵						取扱						
	製造所	小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種売取取扱所	第2種売取取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総計	計	6,995	65	920	1,170	172	1,636	29	1,101	108	1,794	7	3	9	987
	A地区	6,994	65	920	1,170	172	1,636	29	1,101	108	1,793	7	3	8	987
	B地区	1									1			1	
5倍以下	計	3,165	2	450	214	122	950	27	867	62	471	5			418
	A地区	3,165	2	450	214	122	950	27	867	62	471	5			418
	B地区														
5倍を超え 10倍以下	計	1,265	10	212	175	34	422	2	45	30	335	1			247
	A地区	1,265	10	212	175	34	422	2	45	30	335	1			247
	B地区														
10倍を超え 50倍以下	計	1,266	25	810	378	16	209		39	15	431	1	3		215
	A地区	1,266	25	810	378	16	209		39	15	431	1	3		215
	B地区														
50倍を超え 100倍以下	計	478	10	359	48	157	36		118		109	63			46
	A地区	478	10	359	48	157	36		118		109	63			46
	B地区														
100倍を超え 150倍以下	計	202	4	97	28	42	11		16		101	87			14
	A地区	202	4	97	28	42	11		16		101	87			14
	B地区														
150倍を超え 200倍以下	計	166	1	52	8	34	4		6		113	106			7
	A地区	166	1	52	8	34	4		6		113	106			7
	B地区														
200倍を超え 1,000倍以下	計	331	12	110	85		4		9	1	209	185		1	23
	A地区	331	12	110	85		4		9	1	209	185		1	23
	B地区														
1,000倍を超え 5,000倍以下	計	66	1	49	6	42			1		16			2	14
	A地区	66	1	49	6	42			1		16			2	14
	B地区														
5,000倍を超え 10,000倍以下	計	14		13	1	12					1				1
	A地区	14		13	1	12					1				1
	B地区														
10,000倍 を超えるもの	計	42		34	3	31					8			6	2
	A地区	41		34	3	31					7			5	2
	B地区	1									1			1	

注：1. 数量の別の欄は、製造所等で貯蔵し又は取り扱う危険物の最大数量（許可数量）を、指定数量の倍数によって表したものである。  
 2. A地区とは、消防本部及び消防署の設置市町村をいい、B地区とは、消防本部及び消防署の未設置市町村（2以上の許可行政庁の区域にわたるものを含む。）をいう。（以下の表において同様）

第4表 類別別危険物製造所等数（完成検査済証交付施設）

（平成25年3月31日現在）

製造所等の別 類別	合計	製造所	貯蔵所						取扱所										
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所			
総計	計	6,995	65	5,136	920	1,170	172	1,636	29	1,101	108	1,794	788	7	3	9	987		
	A地区	6,994	65	5,136	920	1,170	172	1,636	29	1,101	108	1,793	788	7	3	8	987		
	B地区	1										1				1			
単独	第1類	計	15	7	7							4						4	
		A地区	15	7	7								4						4
	第2類	計	20	2	18	9	4				4	1							
		A地区	20	2	18	9	4				4	1							
	第3類	計	32		29	11	2				16		3						3
		A地区	32		29	11	2				16		3						3
第4類	計	6,783	43	5,009	842	1,153	172	1,636	29	1,070	107	1,731	788	7	3	9	924		
	A地区	6,782	43	5,009	842	1,153	172	1,636	29	1,070	107	1,730	788	7	3	8	924		
	B地区	1										1				1			
第5類	計	8		7	7							1					1		
	A地区	8		7	7							1					1		
	B地区																		
第6類	計	30	2	22	11	11				11	6						6		
	A地区	30	2	22	11	11				11	6						6		
	B地区																		
混在	計	107	14	44	44						49						49		
	A地区	107	14	44	44						49						49		
	B地区																		

注：単独とは、類を同じくする危険物のみを貯蔵し又は取り扱っている製造所等をいい、混在とは類を異にする危険物を貯蔵し又は取り扱っている製造所等をいう。

第5表 容量別屋外タンク貯蔵所数 (危険物類別別)

(平成25年3月31日現在)

危険物の類別 タンク容量別	合計					
	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
19年度末	0	6	2	1,230	0	12
20年度末	0	6	2	1,211	0	11
21年度末	0	4	2	1,200	0	11
22年度末	0	4	2	1,195	0	11
23年度末	0	4	2	1,158	0	11
24年度末	0	4	2	1,153	0	11
100KL未満		1	1	934		10
100KL以上		2		126		
500KL "		1	1	19		1
1,000KL "				40		
5,000KL "				7		
10,000KL "				23		
50,000KL "				4		

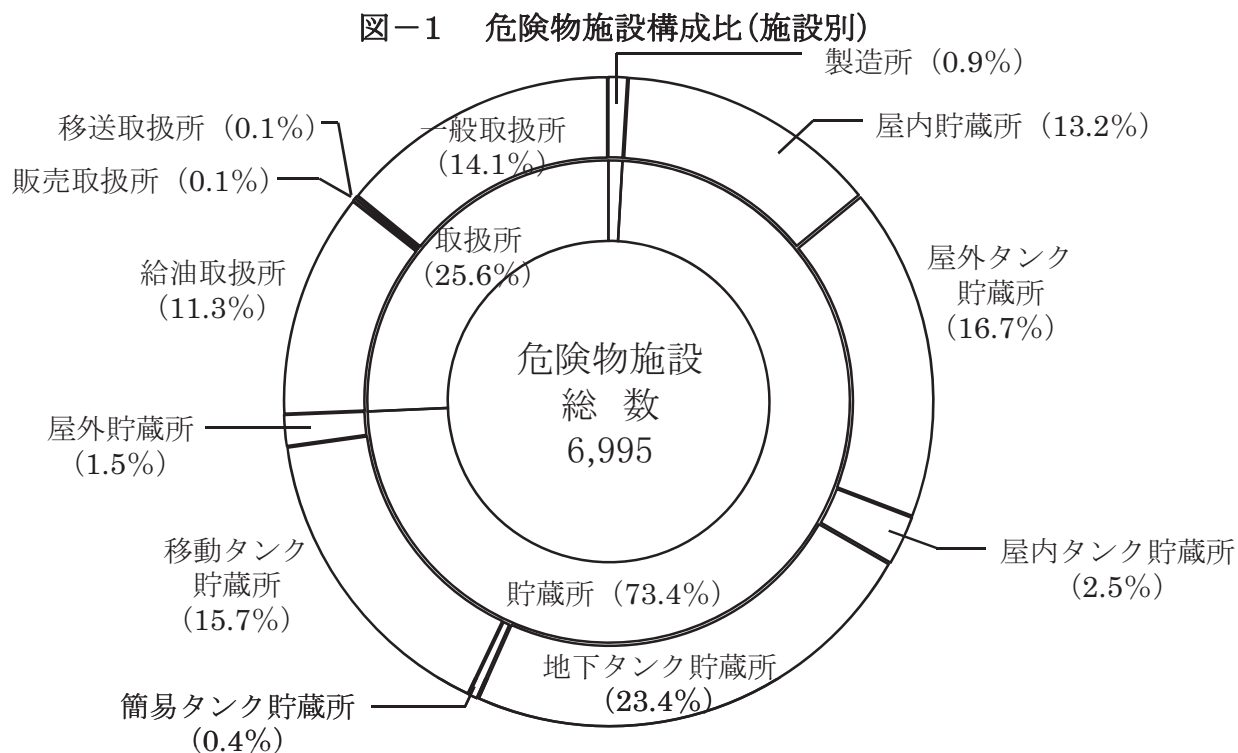
第6表 容量別屋外タンク貯蔵所数 (第4類の内訳)

(平成25年3月31日現在)

危険物の品名 タンク容量別	第1石油類						第2石油類		第3石油類		第4石油類	アルコール類	その他
	原油		ナフサ		ガソリン		灯油	軽油	重油				
19年度末	11		7		16		180	51	411	19	96	439	
20年度末	12		5		16		178	51	399	17	95	438	
21年度末	11		6		15		179	51	396	15	92	435	
22年度末	8		6		15		171	50	383	15	99	448	
23年度末	8		9		15		170	54	367	15	93	427	
24年度末	8		11		14		168	53	359	15	97	428	
100KL未満	1		3		2		133	36	276	15	92	376	
500KL "							27	7	41		5	46	
1,000KL "			3		4			1	9			2	
5,000KL "			3		6		5	8	14			4	
10,000KL "			1		2		1	1	2				
50,000KL "	3		1				2		17				
50,000KL "	4												

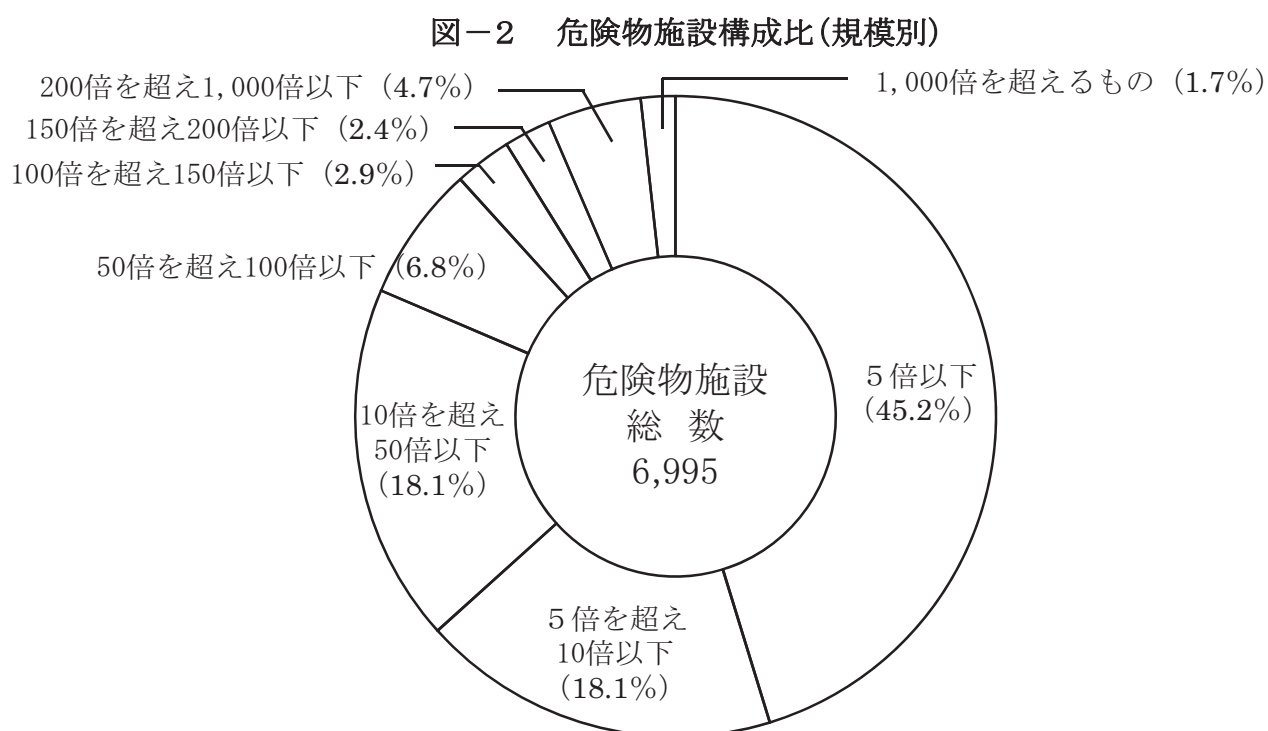
(3) 危険物施設の区分構成

平成25年3月31日現在の危険物施設区分毎の構成比は図－1のとおりで、製造所0.9%、貯蔵所73.4%、取扱所25.6%となっている。施設別で最も多いのは、地下タンク貯蔵所で23.4%を占め、次いで、屋外タンク貯蔵所16.7%、移動タンク貯蔵所15.7%、一般取扱所14.1%、屋内貯蔵所13.2%、給油取扱所11.3%の順となっている。



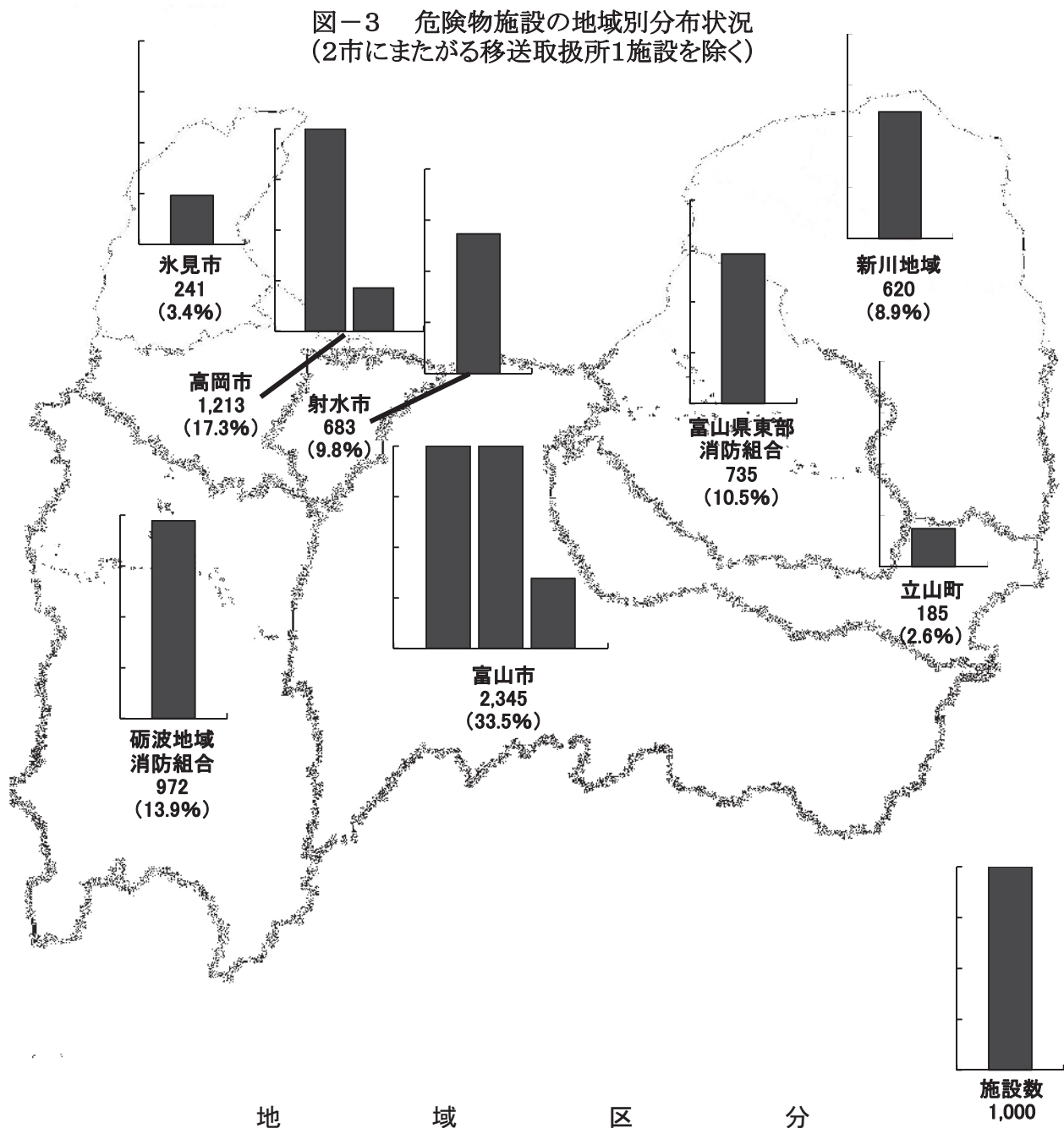
(4) 危険物施設の規模別構成

平成25年3月31日現在の危険物施設の規模別構成比は図－2のとおりで、指定数量の倍数5倍以下の小規模施設が全体の45.2%を占めている。



(5) 地域別分布状況

平成25年3月31日現在の危険物施設の消防本部（局）別分布状況は図－3のとおりである。富山・高岡両市で全体の50.9%を占めている。



地 域 区 分	
富山市	富山市
高岡市	高岡市
射水市	射水市
富山県東部消防組合	魚津市、滑川市、上市町、舟橋村
氷見市	氷見市
新川地域	黒部市、入善町、朝日町
砺波地域消防組合	砺波市、南砺市、小矢部市
立山町	立山町



## 2. 危険物施設の自主保安

消防法では、一定規模以上の事業所について、その自主保安体制を確立するため、危険物保安統括管理者を選任しなければならない事業所、自衛消防組織を設置しなければならない事業所等が定められており、その状況は第7表のとおりである。

第7表 危険物保安統括管理者等の選任、設置事業所数

(平成25年3月31日現在)

市町村等の別		危険物 保安統括管理者	危険物施設 保安員	予防規程	自衛消防組織
総 数		5	33	576	3
消防本部 設置 市町村	4市	4	27	390	3
	3組合	0	5	173	0
	1町	0	0	12	0
	小 計	4	32	575	3
2以上の許可行政庁の 区域にわたるもの		1	1	1	0

注：複数項目に該当する場合は、重複して掲載した。

## 3. 危険物施設の保安検査

消防法第14条の3の規定により、移送取扱所又は屋外タンク貯蔵所で一定規模以上のものは、一定期間ごとに保安検査を受けなければならないこととされているが、平成24年度における実施状況は第8表のとおりである。

第8表 危険物施設の保安検査実施状況

区 分	実施行政庁	検査対象施設数	24年度実施数
特定移送取扱所	富山市	1	1
	県	1	1
特定屋外タンク貯蔵所	富山市	20	1
	射水市	7	0

## 4. 危険物施設への立入検査

消防法第16条の3の2又は第16条の5の規定により、危険物施設の位置、構造、設備の基準及び貯蔵・取扱いの基準が守られているかについて、立入検査を実施しているが、平成24年度の実施状況は次のとおりである。

施 設 総 数	6,995
検 査 施 設 数	4,534
延 検 査 回 数	4,862

また、移動タンク貯蔵所について、平成24年11月に、常置場所等での立入検査（移動タンク貯蔵所691台、危険物運搬車両1台）及び走行中車両に対する路上立入検査（移動タンク貯蔵所41台、危険物運搬車両5台）を実施した結果、不適合車両への指導件数は、常置場所等では移動タンク貯蔵所94件、危険物運搬車両0件、走行中の車両では移動タンク貯蔵所2件、危険物運搬車両1件であった。

## 5. 危険物施設等の事故

平成 24 年における事故の発生件数は 14 件であり、その概要は第 9 表のとおりである。

また、火災・流出事故件数及び事故の発生原因については、第 10 表及び第 11 表のとおりである。

### 第 9 表 危険物製造所等における事故

(自 平成 24 年 1 月 1 日 ~ 至 同年 12 月 31 日)

発生日 (覚知日)	発生場所 (事故種別)	製造所等 の区分等	危険物の名称 及び種類等	死傷 者数	事故の概要
平成 24 年 2 月 21 日	射水市内 (流出)	一般取扱所	第 4 類 第 4 石油類 油圧作動油	0	一般取扱所の揚炭機の油圧配管の継手部分の締め付けが弱かったため、継手部から油圧作動油 400 L が敷地内及び海上に流出したものの。
平成 24 年 4 月 14 日	富山市内 (破損)	地下タンク 貯蔵所	第 4 類 第 3 石油類 重油	0	地下タンク貯蔵所へ荷卸し作業時に、地下タンク貯蔵所の通気管が錆により詰まっていたため、地下タンク内の圧力が上昇し、地下タンクに繋がっているサービスタンクの通気管から重油約 200 L が漏洩したものの。
平成 24 年 4 月 25 日	射水市内 (火災)	製造所	第 2 類 可燃性固体 赤りん系難燃剤	0	乾燥機からの排ガスダクト内に付着していた赤りん系難燃剤が、静電気火花により着火し、乾燥機本体内に残っていた赤りん系難燃剤に延焼し、乾燥機を焼損したものの。
平成 24 年 6 月 3 日	小矢部市内 (流出)	給油取扱所	第 4 類 第 2 石油類 軽油	0	固定注油設備からミニローリーに荷積中、固定注油設備ポンプ設備のパッキンの不良のため、ポンプ設備から軽油が漏洩し、軽油約 200 L が河川に流出したものの。
平成 24 年 6 月 29 日	射水市内 (火災)	一般取扱所	指定可燃物 可燃性液体	0	天井部分に設置されている換気扇用オイルパンにアルミ溶湯が入り、オイルパン内の可燃性液体類が燃え、換気扇と天井材の一部を焼損したものの。
平成 24 年 7 月 8 日	射水市内 (火災)	一般取扱所	(離型剤)	0	バーナーで金型を予熱中にその場を離れた際に、バーナーの炎が大きくなり、排気ダクト内に付着していた離型剤及びダクトジャバラに、着火延焼したものの。
平成 24 年 7 月 31 日	富山市内 (流出)	屋外タンク 貯蔵所	第 4 類 第 1 石油類 原油	0	屋外タンク貯蔵所への原油受入れ準備中に、付属配管のフランジ部から空気漏れを発見し点検するため、配管を取り外したところ、パッキンが脱落し、海水及び原油が漏洩したものの。

発生日 (覚知日)	発生場所 (事故種別)	製造所等 の区分等	危険物の名称 及び種類等	死傷 者数	事故の概要
平成 24 年 8 月 28 日	射水市内 (流出)	一般取扱所	第 4 類 第 4 石油類 油圧作動油	0	一般取扱所の揚炭機の配管の締め付けが弱かったため、継手部から油圧作動油 400L が流出したものの。
平成 24 年 10 月 1 日	黒部市内 (流出)	地下タンク 貯蔵所	第 4 類 第 2 石油類 灯油	0	地下タンク貯蔵所からボイラーへの地下埋設配管の腐食により、灯油が流出したものの。
平成 24 年 10 月 20 日	射水市内 (破損)	一般取扱所	(運転室)	0	900°C に熱した鋼材を圧延中に、鋼材が誘導器具を破損し、通常のルートからはずれ、運転室を破損したものの。
平成 24 年 10 月 30 日	上市町内 (火災)	製造所	第 4 類 第 1 石油類 n-ヘキサン・酢酸 エチル混合液	0	ステンレス容器を用いた n-ヘキサン、酢酸エチル混合液の小分け作業中に発生した静電気火花が、混合液に引火し、建物の一部を焼損したものの。
平成 24 年 11 月 6 日	射水市内 (流出)	一般取扱所	第 4 類 第 4 石油類 潤滑油	0	潤滑油を冷却するオイルクーラーの配管が破損し、オイルクーラー内の冷却水に潤滑油が混入し、排水から河川に流出したものの。
平成 24 年 11 月 8 日	南砺市内 (火災)	屋外タンク 貯蔵所	第 4 類 第 2 石油類 ジシクロペンタ ジエン	0	屋外タンクに接続された、ジシクロペンタジエン注入機のタンクの補修の際に、溶接機の火花がタンク下に落ちていたジシクロペンタジエンの屑に引火し、注入機を焼損したものの。
平成 24 年 12 月 21 日	富山市内 (流出)	地下タンク 貯蔵所	第 4 類 第 2 石油類 灯油	0	建物の工事に伴い、注入口と地下タンクの間埋設配管を破断していたことに気づかず、灯油を注入したため、破断部分から灯油約 400L が流出したものの。

第10表 危険物施設等における火災・流出事故件数 (平成20年～平成24年)

年	計	火災 流出 その他	製造所	貯蔵所			取扱所			運搬中	無許可	その他
				移動 タンク 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	その他	給油 取扱所	一般 取扱所	その他			
20	8 (1)	0 (0)										
		8 (1)		3 (1)		2		2		1		
21	5 (1)	3 (1)						1	2 (1)			
		2 (0)	1	1								
22	18 (1)	3 (1)							3 (1)			
		15 (0)	1	2	4	4	2	2				
23	19 (0)	3 (0)							3			
		16 (0)		3	2	1	7	1	2			
24	14 (0)	5 (0)	2		1				2			
		9 (0)			1	3	1	4				
合計	64 (3)	14 (2)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	10 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		50 (1)	2 (0)	9 (1)	7 (0)	10 (0)	10 (0)	9 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)

注：各年1月1日から12月31日までにおける発生件数であり、表中の( )内の数値は死傷者数である。

第11表 危険物施設等における事故の発生原因 (平成20年～平成24年)

事故発生原因	20年			21年			22年			23年			24年			計			
	火災	流出	その他	火災	流出	その他	火災	流出	その他	火災	流出	その他	火災	流出	その他	火災	流出	その他	
人的要因	誤操作															0	0	0	
	確認不十分		3		1		1	1		2		1				2	6	2	
	監視不十分				1	1		1	1		1	1				4	3	0	
	管理不十分		1		1			2	1		2	1		3	1		8	4	0
	不作為		1													0	1	0	
	小計	0	5	0	3	1	1	3	3	1	3	4	0	5	1	0	14	14	2
物的要因	腐食等劣化		1					7			2			1		0	11	0	
	破損							1			2	2		4		0	7	2	
	故障							1								0	1	0	
	設計不良							1			1			3		0	5	0	
	小計	0	1	0	0	0	0	10	0	0	5	2	0	8	0	0	24	2	
他要因	交通事故		2							1		2	3			0	4	4	
	不明・その他															0	0	0	
	小計	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0	0	4	4	
合計	0	8	0	3	1	1	3	13	2	3	11	5	5	9	0	14	42	8	

## 6. 危険物取扱者

### (1) 危険物取扱者試験

危険物取扱者試験は、消防法第13条の3の規定により、危険物の取扱作業の保安に関して必要な知識及び技能について行うもので、平成24年度の実施状況は第12表のとおりである。

また、昭和35年以降における危険物取扱者免状の交付状況は、第13表のとおりである。

### (2) 危険物取扱者保安講習

危険物製造所等において危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者は、消防法第13条の23の規定により、定期的に都道府県知事が行う講習を受けなければならないこととなっているが、平成24年度の実施状況は、第14表のとおりである。

**第12表 危険物取扱者試験の実施状況**

(平成24年度：6月10日、6月17日、6月24日、7月1日、10月20日、10月21日  
10月28日、11月4日、2月9日、2月10日、2月17日 11回実施)

試験区分 受験者数等	合計	甲種	乙種							丙種
			小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
受験申請者数(人)	8,599	604	6,668	437	421	461	4,439	440	470	1,327
受験者数(人)	8,067	532	6,258	426	410	449	4,083	429	461	1,277
合格者数(人)	3,837	161	2,915	297	315	335	1,314	311	343	761
合格率(%)	47.6	30.3	46.6	69.7	76.8	74.6	32.2	72.5	74.4	59.6

**第13表 危険物取扱者免状の交付状況**

区分	合計	甲種	乙種							丙種
			小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	
平成24年度(人)	3,776	158	2,897	295	315	335	1,299	311	342	721
昭和35年度から平成24年度 までの累計(人)	134,540	5,089	92,198	5,905	5,220	5,880	63,195	4,743	7,255	37,253

**第14表 危険物取扱者の保安に関する講習の実施状況**

会場	講習年月日	講習区分ごとの受講者数			
		一般 (その他施設)	給油取扱所	コンビナート	計
富山会場	平成24年7月10日、11日	444	115	—	559
	平成24年7月20日	—	—	82	82
	平成24年11月20日、21日	553	87	—	640
	平成25年2月7日、8日	282	65	—	347
高岡会場	平成24年7月3日、4日	269	63	—	332
	平成24年11月6日、7日	236	59	—	295
	平成25年2月5日、6日	194	62	—	256
射水会場	平成24年7月13日	49	43	—	92
	平成24年7月23日	—	—	41	41
魚津会場	平成24年10月30日、31日	187	47	—	234
黒部会場	平成24年7月18日	173	56	—	229
砺波会場	平成24年11月14日	60	37	—	97
南砺会場	平成24年7月5日	47	38	—	85
計		2,494	672	123	3,289

## 第9章 救急・救助業務

救急業務とは、火災、その他の災害、又は野外、公衆の出入りする場所、若しくは多数の者の出入りする場所において生じた事故、又はこれに準ずる事故その他の事由により緊急に搬送の必要がある傷病者を救急隊によって医療機関、その他の場所へ搬送する業務である。

救助業務とは、広く一般の災害事象により要救護者の生命又は身体に現実の危険が及んでいる事故にあたり、消防機関が要救護者の危険を排除し、安全な場所に救出する業務である。

(なお、この章で示す表は端数処理の関係で構成比等の合計が100.0%にならないものがある。)

### 1. 救急業務実施体制

平成25年4月1日現在における救急業務実施体制は第1表のとおりである。

### 第1表 救急業務実施体制

(平成25年4月1日現在)

区分	救急自動車数 ※1				救急隊数	救急隊員等数					救急救命士有資格者数 ※6															
	計	1年未満	1年以上5年未満	5年以上		高規格救急自動車	計	うち救命士運用	救急隊員計 ※2	専任 ※3	兼任(A) ※4	兼任(B) ※5	計	従事 ※7	救急隊員として 救急隊員と ともに認定	気管挿管・薬剤投与 ともに認定	気管挿管のみ認定	薬剤投与のみ認定	気管挿管・薬剤投与 未認定	救急隊員として 未認定 ※8	気管挿管・薬剤投与 ともに認定	気管挿管のみ認定	薬剤投与のみ認定	未認定	気管挿管・薬剤投与	運用救急救命士 ※9
消防(局)本部名	19 (3)	2	6	11 (3)	19	16	16	215	16	199	3	93	79	32	33	6	8	14	4	6		4	76			
富山市	7 (1)	1	2	4 (1)	7	6	6	48	40	8	35	49	35	14	3	4	14	14	1	7		6	35			
高岡市	3 (1)			3 (1)	3	2	2	32	14	18		15	11	3	3	1	4	4	1	1		2	10			
氷見市	5	1		4	5	5	5	24		24	59	29	22	12	1	4	5	7		4		3	22			
射水市	3		1	2	2	2	2	23		23	6	13	9	6	1		2	4	1	2		1	9			
立山町	12 (1)	1	3	8 (1)	11	9	9	141		141		45	40	5	7	14	14	5				5	40			
砺波地域消防組合	7 (1)		2	5 (1)	7	6	6	83	8	75	9	30	28	21	6	1		2				2	28			
富山県東部消防組合	8 (1)		4	4 (1)	7	7	7	97		97		35	35	23	12								28			
新川地域	合計	64 (8)	5	18	41 (8)	61	53	53	663	78	585	112	309	259	116	66	30	47	50	7	20	0	23	248		

※1 ( )内数値は、非常用救急自動車数

※2 救急自動車に乗車する救急隊員資格者のうち、消防庁の統計に合わせて専任・兼任(A)のみ集計に含めた数値  
(救急自動車に乗車しない救急隊員資格者(例:消防本部総務課勤務)及び兼任(B)は除く)

※3 専任の救急隊員として辞令の交付を受けているもの及び職務命令により専ら救急業務に従事している者

※4 救急隊員としての辞令の交付は受けているが、ポンプ自動車等他の消防用自動車と乗換運用している者(兼任辞令)

※5 専任及び兼任(A)の者が休日等の時、代替として救急業務に従事する者

※6 平成25年4月1日現在で、救急救命士の資格を有する消防職員等をいう

(平成25年3月17日「第36回救急救命士国家試験」【合格発表:平成25年4月8日】に合格した者は含まない)

※7 救急隊員として従事する救急救命士有資格者をいう。(専任、兼任(A)として活動する救急救命士有資格者)

(病院実習の未修了等の理由で救急救命士としてではなく、救急隊員として従事する救急救命士有資格者も含む)

※8 救急隊員として従事しない救急救命士有資格者(兼任(B)等)をいう。(例:消防本部総務課勤務)

※9 救急隊員として従事する救急救命士有資格者のうち、救急救命士として運用している者

(病院実習の未修了等の理由で救急救命士としてではなく、救急隊員資格者として従事する救急救命士有資格者は除く)

## 2. 救急活動状況の概要（平成24年）

### (1) 事故種別救急出場件数

平成24年中の県内における救急出場件数は 37,876件で、前年の 37,453件に比べて423件(1.1%)の増加となった。これは、救急車が1日平均 103.5件、13.9分に1回の割合で出場したことになる。  
(平成23年は1日平均 102.6件、14.0分に1回の割合)

主な事故種別では、交通事故 3,375件(前年比108件減)、一般負傷 5,753件(同35件増)、急病 23,144件(同269件増)等となっている。

第2表 事故種別救急出場件数 (各年1.1～12.31までの期間中 第5表まで同じ)

区分	計	水難	交通事故	運動競技	一般負傷	急病	その他転院	左記以外
24年(A)	37,876	89	3,375	282	5,753	23,144	3,690	1,543
構成比(%)	100.0%	0.2%	8.9%	0.7%	15.2%	61.1%	9.7%	4.1%
23年(B)	37,453	64	3,483	235	5,718	22,875	3,610	1,468
構成比(%)	100.0%	0.2%	9.3%	0.6%	15.3%	61.1%	9.6%	3.9%
(A)-(B)件	423	25	△ 108	47	35	269	80	75
増減率	1.1%	39.1%	-3.1%	20.0%	0.6%	1.2%	2.2%	5.1%

### (2) 事故種別救急搬送人員

救急搬送人員は 35,765人で、前年の 35,544人に比べて221人(0.6%)の増加となった。これは、1年間で県民のおよそ31人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。  
(平成23年はおよそ31人に1人が搬送)

主な事故種別では、交通事故 3,623人(前年比131人減)、一般負傷 5,472人(同10人減)、急病 21,734人(同206人増)等となっている。

第3表 事故種別救急搬送人員

区分	計	水難	交通事故	運動競技	一般負傷	自損行為	急病	左記以外
24年(A)	35,765	46	3,623	288	5,472	298	21,734	4,304
構成比(%)	100.0%	0.1%	10.1%	0.8%	15.3%	0.8%	60.8%	12.0%
23年(B)	35,544	31	3,754	241	5,482	308	21,528	4,200
構成比(%)	100.0%	0.1%	10.6%	0.7%	15.4%	0.9%	60.6%	11.8%
(A)-(B)人	221	15	△ 131	47	△ 10	△ 10	206	104
増減率	0.6%	48.4%	-3.5%	19.5%	-0.2%	-3.2%	1.0%	2.5%

### (3) 年齢区分別救急搬送人員

年齢区分別搬送人員は、新生児93人(前年比6人減)、乳幼児1,288人(同56人減)、少年1,298人(同21人増)、成人 11,574人(同581人減)、高齢者 21,512人(同843人増)となった。

第4表 年齢区分別救急搬送人員

区分	計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
24年(A)	35,765	93	1,288	1,298	11,574	21,512
構成比(%)	100.0%	0.3%	3.6%	3.6%	32.4%	60.1%
23年(B)	35,544	99	1,344	1,277	12,155	20,669
構成比(%)	100.0%	0.3%	3.8%	3.6%	34.2%	58.2%
(A)-(B)人	221	△ 6	△ 56	21	△ 581	843
増減率	0.6%	-6.1%	-4.2%	1.6%	-4.8%	4.1%

### (4) 傷病程度別救急搬送人員

傷病程度別搬送人員は、死亡557人(前年比 32人減)、重症3,206人(同76人減)、中等症14,972人(同521人増)、軽症 17,020人(同186人減)、その他10人(同6人減)となった。

第5表 傷病程度別救急搬送人員

区分	計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
24年(A)	35,765	557	3,206	14,972	17,020	10
構成比(%)	100.0%	1.6%	9.0%	41.9%	47.6%	0.0%
23年(B)	35,544	589	3,282	14,451	17,206	16
構成比(%)	100.0%	1.7%	9.2%	40.7%	48.4%	0.0%
(A)-(B)人	221	△ 32	△ 76	521	△ 186	△ 6
増減率	0.6%	-5.4%	-2.3%	3.6%	-1.1%	-37.5%

## (5) 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員

第6表 事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員

平成24年	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	68	69
	軽症	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	2	0	0	4	87	93
乳幼児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	重症	0	0	1	4	0	6	0	0	7	12	30
	中等症	0	0	0	7	0	38	0	0	261	62	368
	軽症	0	0	1	62	0	230	1	0	584	10	889
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	2	73	0	274	1	0	853	84	1,288
少年	死亡	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	重症	0	0	1	8	0	0	1	2	1	10	24
	中等症	0	0	0	50	0	40	69	4	96	42	302
	軽症	1	1	1	311	0	121	154	3	364	12	971
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	2	369	0	162	224	8	6	461	64
成人	死亡	1	1	3	13	6	3	1	23	47	1	99
	重症	4	3	11	74	40	55	1	39	327	164	721
	中等症	6	4	5	377	160	418	14	80	1,917	808	3,831
	軽症	10	10	3	1,725	145	774	79	88	3,897	117	6,920
	その他	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3
	計	21	18	22	2,190	351	117	1,250	95	230	6,189	1,091
高齢者	死亡	0	0	8	9	1	65	0	18	349	5	455
	重症	4	3	6	84	5	443	0	20	1,384	463	2,412
	中等症	5	7	4	245	21	1,551	6	14	6,792	1,753	10,402
	軽症	4	6	2	652	17	1,662	17	10	5,700	162	8,236
	その他	1	0	0	1	0	1	0	0	2	2	7
	計	14	16	20	991	44	8	3,722	23	62	14,227	2,385
合計	死亡	1	1	11	22	7	69	1	41	398	6	557
	重症	8	6	19	170	45	504	2	61	1,719	668	3,206
	中等症	11	11	9	679	181	86	2,076	24	9,067	2,733	14,972
	軽症	15	17	7	2,750	162	198	2,822	100	10,547	301	17,020
	その他	1	0	0	2	0	1	0	0	3	3	10
	計	36	35	46	3,623	395	288	5,472	127	298	21,734	3,711

## [年齢区分]

新生児 … 生後 28日以内

乳幼児 … 生後 29日以上満 7歳未満

少年 … 満 7歳以上満 18歳未満

成人 … 満 18歳以上満 65歳未満

高齢者 … 満 65歳以上

## [傷病程度区分]

死亡 … 初診時において、死亡が確認されたもの

重症 … 傷病の程度が3週間の入院加療を必要とするもの以上のもの

中等症 … 傷病の程度が入院を要するもので重症に至らないもの

軽症 … 傷病の程度が入院加療を必要としないもの

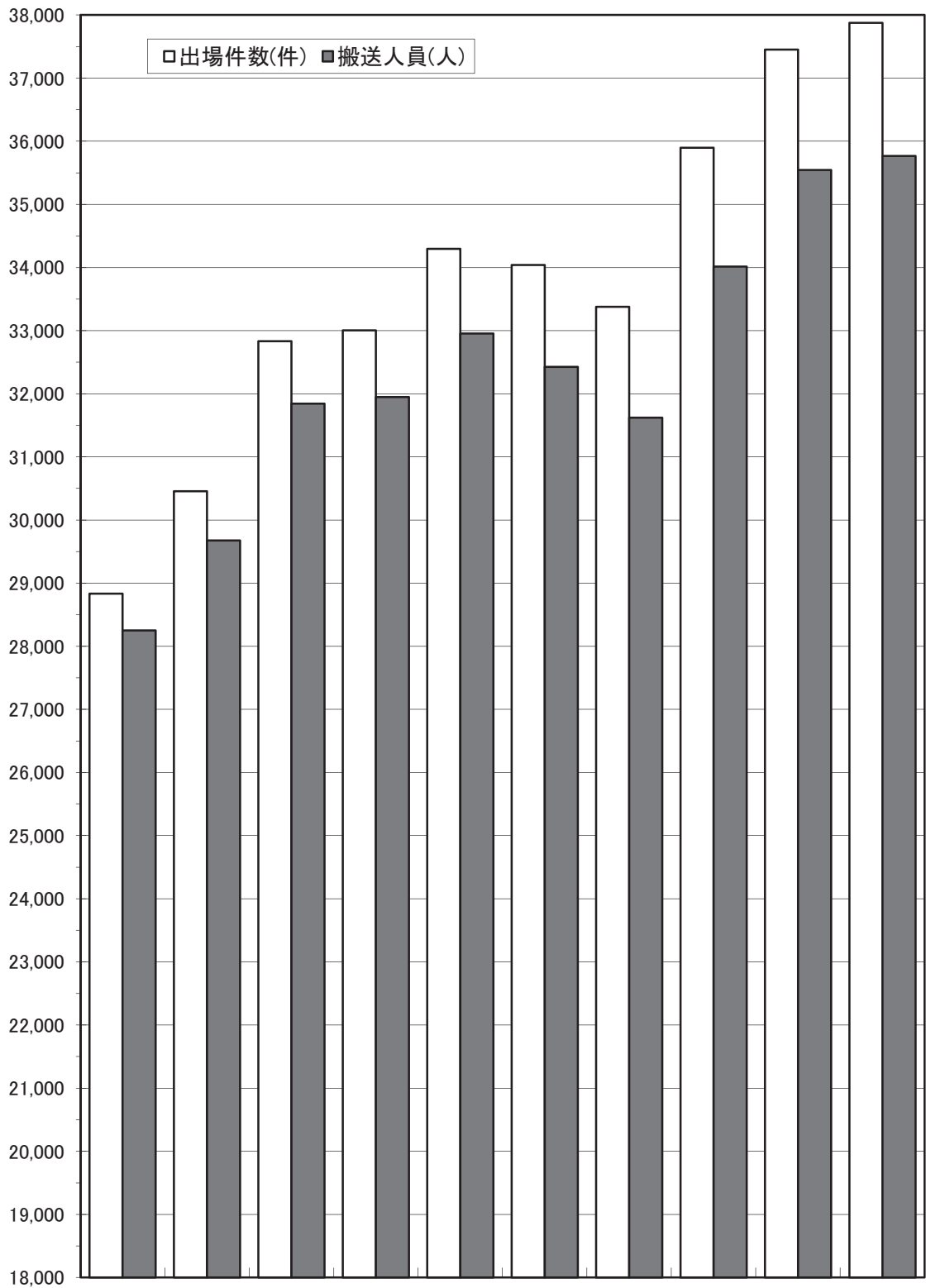
その他 … 医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの



図-1 救急出場件数及び救急搬送人員の推移

(単位: 件、人)

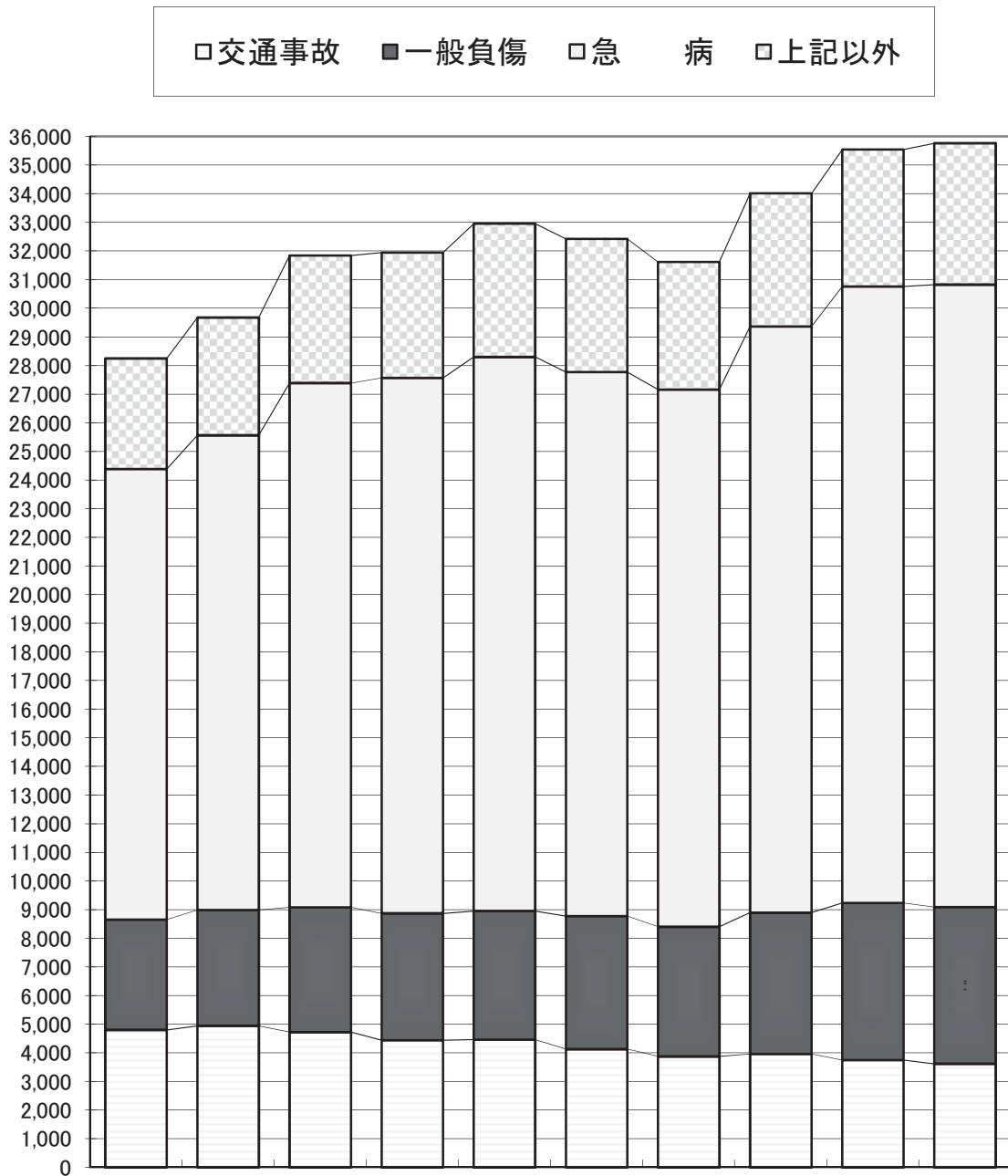
平成15年～平成24年



年(平成)	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
出場件数(件)	28,835	30,456	32,834	33,003	34,294	34,039	33,378	35,899	37,453	37,876
搬送人員(人)	28,249	29,677	31,845	31,949	32,956	32,427	31,620	34,015	35,544	35,765

図-2 事故種別救急搬送人員及び割合の推移  
平成15年～平成24年

(単位:人)



年(平成)	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年
交通事故	4,806	4,949	4,726	4,447	4,468	4,135	3,879	3,968	3,754	3,623
一般負傷	3,848	4,047	4,361	4,428	4,488	4,642	4,528	4,929	5,482	5,472
急病	15,737	16,574	18,306	18,697	19,347	19,002	18,754	20,471	21,528	21,734
上記以外	3,858	4,107	4,452	4,377	4,653	4,648	4,459	4,647	4,780	4,936
合計	28,249	29,677	31,845	31,949	32,956	32,427	31,620	34,015	35,544	35,765

(6) 現場到着所要時間別出場件数及び収容所要時間別搬送人員

現場到着所要時間は、平均して6.8分かかっており、出場件数の85.8%は覚知から10分内に現場に到着している。

収容所要時間は、平均して29.7分かかっており、搬送人員の57.0%は覚知から30分内に医療機関等へ収容している。

第7表 現場到着所要時間別出場件数 (平成24年中)

区 分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平 均 所要時間
急 病	564	3,467	15,899	3,115	99	23,144	6.9
交通 事故	75	499	2,155	604	42	3,375	7.3
一 般 負 傷	158	880	3,843	821	51	5,753	7.0
そ の 他	252	1,587	3,119	593	53	5,604	6.2
合 計	1,049	6,433	25,016	5,133	245	37,876	6.8
構成比(%)	2.8%	17.0%	66.0%	13.6%	0.6%	100.0%	

第8表 収容所要時間別搬送人員 (平成24年中)

区 分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	平 均 所要時間
急 病	13	2,412	9,881	9,180	242	6	21,734	29.6
交通 事故	2	430	1,588	1,539	59	5	3,623	30.2
一 般 負 傷	1	606	2,360	2,360	138	7	5,472	30.9
そ の 他	2	733	2,350	1,741	107	3	4,936	29.0
合 計	18	4,181	16,179	14,820	546	21	35,765	29.7
構成比(%)	0.1%	11.7%	45.2%	41.4%	1.5%	0.1%	100.0%	

※ 現場到着所要時間 … 覚知から現場到着までに要した時間

収 容 所 要 時 間 … 覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間

第9表 曜日別月別搬送人員（平成24年）

		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計(割合)
曜日別	月	2	0	8	562	61	21	823	16	39	3,354	637	5,523 15.4%
	火	2	34	6	525	59	20	709	18	41	2,974	630	5,018 14.0%
	水	11	0	6	566	71	27	689	17	50	2,954	555	4,946 13.8%
	木	4	0	3	536	74	25	777	15	43	3,034	555	5,066 14.2%
	金	9	0	6	463	64	27	751	11	39	3,028	602	5,000 14.0%
	土	5	0	12	517	45	62	800	19	45	3,092	403	5,000 14.0%
	日	3	1	5	454	21	106	923	31	41	3,298	329	5,212 14.6%
計		36	35	46	3,623	395	288	5,472	127	298	21,734	3,711	35,765 100.0%
月別	1月	5	0	6	252	29	7	531	12	31	2,053	345	3,271 9.1%
	2月	2	0	3	216	23	8	549	6	36	1,887	318	3,048 8.5%
	3月	3	0	2	257	27	12	446	10	24	1,767	304	2,852 8.0%
	4月	6	34	5	272	48	16	442	3	21	1,689	293	2,829 7.9%
	5月	4	1	2	261	35	28	419	10	23	1,674	286	2,743 7.7%
	6月	3	0	3	336	24	36	350	14	27	1,474	299	2,566 7.2%
	7月	3	0	3	351	37	48	410	12	18	1,975	342	3,199 8.9%
	8月	1	0	8	370	39	50	464	17	23	2,067	300	3,339 9.3%
	9月	2	0	8	328	29	33	423	13	30	1,645	252	2,763 7.7%
	10月	1	0	1	322	44	27	445	11	27	1,638	295	2,811 7.9%
	11月	2	0	2	306	32	13	477	7	21	1,852	319	3,031 8.5%
	12月	4	0	3	352	28	10	516	12	17	2,013	358	3,313 9.3%

図-3 曜日別搬送人員

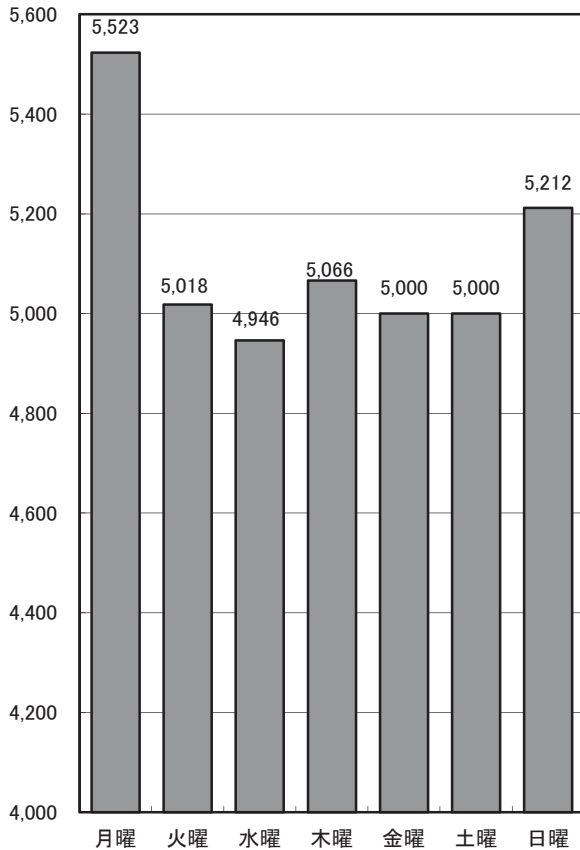


図-4 月別搬送人員

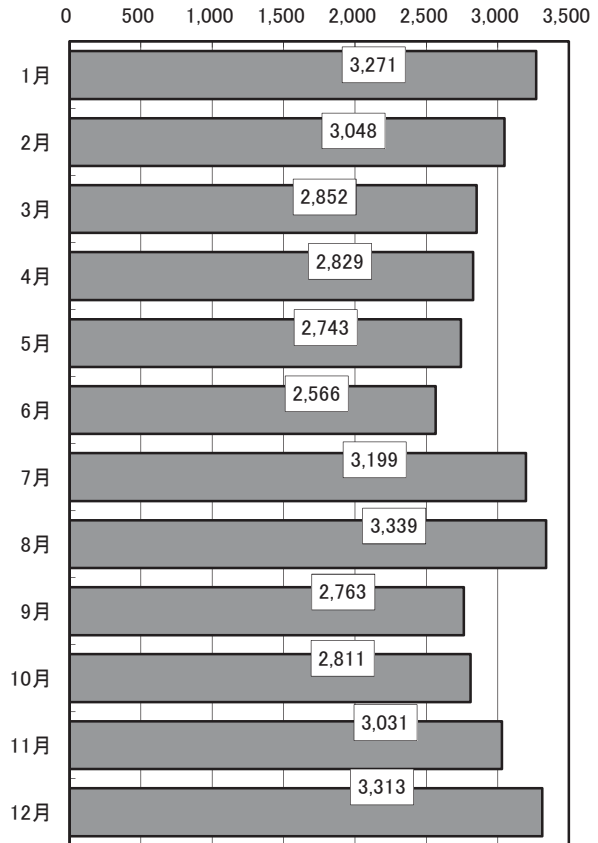
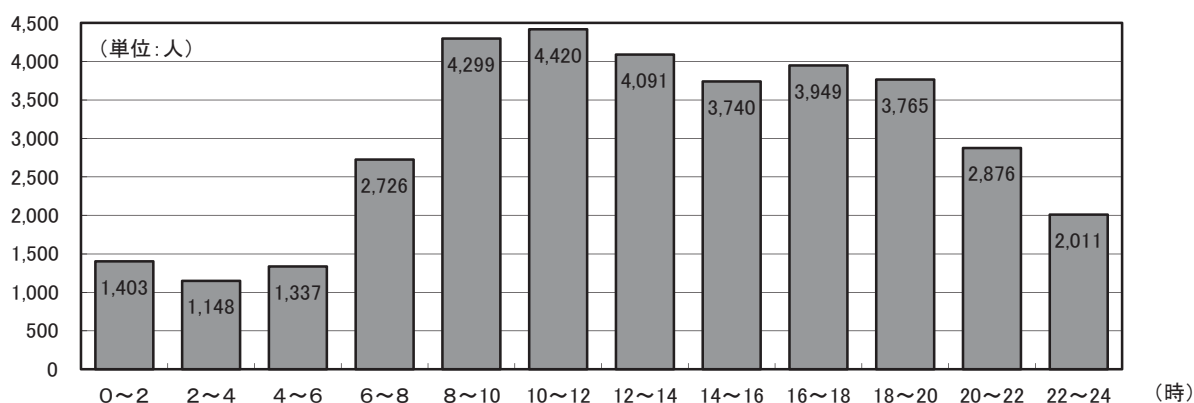


図-5 時間別搬送人員(平成24年)

(単位:人)

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計(割合)	
合計	36	35	46	3,623	395	288	5,472	127	298	21,734	3,711	35,765	100.0%
0～2	2	0	1	107	4	0	173	17	22	1,007	70	1,403	3.9%
2～4	3	0	0	46	5	0	128	11	14	886	55	1,148	3.2%
4～6	2	0	3	68	7	0	189	5	14	999	50	1,337	3.7%
6～8	4	1	4	321	8	2	447	7	21	1,853	58	2,726	7.6%
8～10	5	3	6	458	79	24	745	6	26	2,497	450	4,299	12.0%
10～12	4	6	3	453	100	80	653	12	18	2,318	773	4,420	12.4%
12～14	1	5	10	430	46	54	613	10	38	2,282	602	4,091	11.4%
14～16	5	16	5	398	66	58	643	10	28	1,996	515	3,740	10.5%
16～18	7	3	8	568	52	33	638	7	34	2,098	501	3,949	11.0%
18～20	0	1	3	416	12	24	566	10	35	2,401	297	3,765	10.5%
20～22	2	0	2	205	13	13	420	21	36	1,944	220	2,876	8.0%
22～24	1	0	1	153	3	0	257	11	12	1,453	120	2,011	5.6%



第10表 事故種別転送回数別搬送人員

	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計	
	うち応急処置のみ		うち応急処置のみ		うち応急処置のみ		うち応急処置のみ		うち応急処置のみ	
0回	21,663		3,613		5,455		4,928		35,659	
1回	71	4	10	1	17	2	8	0	106	7
2回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5回以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	21,734	4	3,623	1	5,472	2	4,936	0	35,765	7

第11表 管内管外別搬送人員

	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計(割合)	
管内在住	36	32	29	2,733	239	132	4,977	96	279	20,158	3,120	31,831	89.0%
管外在住	0	3	17	880	154	154	483	30	17	1,546	584	3,868	10.8%
その他	0	0	0	10	2	2	12	1	2	30	7	66	0.2%
合計	36	35	46	3,623	395	288	5,472	127	298	21,734	3,711	35,765	100.0%

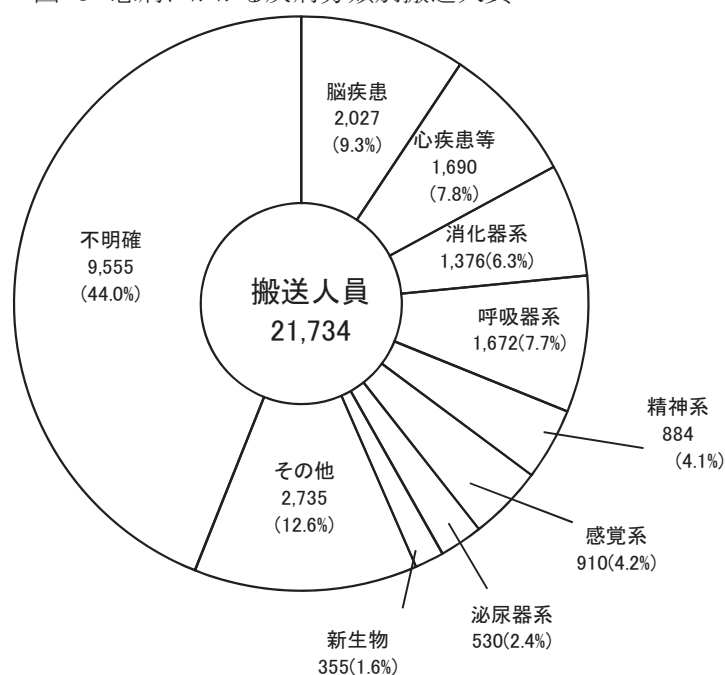
第12表 発生場所別搬送人員

	住宅	公衆出入場所	仕事場	道路	その他	合計
急病	15,733	4,497	650	611	243	21,734
交通事故	43	99	16	3,397	68	3,623
一般負傷	3,237	1,273	90	646	226	5,472
その他	469	3,933	338	76	120	4,936
合計	19,482	9,802	1,094	4,730	657	35,765
構成比(%)	54.5%	27.4%	3.1%	13.2%	1.8%	100.0%

第13表 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員

平成24年	循環器系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	不明確	合計	
	脳疾患	心疾患等										
新生児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	重症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中等症	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	軽症	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4	
乳幼児	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	重症	1	0	0	0	0	0	0	1	5	7	
	中等症	5	0	5	19	2	14	0	20	196	261	
	軽症	3	0	9	27	2	25	0	89	429	584	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	9	0	14	46	4	39	0	0	110	631	853	
少年	死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	重症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	中等症	2	1	9	3	8	16	1	15	41	96	
	軽症	5	2	28	15	45	49	1	55	164	364	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	8	3	37	18	53	65	2	0	70	205	461	
成人	死亡	7	19	1	1	0	1	0	2	16	47	
	重症	118	67	16	12	7	5	2	10	70	327	
	中等症	239	102	229	82	106	91	81	53	232	1,917	
	軽症	67	110	210	123	556	220	134	8	611	3,897	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
計	431	298	456	218	669	317	217	73	863	2,647	6,189	
高齢者	死亡	9	142	5	37	0	0	3	15	22	116	349
	重症	367	269	62	112	0	17	11	57	85	404	1,384
	中等症	963	666	536	983	30	218	176	178	683	2,359	6,792
	軽症	240	312	265	258	128	254	121	32	902	3,188	5,700
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計	1,579	1,389	868	1,390	158	489	311	282	1,692	6,069	14,227	
合計	死亡	16	161	6	38	0	1	3	17	22	134	398
	重症	487	336	78	124	7	22	13	67	106	479	1,719
	中等症	1,209	769	779	1,087	146	339	258	231	950	3,299	9,067
	軽症	315	424	513	423	731	548	256	40	1,657	5,640	10,547
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
計	2,027	1,690	1,376	1,672	884	910	530	355	2,735	9,555	21,734	
構成比	9.3%	7.8%	6.3%	7.7%	4.1%	4.2%	2.4%	1.6%	12.6%	44.0%	100.0%	

図-6 急病にかかる疾病分類別搬送人員



第14表 救急出場件数 (平成24年)

1月1日～12月31日

事故種別 消防本部	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			計	前年計	比較増減		
											計	転院搬送	医師搬送				資機材等輸送	その他
富山市	84	0	34	1,320	125	114	2,374	75	170	9,961	2,020	1,848	10	50	112	16,277	16,129	148
高岡市	36	9	13	571	55	38	857	30	79	3,601	425	374	17	0	34	5,714	5,632	82
水見市	0	0	7	132	17	9	217	4	23	1,056	77	67	0	0	10	1,542	1,496	46
射水市	10	6	9	298	46	29	419	11	47	1,682	315	297	0	0	18	2,872	2,774	98
立山町	0	0	1	84	8	11	179	2	7	671	111	105	0	0	6	1,074	1,110	△ 36
砺波地域 消防組合	33	25	10	495	64	37	688	8	39	2,434	503	465	0	0	38	4,336	4,256	80
富山県東部 消防組合	4	3	3	267	39	27	572	13	42	2,197	299	290	0	0	9	3,466	3,448	18
新川地域	0	0	12	208	44	17	447	3	21	1,542	301	244	1	0	56	2,595	2,608	△ 13
合計	167	43	89	3,375	398	282	5,753	146	428	23,144	4,051	3,690	28	50	283	37,876	37,453	423
構成比 (%)	0.4%	0.1%	0.2%	8.9%	1.1%	0.7%	15.2%	0.4%	1.1%	61.1%	10.7%	9.7%	0.1%	0.1%	0.7%	100.0%		
前年計	151	3	64	3,483	389	235	5,718	161	452	22,875	3,922	3,610	14	47	251	37,453		
比較増減	16	40	25	△ 108	9	47	35	△ 15	△ 24	269	129	80	14	3	32	423		

第15表 現場到着所要時間別出場件数 (平成24年)

1月1日～12月31日

現場到着 所要時間 消防本部名	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	到着 最短 時間	到着 最長 時間	到着 平均 時間	平成 23年 平均 時間	平成 22年 平均 時間
	富山市	367	2,096	11,241	2,517	56	16,277	0	53	7.1	6.9
高岡市	135	1,060	3,968	539	12	5,714	0	26	6.4	6.8	6.6
水見市	2	56	858	579	47	1,542	1	33	9.6	9.6	9.5
射水市	38	499	2,066	261	8	2,872	0	30	6.6	6.7	6.6
立山町	114	330	490	86	54	1,074	1	51	6.7	6.8	6.7
砺波地域 消防組合	42	677	2,939	634	44	4,336	0	51	7.1	6.3	6.2
富山県東部 消防組合	143	940	2,153	219	11	3,466	0	63	5.9	5.1	5.0
新川地域	208	775	1,301	298	13	2,595	0	138	6.0	7.1	6.9
合計	1,049	6,433	25,016	5,133	245	37,876	最短 0	最長 138	6.8	6.8	6.7
構成比(%)	2.8%	17.0%	66.0%	13.6%	0.6%	100.0%					

※時間(単位:分)



第16表 救急搬送人員 (平成24年)

1月1日～12月31日

事故種別 消防本部	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	前年計	比較増減
富山市	14	0	12	1,357	124	117	2,271	65	127	9,320	1,861	15,268	15,290	△ 22
高岡市	11	8	10	659	53	38	817	28	56	3,381	374	5,435	5,381	54
水見市	0	0	6	141	16	9	211	2	12	982	71	1,450	1,427	23
射水市	2	6	3	317	51	29	399	11	31	1,584	300	2,733	2,596	137
立山町	0	0	1	81	8	12	156	2	5	622	98	985	1,035	△ 50
砺波地域 消防組合	7	19	6	540	62	37	651	5	24	2,272	465	4,088	4,038	50
富山県東部 消防組合	2	2	1	298	37	29	541	11	28	2,090	291	3,330	3,283	47
新川地域	0	0	7	230	44	17	426	3	15	1,483	251	2,476	2,494	△ 18
合計	36	35	46	3,623	395	288	5,472	127	298	21,734	3,711	35,765	35,544	221
構成比 (%)	0.1%	0.1%	0.1%	10.1%	1.1%	0.8%	15.3%	0.4%	0.8%	60.8%	10.4%	100.0%		
前年計	41	1	31	3,754	381	241	5,482	149	308	21,528	3,628	35,544		
比較増減	△ 5	34	15	△ 131	14	47	△ 10	△ 22	△ 10	206	83	221		

第17表 年齢区分及び傷病程度別搬送人員(平成24年)

1月1日～12月31日

区分	年齢区分別救急搬送人員						傷病程度別救急搬送人員					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
消防(局)本部												
富山市	62	519	524	5,181	8,982	15,268	44	1,248	6,601	7,375	0	15,268
高岡市	16	221	211	1,833	3,154	5,435	151	434	2,254	2,596	0	5,435
氷見市	1	49	32	376	992	1,450	87	99	616	648	0	1,450
射水市	2	136	130	887	1,578	2,733	66	342	1,095	1,230	0	2,733
立山町	2	33	53	299	598	985	29	46	373	532	5	985
砺波地域 消防組合	0	136	136	1,283	2,533	4,088	85	276	1,435	2,288	4	4,088
富山県東部 消防組合	0	121	139	953	2,117	3,330	65	310	1,595	1,360	0	3,330
新川地域	10	73	73	762	1,558	2,476	30	451	1,003	991	1	2,476
合計	93	1,288	1,298	11,574	21,512	35,765	557	3,206	14,972	17,020	10	35,765
構成比(%)	0.3%	3.6%	3.6%	32.4%	60.1%	100.0%	1.6%	9.0%	41.9%	47.6%	0.0%	100.0%
前年計	99	1,344	1,277	12,155	20,669	35,544	589	3,282	14,451	17,206	16	35,544
比較増減	△6	△56	21	△581	843	221	△32	△76	521	△186	△6	221

# 第18表 収容所要時間別搬送人員(平成24年)

1月1日～12月31日

時間 消防本部	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計	収容 最短 時間	収容 最長 時間	収容 平均 所要 時間	平成 23年 平均 時間	平成 22年 平均 時間
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外								
富山市	2	0	823	3	6,351	43	7,831	95	250	16	11	1	15,268	158	210	31.9	30.6	29.9
高岡市	3	0	1,217	30	3,117	108	1,071	104	25	9	2	1	5,435	252	138	24.8	25.8	24.8
水見市	0	0	163	0	651	4	603	137	33	21	0	0	1,450	162	113	30.5	30.3	29.8
射水市	2	0	199	8	1,367	396	1,153	738	10	8	2	1	2,733	1,151	296	29.4	28.6	28.4
立山町	0	0	34	15	330	291	553	531	65	61	3	3	985	901	175	36.2	36.1	35.6
砺波地域 消防組合	1	0	476	0	1,927	5	1,608	182	73	8	3	1	4,088	196	319	29.7	32.3	31.9
富山県東部 消防組合	7	0	776	23	1,500	272	1,013	794	34	31	0	0	3,330	1,120	114	26.8	25.7	25.1
新川地域	3	0	493	16	936	292	988	609	56	50	0	0	2,476	967	98	28.6	29.8	29.3
合計	18	0	4,181	95	16,179	1,411	14,820	3,190	546	204	21	7	35,765	4,907	最長319	29.7	29.3	28.7
構成比(%)	0.1%	0.0%	11.7%	0.3%	45.2%	3.9%	41.4%	8.9%	1.5%	0.6%	0.1%	0.0%	100.0%	13.7%	※時間(単位:分)			

第19表 救急医療体制（医療機関数）

[平成25年4月1日現在]

医療機関	救急医療機関					その他の医療機関					合計							
	国立	公立	公的	私的		国立	公立	公的	私的		国立	公立	公的	私的				
				病院	診療所				病院	診療所				病院	診療所			
消防本部																		
富山市	1	2	2	6	3	14	1	2	0	37	336	376	2	4	2	43	339	390
高岡市	0	1	3	4	1	9	0	0	0	9	135	144	0	1	3	13	136	153
水見市	0	1	0	1	1	3	0	0	0	2	23	25	0	1	0	3	24	28
射水市	0	1	0	1	0	2	0	0	0	4	54	58	0	1	0	5	54	60
立山町	0	0	0	1	0	1	0	3	0	0	11	14	0	3	0	1	11	15
砺波地域 消防組合	0	3	1	0	1	5	1	6	1	13	64	85	1	9	2	13	65	90
富山県東部 消防組合	1	1	1	0	0	3	0	0	0	6	60	66	1	1	1	6	60	69
新川地域	0	2	0	1	0	3	0	2	0	4	43	49	0	4	0	5	43	52
合計	2	11	7	14	6	40	2	13	1	75	726	817	4	24	8	89	732	857

第20表 医療機関別搬送人員(平成24年)

1月1日～12月31日

医療機関	救急医療機関						その他の医療機関															
	国立		公立		公的		私的		計		国立		公立		公的		私的		計			
	うち 管外		うち 管外		うち 管外		病院 うち 管外	診療所 うち 管外			うち 管外		うち 管外		うち 管外		病院 うち 管外	診療所 うち 管外				
消防本部																						
富山市	896	1	7,178	35	5,012	76	1,188	34	37	0	14,311	146	29	0	489	0	152	6	284	4	954	10
高岡市	44	44	2,051	164	3,283	16	32	19	1	0	5,411	243	1	6	0	0	8	6	9	2	24	9
水見市	7	7	1,318	50	97	97	24	6	0	0	1,446	160	1	0	0	0	1	1	2	0	4	2
射水市	118	117	1,595	419	590	590	407	14	0	0	2,710	1,140	1	1	1	0	7	5	14	4	23	11
立山町	18	18	588	581	283	279	78	9	0	0	967	887	0	0	0	10	0	0	5	3	15	13
砺波地域 消防組合	77	77	3,412	29	548	69	23	12	0	0	4,060	187	2	1	1	0	8	2	8	0	20	3
富山県東部 消防組合	1,260	101	1,012	601	1,035	410	7	6	0	0	3,314	1,118	0	0	0	0	5	2	11	0	16	2
新川地域	78	78	2,267	848	7	7	86	23	0	0	2,438	956	0	0	0	0	38	11	0	0	38	11
合計	2,498	443	19,421	2,727	10,855	1,544	1,845	123	38	0	34,657	4,837	34	4	497	1	219	33	333	13	1,094	61

1月1日～12月31日

医療機関	計										その他の場所			合計			
	国立	公立		公的		私的		計		接骨院等	その他		計	うち 管外	合計		
		うち 管外	うち 管外	うち 管外	うち 管外	病院	診療所	うち 管外	うち 管外		うち 管外	うち 管外					
消防本部	925	1	7,667	35	5,012	76	1,340	40	321	4	15,265	156	0	3	2	15,268	158
富山市	45	45	2,057	164	3,283	16	40	25	10	2	5,435	252	0	0	0	5,435	252
高岡市	8	8	1,318	50	97	97	25	7	2	0	1,450	162	0	0	0	1,450	162
水見市	119	118	1,596	420	590	590	414	19	14	4	2,733	1,151	0	0	0	2,733	1,151
射水市	18	18	588	581	293	289	78	9	5	3	982	900	0	3	1	985	901
立山町	79	78	3,413	29	549	69	31	14	8	0	4,080	190	0	8	6	4,088	196
砺波地域 消防組合	1,260	101	1,012	601	1,035	410	12	8	11	0	3,330	1,120	0	0	0	3,330	1,120
富山県東部 消防組合	78	78	2,267	848	7	7	124	34	0	0	2,476	967	0	0	0	2,476	967
新川地域	2,532	447	19,918	2,728	10,866	1,554	2,064	156	371	13	35,751	4,898	0	14	9	35,765	4,907
合計																	

第21表 救急隊員の行った応急処置件数(平成24年)

1月1日～12月31日

応急処置 消防本部	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆	
					うち 自動	うち 自動	うち 自動	うち 自動		(*1)	(*2)	(*3)	(*4)			
富山市	15,192	371	1,048	114	82	0	397	12	3,067	657	62	32	182	41	6,661	1,008
高岡市	5,390	201	1,200	43	1	0	175	2	1,844	289	17	39	4	2	941	426
水見市	1,448	45	198	7	0	0	91	0	399	108	5	7	0	0	60	85
射水市	2,705	93	226	22	0	0	101	0	829	243	15	8	4	1	946	182
立山町	969	13	77	18	1	0	37	0	224	53	5	2	13	12	12	52
砺波地域 消防組合	4,088	202	433	16	0	0	143	2	1,159	208	3	9	4	2	1,974	262
富山県東部 消防組合	3,203	109	427	34	1	0	128	0	897	202	14	10	17	23	449	202
新川地域	2,455	52	190	34	0	0	95	0	563	127	4	7	1	10	956	118
合計	35,450	1,086	3,799	288	85	0	1,167	16	8,982	1,887	125	114	225	91	11,999	2,335

気道確保欄の(\*1)は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数で内数。  
 (\*2)は、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数で内数。  
 (\*3)は、救急救命士がラリゲンゲアマスク等を使用して気道確保を行った件数で内数。  
 (\*4)は、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数で内数。

応急処置 消防本部	在宅療法継続			シヨック パントツによる 血圧の保持	除細動	静脈路確保 (輸液)	薬剤投与	その他の 応急処置	血圧測定	聴診器による 心音・呼吸音 の聴取	血中酸素 飽和度の測定	心電図	計
	(*A)	(*B)	(*C)										
富山市	19	1	17	0	45	124	50	139	14,346	2,910	14,696	4,347	50,081
高岡市	18	0	18	0	16	8	7	10	4,950	529	5,198	2,458	18,314
氷見市	16	0	16	0	1	1	0	677	1,331	167	1,357	491	5,034
射水市	32	0	27	0	11	4	3	1,632	2,509	339	2,577	983	10,732
立山町	5	0	5	2	8	9	7	21	910	109	917	223	2,698
砺波地域 消防組合	22	4	17	0	23	5	0	406	3,874	931	3,939	2,931	16,528
富山県東部 消防組合	25	9	9	0	7	6	4	1,534	2,979	368	3,025	968	11,365
新川地域	16	8	7	0	12	0	0	268	2,294	267	2,330	657	7,979
合計	153	22	116	2	123	157	71	4,687	33,193	5,620	34,039	13,058	122,731

在宅療法継続欄の(\*A)は、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置を行った件数で内数。  
(\*B)は、気管切開孔又は気管ろう・人工肛門等の外ろうが施されている傷病者に対して応急処置を行った件数で内数。  
(\*C)は、(\*A)(\*B)以外の在宅療法継続中の傷病者に対して応急処置を行った件数で内数。



### 3. 高速自動車国道救急実施状況

高速道路救急業務に関する答申に基づき、高速道路における救急業務を中日本高速道路株式会社とインター所在市町村が相協力して実施している。  
高速自動車国道における救急業務の実施体制は第22表、救急出場件数及び搬送人員は第23表のとおりである。

道路名	北陸自動車道		S 63. 7. 20		S 58. 12. 13		S 55. 12. 19		H 15. 3. 29		S 48. 10. 16		S 49. 10. 29		(車線数線2)			
都道府県名	新潟県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	富山県	石川県		
関係(通過)市町村名 (人口)	糸魚川市 (13,651)	朝日町 (27,182)	入善町 (27,182)	黒部市 (41,852)	魚津市 (44,959)	滑川市 (33,676)	上市町 (21,965)	立山町 (27,466)	富山市 (421,935)	富山市 (421,935)	富山市 (93,588)	射水市 (93,588)	高岡市 (176,061)	砺波市 (49,410)	小矢部市 (32,067)	南砺市 (54,724)	金沢市	
インターチェンジ名 (I・C)	親不知	朝日		黒部	魚津	滑川		立山	富山	富山西	小杉			砺波	小矢部		金沢森本	
救急病院数	1	1	1	1	1	1	1	1	8	2	1			3	1			
I・C区間距離	17.3 km	8.7 km	8.7 km	9.6 km	9.3 km	9.3 km	8.1 km	12.3 km	7.5 km	5.1 km	14.3 km	9.4 km	9.4 km	17.6 km				
救急業務 実施市町村名	糸魚川市	新川地域消防組合		富山県東部消防組合			立山町	立山町	富山市	富山市	射水市	射水市		砺波地域消防組合				
及び 実施区間	新川地域消防組合		富山県東部消防組合			立山町	立山町	富山市	富山市	射水市	砺波地域消防組合		砺波地域消防組合		金沢市			
全線距離	101.9 km																	

### 道路名 東海北陸自動車道

使用開始時期	H 4. 3. 28	H 12. 9. 30	H14.11.16	
都道府県名	富山県	富山県	富山県	岐阜県
関係(通過)市町村名 (人口)	砺波市 (49,410)	南砺市 (54,724)	南砺市 (54,724)	白川村
インターチェンジ名 (I・C)	砺波・小矢部 JCT	福光	五箇山	白川郷
救急病院数	0	2		
I・C区間距離	11.1 km	16.3 km	15.2 km	
救急業務 実施市町村名	砺波地域消防組合			
及び 実施区間	砺波地域消防組合			
全線距離	42.6 km			

### 第23表 北陸及び東海北陸自動車道 I・C別救急出場件数及び搬送人員 (平成24年)

高速道路(車線名)	担当消防本部名	I・C名	出場件数	搬送人員
北陸自動車道	新川地域消防本部	朝日	9	9
"	"	黒部	0	0
"	富山県東部消防組合消防本部	魚津	12	13
"	"	滑川	7	6
"	立山町消防本部	立山	3	3
"	富山市消防局	富山	7	7
"	"	富山西	13	13
"	射水市消防本部	小杉	8	9
"	砺波地域消防組合消防本部	砺波	5	4
"	"	小矢部	25	27
小計			89	91
東海北陸自動車道	砺波地域消防組合消防本部	砺波	-	-
"	"	福光	14	11
"	"	五箇山	10	7
小計			24	18
合計			113	109

#### 4. 救助業務実施体制及び活動状況

##### (1) 救助業務実施体制

平成25年4月1日現在、8消防（局）本部に 16隊の救助隊が設置されている。

救助隊員数は239人で、その内訳は専任36人、兼任203人となっている。

また、救助工作車は、8消防（局）本部に15台装備されている。

### 第24表 救助業務実施体制

(平成25年4月1日現在)

消防(局) 本部名	救助隊数(隊)			救助隊員数(人)			救助工作車数(台)
	計	専任	兼任	計	専任	兼任	
富山市	3	1	2	27	14	13	3
高岡市	1	1	0	15	10	5	1
氷見市	1	0	1	20	0	20	1
射水市	2	0	2	27	0	27	2
立山町	1	0	1	23	0	23	1
砺波地域 消防組合	2	0	2	45	0	45	2
富山県東部 消防組合	3	1	2	50	12	38	2
新川地域	3	0	3	32	0	32	3
合計	16	3	13	239	36	203	15

(注)「専任隊」とは、災害時において専ら救助工作車で出動し、救助活動を行う隊をいう。

「兼任隊」とは、災害の態様により、救助活動のほか消火活動等を兼ねる隊をいう。

「専任隊員」とは、専任隊の隊員のうち辞令又は職務命令により、専ら救助活動を行う者をいう。

「兼任隊員」とは、専任隊の専任隊員以外の者をいう。

## 救助活動状況の概要（平成24年）

### ア 救助出動件数

救助出動件数は487件で前年の522件に比べ35件の減少となった。

主な事故種別では、火災14件（前年比1件減）、交通事故252件（同40件減）、水難事故76件（同25件増）等となっている。

**第25表 事故種別救助出動件数**

（各年1.1～12.31までの期間中）

区 分	計	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事 故	左記以外
24年(A)	487	14	252	76	4	15	126
23年(B)	522	15	292	51	5	18	141
(A)-(B)件	△ 35	△ 1	△ 40	25	△ 1	△ 3	△ 15

### イ 救助活動件数

救助活動件数は252件で前年の260件に比べ8件の減少となった。

主な事故種別では、火災14件（前年比1件減）、交通事故129件（同3件増）、水難事故43件（同8件増）等となっている。

**第26表 事故種別救助活動件数**

（各年1.1～12.31までの期間中）

区 分	計	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事 故	左記以外
24年(A)	252	14	129	43	2	8	56
23年(B)	260	15	126	35	2	7	75
(A)-(B)件	△ 8	△ 1	3	8	0	1	△ 19

### ウ 救助人員

救助人員は286人で前年の284人に比べ2人増加した。

主な事故種別では、火災12人（前年比1人増）、交通事故166人（同13人増）、水難事故44人（同10人増）等となっている。

**第27表 事故種別救助人員**

（各年1.1～12.31までの期間中）

区 分	計	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事 故	左記以外
24年(A)	286	12	166	44	3	7	54
23年(B)	284	11	153	34	1	6	79
(A)-(B)人	2	1	13	10	2	1	△ 25

### エ 活動人員

救助活動に従事した者の人数は、2,408人で前年の2,283人に比べ125人増加した。

主な事故種別では、火災202人（前年比87人増）、交通事故973人（同49人減）、水難事故667人（同206人増）等となっている。

**第28表 事故種別活動人員**

（各年1.1～12.31までの期間中）

区 分	計	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事 故	左記以外
24年(A)	2,408	202	973	667	10	82	474
23年(B)	2,283	115	1,022	461	13	59	613
(A)-(B)人	125	87	△ 49	206	△ 3	23	△ 139

第29表 事故種別救助出動件数 (平成24年)

市町村名	事故種別	計	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故
			建物	建物以外								
富山市		166	3	0	69	34	0	6	29	0	0	25
高岡市		85	10	0	34	8	3	3	9	2	0	16
氷見市		23	0	0	15	5	0	2	0	1	0	0
射水市		35	1	0	19	9	0	0	0	1	0	5
立山町		15	0	0	12	1	0	0	0	0	0	2
砺波地域消防組合		84	0	0	58	6	1	2	0	1	0	16
富山県東部消防組合		39	0	0	22	6	0	1	0	0	0	10
新川地域		40	0	0	23	7	0	1	1	0	0	8
合計		487	14	0	252	76	4	15	39	5	0	82
前年		522	15	0	292	51	5	18	47	5	0	89
比較	増減	△ 35	△ 1	0	△ 40	25	△ 1	△ 3	△ 8	0	0	△ 7

第30表 事故種別救助活動件数（平成24年）

市町村名	事故種別	計		火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故
		建物	建物以外	建物	建物以外								
富山 市		79	0	3	0	29	19	0	3	13	0	0	12
高岡 市		56	0	10	0	24	5	1	2	3	2	0	9
水見 市		10	0	0	0	5	2	0	2	0	1	0	0
射水 市		12	0	1	0	5	6	0	0	0	0	0	0
立山 町		10	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	2
砺波地域消防組合		46	0	0	0	35	3	1	0	0	0	0	7
富山県東部消防組合		19	0	0	0	11	3	0	0	0	0	0	5
新川 地域		20	0	0	0	13	4	0	1	1	0	0	1
合 計		252	0	14	0	129	43	2	8	17	3	0	36
前 年 計		260	0	15	0	126	35	2	7	22	3	0	50
比 較 増 減		△ 8	0	△ 1	0	3	8	0	1	△ 5	0	0	△ 14

第31表 事故種別救助人員 (平成24年)

市町村名	事故種別	計		火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故
		建 物	建 物 以 外	建 物	建 物 以 外								
富 山 市		89	6	0	38	17	0	3	13	0	0	0	12
高 岡 市		56	5	0	30	5	2	1	2	2	0	0	9
氷 見 市		10	0	0	5	2	0	2	0	0	1	0	0
射 水 市		14	1	0	5	8	0	0	0	0	0	0	0
立 山 町		11	0	0	8	1	0	0	0	0	0	0	2
砺波地域消防組合		58	0	0	47	3	1	0	0	0	0	0	7
富山県東部消防組合		22	0	0	16	2	0	0	0	0	0	0	4
新 川 地 域		26	0	0	17	6	0	1	1	0	0	0	1
合 計		286	12	0	166	44	3	7	16	3	0	0	35
前 年 計		284	11	0	153	34	1	6	21	2	0	0	56
比 較 増 減		2	1	0	13	10	2	1	△ 5	1	0	0	△ 21

第32表 事故種別救助活動人員 (平成24年)

市町村名	事故種別	計		火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故
		建物	建物以外	建物	建物以外								
富山 市		960	0	50	0	219	455	0	25	85	0	0	126
高岡 市		575	0	128	0	222	54	5	27	33	17	0	89
氷見 市		80	0	0	0	39	15	0	17	0	9	0	0
射水 市		133	0	24	0	44	65	0	0	0	0	0	0
立山 町		49	0	0	0	40	5	0	0	0	0	0	4
砺波地域消防組合		306	0	0	0	235	22	5	0	0	0	0	44
富山県東部消防組合		161	0	0	0	80	30	0	0	0	0	0	51
新川 地域		144	0	0	0	94	21	0	13	8	0	0	8
合 計		2,408	0	202	0	973	667	10	82	126	26	0	322
前 年 計		2,283	0	115	0	1,022	461	13	59	188	36	0	389
比 較 増 減		125	0	87	0	△ 49	206	△ 3	23	△ 62	△ 10	0	△ 67

## 第10章 航空消防防災活動の概要

### 1. 消防防災ヘリコプター運航の目的

県民の暮らしと安全を守るため、平成8年4月から消防防災ヘリコプター「とやま」を運航し、救急・救助活動はもとより、災害状況の早期把握など市町村や消防機関等と連携して、広範囲に渡る活動を広域的かつ機動的に展開している。

また、各種防災訓練への参加や一般行政利用などの有効活用にも努めている。

### 2. 運航体制

- (1) 運航基地 富山県防災航空センター（富山空港内）[富山県消防課分室]  
 (2) 運航組織 総括管理者—運航管理責任者—運航管理者—所長代理—  
 （県知事政策局長）（県消防課長）（防災航空センター所長）

消防防災航空隊  
 運航委託会社

所 長	所長代理 (事務)	消防防災航空隊（派遣）			運航委託会社（東邦航空㈱）		
		隊長	副隊長	隊員	操縦士	整備士	運航担当
(1名)	1名	1名	2名	5名	1名	2名	1名

※所長は、県消防課長が事務取扱。また、所長代理以外の職員は、指定日勤務。

- (3) 運航日時 毎日（365日）[職員の通常の勤務時間は 8:30～17:15 交替制]  
 緊急運航は、日の出から日の入りまで  
 （ただし、大規模災害時又は林野火災時は夜間運航あり）

### 3. 活動範囲

活 動 区 分	主 な 活 動 内 容
①救 急 活 動	患者・医師の搬送、医療機材の輸送、高度医療機関への転院搬送
②救 助 活 動	水難、火災、山岳遭難等における捜索、救助・孤立者の救出
③災 害 応 急 活 動	災害等の状況把握・監視、住民への避難誘導及び警報の伝達
④火 災 防 御 活 動	林野火災等の空中消火、消火資機材及び要員の輸送、情報の収集、伝達
⑤広域災害応援活動	広域航空消防応援実施要綱や災害時相互応援等の協定に基づく出動
⑥災 害 予 防 活 動	災害危険箇所の調査、各種防災訓練等への参加、災害予防の広報
⑦自 隊 訓 練 活 動	消防防災航空隊員の各種活動技術の習得のための訓練
⑧一 般 行 政 活 動	県及び市町村行政における利用
⑨その他必要な活動	総括管理者が必要と認める活動

### 4. ヘリコプターの機種及び装備

- (1) 機種（形式） ベル式 412EP 型（ベル・ヘリコプター・テキストロン社製）  
 (2) 製造年月日 1995年2月17日（製造番号 第36107号）  
 (3) 国籍登録記号 JA6768  
 (4) 主な装備品

飛 行 用	① 機内式燃料増槽タンク ② フライトディレクター（オートパイロット装置） ③ 気象用レーダー ④ 電波高度計 ⑤ GPS マップ装置 ⑥ スノースキー
消防防災用	① 投光装置（ナイトサン）②カーゴフック ③ 機外拡声装置 ④リペリング装置 ⑤ ホイスト装置 ⑥担架装置 ⑦ EMS 医療用ベッド ⑧ 消火バケツ（1000L） ⑨ ウォータードロップタンク（1363L）⑩ サファイアカメラ ⑪ テレビ映像電送装置



## 5. 緊急運航

- (1) 要請機関 原則として、市町村（防災業務）消防本部（消防業務）
- (2) 出動要件……救急、救助、災害応急、火災防御、広域災害応援活動のうち、次に掲げる要件を満たす場合
  - ①公共性……地域並びに地域住民の生命、身体、財産を災害から保護すること。
  - ②緊急性……さし迫った必要性があること。
  - ③非代替性…ヘリコプター以外に適切な手段がないこと。
- (3) 要請方法……電話又はファックス（共に 24 時間受付）

## 6. ヘリコプターの活用状況(平成24年実績)

区 分		運航件数	運航時間	出動人員	救急搬送人員
緊急運航	救 急 活 動	40 件	21 時間 02 分	200 人	41 人
	救 助 活 動	39 件	41 時間 25 分	249 人	27 人
	災 害 応 急 活 動	1 件	0 時間 36 分	4 人	—
	火 災 防 御 活 動	2 件	0 時間 48 分	11 人	—
	広域災害応援活動	2 件	7 時間 58 分	30 人	—
	小 計	84 件	71 時間 49 分	494 人	68 人
災害予防	防 災 訓 練 参 加	37 件	34 時間 10 分	—	—
	災 害 予 防 広 報	8 件	3 時間 27 分	—	—
	小 計	45 件	37 時間 37 分	—	—
自 隊 訓 練 活 動		100 件	119 時間 52 分	—	—
一 般 行 政 活 動		27 件	22 時間 39 分	—	—
その他必要な活動		21 件	26 時間 14 分	—	—
合 計		277 件	278 時間 11 分	—	—

## 7. 飛行場外離着陸場(ヘリポート)

富山空港以外に、ヘリコプターの離着陸場として、河川敷広場、運動場、緑地公園、学校等県内 69 か所を常時確保している。(平成 25 年 4 月 1 日現在)

なお、救急患者の搬送等として、県立中央病院、高岡市民病院、市立砺波総合病院及び黒部市民病院屋上ヘリポート（非公共用）も利用可能である。

# 第11章 消 防 表 彰

地域社会に起こる種々の災害から住民の生命と財産を保護し、これら災害を防除し、また災害による被害を軽減するという消防の任務は著しく困難で危険性が高く、その功労に報いるため消防職団員、消防機関並びに消防に協力した個人及び団体を対象に種々の表彰が行われている。

## 1. 国の表彰

国が行っている表彰の富山県消防関係者の受賞実績は第1表のとおりである。  
なお、栄典制度の改革により、平成15年秋の叙勲から勲等の改正があった。

第1表 国が行う各種表彰の受賞状況

種 類		年 度						
		19	20	21	22	23	24	
叙 勲	瑞宝小綬章	生存者		1			1	
		危険業務						
		死亡						
	瑞宝双光章	生存者	1	3	4	3	4	3
		危険業務	4	7	13	12	7	12
		死亡	2	2		1	1	1
	瑞宝単光章	生存者	15	14	16	21	21	19
		危険業務	12	6	1	2	6	
		死亡	1	4	2	5	3	3
	計		35	37	36	44	43	38
叙 位		3	5	4	6	4	6	
褒 章	藍 綬	1	2	2	3	3	2	
	紺 綬							
内閣総理大臣表彰		2						
総務(自治)大臣表彰		1						
消 防 庁 長 官 表 彰	功 勞 章	3	3	1	1	1	3	
	永年勤続功労章	32	33	32	37	37	37	
	表 彰 旗							
	竿 頭 綬							
	安 全 功 労 者							
	退職消防団員報償	288	230	351	337	304	248	
全国少年消防クラブ 運営指導協議会 会長表彰 (消防庁長官表彰)	表 彰 旗	1	1		1	1	2	
	楯	1	2	2	1	2	1	
	指 導 者							

## 2. 県の表彰

### (1) 富山県消防表彰規則に基づく表彰

富山県知事の行う表彰は、昭和27年から実施しているが、当時は内規により暫定的に行われていたもので、今日からみると表彰の種類も少なく、わずかに表彰綬及び無火災表彰綬が授与されていたにすぎない。

昭和31年に「富山県消防表彰規則」が制定され、前記のほか新たに消防吏員及び消防団員に対しては、顕功章、精勤章及び表彰状を、消防機関に対しては、まといをそれぞれ授与することとした。

さらに、表彰制度を広く充実したものにすため、昭和38年5月11日付富山県規則第30号で規則の全部を改正し、新たに消防吏員及び消防団員に対する功績章ならびに消防に協力した部外の個人及び団体に対する表彰を加え、さらには消防吏員及び消防団員に対する賞じゅつ金制度を折り込むなど、表彰制度の整備拡充を図った。

### (2) 富山県退職消防団員報償規定に基づく報償

消防団員の勤務の特殊性にかんがみ、団員として多年勤務して退職した者に対して、その在職中における功労に報いるとともに、現職の消防団員の志気の高揚を目的として、昭和46年12月「富山県退職消防団員報償規定」を制定し、この規定に基づき、消防団員として10年以上15年未満勤続し退職した者に対し、賞状と記念品(銀杯)を授与している。

### (3) 少年消防クラブ及び指導者に対する表彰

活動が優良な少年消防クラブ及び指導者に対し、全国少年消防クラブ運営指導協議会富山県支部長(富山県知事政策局長)表彰を行っている。

第2表 県が行う各種表彰の受賞状況

種 類		年 度						
		19	20	21	22	23	24	
富山県知事表彰	顕 功 章	7	7	11	8	7	9	
	功 績 章	33	32	33	34	37	36	
	精 勤 章	58	63	70	72	74	79	
	ま と い	1	1	1	1	1	1	
	表 彰 綬	2	3	2	2	2	2	
	無 火 災 表 彰 綬	74	55	66	59	68	88	
	表 彰 状	1	1	2	1	1	1	
	現 場 表 彰	314	318	313	317	310	312	
	退 職 報 償	73	61	67	70	64	69	
全国少年消防クラブ 運営指導協議会	表彰旗	1	1	1	1	1	1	
	楯	4	5	6	6	8	7	
富山県支部長表彰	指導者							

## 第12章 消防教育訓練

### 1. 消防学校の沿革

- 昭和 28 年 4 月 1 日 富山市湊入船町 35 番地に富山県消防訓練所設置  
昭和 34 年 10 月 1 日 富山県消防学校と改称  
昭和 45 年 10 月 1 日 富山市友杉 1614 番地に移転。本館、屋内訓練場、グラウンド等設置  
昭和 57 年 7 月 31 日 救助訓練塔(A塔、B塔、C塔、D塔)完成  
昭和 62 年 3 月 31 日 グラウンド整備工事施工  
昭和 62 年 8 月 21 日 校舎内に冷房設備工事施工  
平成 2 年 12 月 7 日 化学実験教室を普通教室兼用に改修  
平成 4 年 6 月 22 日 放水訓練施設を設置  
平成 11 年 12 月 6 日 修養室を救急実習室に改修  
平成 19 年 3 月 30 日 教材室 2 部屋を宿泊室に改修  
平成 20 年 3 月 26 日 教材室を女子休憩室に改修  
平成 24 年 4 月 1 日 消防学校と防災拠点施設を一体的に整備した  
「富山県広域消防防災センター」(富山市惣在寺 1090-1)に移転

### 2. 学校施設の概要

敷地面積		42,095 m <sup>2</sup>
施設面積(延床面積)		
・四季防災館	鉄骨・鉄筋コンクリート造/体験型学習施設	1,000 m <sup>2</sup>
・管理棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造/2 階建	2,330 m <sup>2</sup>
・宿泊棟	鉄筋コンクリート造/3 階建/定員 60 名	1,635 m <sup>2</sup>
・屋内訓練棟	鉄骨造/備蓄倉庫併設	3,059 m <sup>2</sup>
・主訓練塔	鉄骨・鉄筋コンクリート造/H=45m	1,430 m <sup>2</sup>
・実火災訓練棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造	940 m <sup>2</sup>
・水難救助訓練施設	潜水プール設置(深さ 10m)	455 m <sup>2</sup>
・補助訓練棟	鉄骨造/H=32m	1,065 m <sup>2</sup>
・屋外訓練場	一部透水性舗装	10,000 m <sup>2</sup>
・その他	街区訓練施設、座屈・倒壊家屋救助訓練施設、転落救助訓練施設等	

### 3. 学校教育の内容

#### (1) 目的

社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応するために、住民から期待される水準を充たす消防に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な修得を図り、もって適切公正、安全かつ能率的に業務を遂行できるよう、消防職員及び消防団員の資質を高めることを目的とする。

## (2) 種 別

消防職員の教育訓練は、初任教育、専科教育(警防科、特殊災害科、予防査察科、危険物科、火災調査科、救急科及び救助科)、幹部教育(初級幹部科、中級幹部科及び上級幹部科)及び特別教育、消防団員の教育訓練は、基礎教育、幹部教育及び特別教育に大別される。

- ・ 初任教育

初任教育は、新たに採用した消防職員のすべてに対して行う基礎的教育訓練であり、この教育として初任科を実施した。

- ・ 専科教育

専科教育は、現任の消防職員に対して行う特定の分野に関する専門的教育訓練である。

この教育として、警防科、特殊災害科、予防査察科、救急科及び救助科を実施した。

- ・ 幹部教育

幹部教育は、幹部及び幹部昇進予定者に対して行う消防幹部として一般的に必要な教育訓練である。この教育として、初級幹部科、上級幹部科を実施した。

- ・ 特別教育

特別の目的のために行う教育訓練として、無線通信講習、水難救助講習、機関員養成講習を実施した。

- ・ 消防団員教育

特別教育として、基礎教育、幹部教育(初級幹部科)、指導員研修を実施した。

#### 4. 教育訓練の実施状況

平成24年度における教育の実施状況は下記のとおりであり、同期中における教育者数は消防職員737名、消防団員2,317名、その他115名となっている。

### 平成24年度教育訓練実施状況

区分	科別		24年4月												修了者数		
	月別	任 科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	25年1月	2	3		日数・回数	
消防職員	初任科	無線通信講習	4					27								122日 1回	40名
	特別教育	警 防 科				9 10										2日 1回	40名
		特殊災害科										30 7				10日 1回	16名
	専科教育	予 防 査 察 科										10 24				7日 1回	13名
		救 急 科								1	21					10日 1回	20名
		救 助 科								1	29					36日 1回	37名
		初級幹部科												18 1		20日 1回	14名
	幹部教育	上級幹部科		8 10												10日 1回	29名
		水難救助講習								9 17						3日 1回	15名
	特別教育	機関員養成講習														7日 1回	10名
	消防技術研修														随 時	12名	
	小 計 (A)														随 時	491名	
消防団員	基礎教育														227日 10回	737名	
	幹部教育	初級幹部科						29				3			1日 4回	335名	
	特別教育	指導員研修								10 11					2日 1回	46名	
	操 法 指 導				14 15	10 18				23					1日 1回	36名	
	小 計 (B)														8日 1回	1,900名	
その他	自衛・婦人消防隊等														12日 7回	2,317名	
	小 計 (C)									25 6	30				1日 3回	115名	
	合計 (A) + (B) + (C)														240日 20回	3,169名	

第1表 消防職員の教育訓練実施状況

(平成25年3月31日現在)

消防 局・ 本部 名	初任科		専科教育											幹部教育					特別教育																																									
	課程		警防科		予防査察科		危険物科		火災調査科		救急科		救助科		特殊災害科		初級幹部科		中級幹部科		上級幹部科		水難救助講習		気管挿管講習		機関員養成講習		新任消防長講習																															
	年度	2021	2022	23	24	2021	2022	23	24	2021	2022	23	24	2021	2022	23	24	2021	2022	23	24	2021	2022	23	24	2021	2022	23	24	2021	2022	23	24																											
富山市	30	26	20	15	11	30	26	20	15	11	4	7	5	8	7	6	7	5	5	5	5	18	18	16	16	2	2	4	4	3	15	15	14	15																										
高岡市	14	13	16	10	11	14	13	16	10	11	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	4	4	1	2	2	1	2	4	2	2	2																										
射水市	6	6	2	6	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	1	1	1	1	1	4	3	2	2																										
魚津市	2	3	2	3	3	2	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																									
米見市	2	2	1	2	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																								
滑川市	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																								
黒部市	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	2	1	1	2	2	1	2	3	4	1	2	2	2																								
砺波地域	6	7	8	4	6	8	8	4	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6	6	8	4	3	3	2	2	3	3	8	6	4	3	2	3																							
上市町	1	2	3	1	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																							
立山町	3	2	3	1	3	2	3	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3	1	1	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1																							
入善町	5	1	2	5	1	2	5	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	2	5	1	2	5	1	2	5	1	2	5	1	2	5	1																							
朝日町	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																						
その他																																																												
合計	69	66	60	48	40	69	67	60	48	40	-	-	-	16	18	-	18	-	20	-	20	-	20	-	22	-	20	17	16	14	-	13	-	13	32	31	38	-	29	-	22	-	20	-	14	-	12	-	15	-	-	9	14	15	15	12	1	2	-	-

注)市町村合併等以前の旧消防本部については、合併後の消防局・本部を含む。

(1) 消防団員の教育訓練

年 度	17	18	19	20	21	22	23	24
団 員 研 修	254 名	399 名	340 名	341 名	358 名	417 名	599 名	335 名
幹 部 研 修	-	-	-	-	-	-	-	46 名
指 導 員 研 修	42 名	42 名	41 名	40 名	39 名	34 名	41 名	36 名

(2) その他の教育訓練

民間の特設消防隊員の幹部に対し、年1回1日実施している。

年 度	17	18	19	20	21	22	23	24
幹 部 研 修	43 名	36 名	38 名	37 名	39 名	35 名	47 名	44 名
そ の 他 の 研 修	54 名	65 名	71 名	66 名	76 名	64 名	56 名	81 名

## 5. 消防学校以外の教育訓練

(1) 消防大学校への派遣

ア 県 消防学校から上級幹部科、警防科、予防科、火災調査科に各1名、新任教官科に2名派遣した。

イ その他 自治体消防職員の資質向上のため、第3表のとおり消防大学校へ派遣した。

(2) 消防職・団員の消防操法訓練

県下、消防職・団員の機動的かつ実践的行動の練成に主題をおき、消防用機械器具の取扱いに習熟させるとともに、火災防御上の諸般の要求に適応させることを目的として消防操法訓練を行い、毎年定例的に県下の消防操法大会を署・団それぞれに実施している。



第2表 平成24年度消防学校教育訓練実施表

教 育 種 別		実 施 月 日	期 間	延 時 間	学 生 数	備 考	
消 防 職 員	初 任 科	24年 4月 4日 ~ 9月 27日	122 日	849 時間	40 名	全 寮	
	特別教育	無線通信講習	24年 7月 9日 ~ 7月 10日	2	14	40(40)	初任科併合
	専 科 教 育	警 防 科	25年 3月 6日 ~ 3月 19日	10	70	16	全 寮
		特 殊 災 害 科	25年 1月 30日 ~ 2月 7日	7	49	13	〃
		予 防 査 察 科	25年 1月 10日 ~ 1月 24日	10	70	20	〃
		救 急 科	24年 11月 1日 ~ 12月 21日	36	260	37	寮・通学
		救 助 科	24年 10月 1日 ~ 10月 29日	20	140	14	全 寮
		幹 部 教 育	初 級 幹 部 科	25年 2月 18日 ~ 3月 1日	10	70	29
	上 級 幹 部 科		24年 5月 8日 ~ 5月 10日	3	49	15	通 学
	特 別 教 育		水難救助講習	24年 10月 9日 ~ 10月 17日	7	49	10
		機関員養成講習	24年 6月 ~ 12月	随時	21	12	( 委 託 )
		消防技術研修	24年 4月 ~ 25年 3月	随時	56	491	通 学
	小 計			227 日	1,697 時間	737(40) 名	
	消 防 団 員	基 礎 教 育	24年 9月 29日	1	6	84	通 学
			24年 10月 28日	1	6	51	〃
25年 2月 3日			1	6	60	〃	
25年 3月 2日			1	6	140	〃	
幹 部 教 育		24年 11月 10日 ~ 11月 11日	2	12	46	〃	
指 導 員 研 修 ( 日 消 )		24年 11月 23日	1	7	36	〃	
操 法 指 導		24年 6月 14日 ~ 7月 18日	8	29	1,900	〃	
小 計			15 日	72 時間	2,317 名		
そ の 他	自 衛 消 防 隊	24年 10月 25日	1	7	47	通 学	
		24年 11月 30日	1	6	44	〃	
	婦 人 防 火 ク ラ ブ	24年 11月 6日	1	6	34	〃	
小 計			3 日	19 時間	115 名		
合 計			245 日	1,788 時間	3,169 名		

(注) ( )は初任科生徒数で無線通信講習を受講したもので、その内数である。

第3表 消防大学校へ派遣した職員数

年度別 課程 所属名	20					21					22				23					24													
	幹部科	警防科	予防科	火災調査科	新任教官科	幹部科	警防科	救助科	予防科	危険物科	火災調査科	新任教官科	幹部科	上級防部科	警防科	予防科	火災調査科	幹部科	上級防部科	警防科	予防科	危険物科	火災調査科	新任教官科	幹部科	上級防部科	新任校長科	警防科	救助科	予防科	火災調査科	新任教官科	
富山市	1	1	1		1	2				1			1		1											1							
高岡市	1					1					1	1						1								1							
射水市			1																												1		
魚津市							1											1					1			1							
氷見市												1																					
滑川市																																	
黒部市											1								1														
砺波地域				1				1	1							1	1							1		1	1						
上市町																																	
立山町																																	
入善町																																	
朝日町																																	
消防学校	1			1					1	1					1	1								1	2		1		1		1	1	2
計	3	1	2	2	1	3	1	1	2	1	1	3	1	1	2	2	2	1	2	1	1	2	2	4	1	1	1	1	1	1	2	2	2
	9					10					9				11					14													

## 第13章 防災の概況

### 防災対策の推進

#### 1. 災害対策

(1) 総合防災訓練の実施

※ 概要は124頁参照

(2) 防災パトロールの実施

災害多発期である梅雨を迎えるにあたり、県内1市町村を選定し、自衛隊等防災関係機関の参加を得て、災害延焼危険区域の点検及び避難場所等防災上必要な施設の確認を行った。

・実施市町村及び期日 富山市 平成24年6月5日

(3) 気象情報等の収集・伝達

富山地方気象台発表の注警報、気象情報（大雨に関する情報、台風に関する情報等）のほか、長期予報、隣接県の注警報、台風、地震に関する情報を、県総合防災情報システム等を通じて、市町村、消防機関及び県関係機関に伝達し、防災体制に万全を期した。

(4) 総合防災情報システムの運用

平成17年9月1日から総合防災情報システムの運用を開始し、市町村・消防本部等に対し、防災情報等の伝達をするとともに、災害情報の収集を行った。

(5) 市町村防災主管課長会議

市町村との情報の共有、連携の強化を図るため防災主管課長会議を開催した。

・期日及び場所等 平成24年 4月26日 県民会館  
平成24年 8月 9日 県民会館  
平成24年11月 5日 県民会館  
平成24年12月25日 県民会館  
平成25年 2月20日 県民会館

#### 2. 石油コンビナート災害対策

石油コンビナート等災害防止法により指定された特別防災区域の災害防止について、あらかじめ定めた事項により、総合的な防災対策の整備強化を図った。

・特別防災区域への泡消火薬剤の配備

#### 3. 震災対策

(1) 平成24年度防災気象講演会

県民及び防災関係機関の担当者等を対象に、次のとおり開催した。

ア 日時 平成25年1月15日 13時00分～

イ 場所 ボルファートとやま 多目的ホール

ウ 講師及び講演内容

「東日本大震災と富山の地震」

講 師 富山地方気象台 台長 藤井 幹雄 氏

「地域で取り組む防災とは」

講 師 山口大学大学院理工学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏

エ 参加者 327名

(2) 自主防災組織及び災害救援ボランティアの育成

地域防災力の要となる「自主防災組織」の結成促進・育成強化及び災害時に救援活動を行うボランティアの普及啓発を図るため、各種研修会を実施した。

① 地域の自主防災組織リーダー研修会

ア 日時・場所・参加者数

新川地区	黒部市民会館	平成24年10月13日	64名
富山地区	富山県総合情報センター	平成24年10月14日	167名
高岡地区	高岡商工ビル	平成24年12月8日	75名
砺波地区	富山県西部体育センター	平成24年12月9日	50名

イ 対象者

地域の自主防災組織リーダー 等

② 自主防災組織組織化研修会

ア 日時・場所・参加者数

高岡地区（第1回）	高岡商工ビル	平成24年9月8日	9名
高岡地区（第2回）	高岡地域地場産業センター	平成24年11月10日	35名

イ 対象者

自主防災組織未結成地区の自治会長・町内会長 等

(3) 地域防災力向上支援事業

災害による被害を最小限に抑えるために必要な地域防災力の向上に向け、自主防災組織の結成促進・活動の活性化や災害時に孤立が予想される集落における通信機器や防災資機材を緊急に整備することを目的として、補助金を交付した。

ア 自主防災組織資機材整備事業

自主防災組織の防災資機材等の整備を行うために市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1/2（1自主防災組織あたり150千円を限度に補助）

富山市ほか7市町114組織

イ 孤立集落資機材緊急整備事業

孤立する可能性のある集落における通信機器や防災資機材の整備に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単 1 / 2 (1 集落あたり 1 0 0 千円を限度に補助)

富山市ほか 3 市町 7 集落

ウ 津波対策資機材整備事業

富山湾沿岸地域の自主防災組織における津波対策に使用するライフジャケット、ゴムボート、通信機器などの資機材の整備に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単 1 / 2 (1 自主防災組織あたり 1 0 0 千円を限度に補助)

高岡市ほか 4 市町 2 5 組織

エ 地域防災コミュニティ連携支援事業

自主防災組織が地域の消防団、学校、福祉団体などその他の団体等と連携して実施する他の自主防災組織のモデルとなる取組みに対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単 1 / 2 (1 自主防災組織あたり 1 0 0 千円を限度に補助)

上市町、入善町 3 組織

オ 地震・津波避難訓練モデル事業

自主防災組織が主体となって実施する、災害時要援護者も含めた実践的な地震・津波災害対応訓練に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単 1 / 2 (1 自主防災組織あたり 2 5 千円を限度に補助)

氷見市ほか 4 市町 2 5 組織

カ 緊急浸水対策事業

自主防災組織における集中豪雨等による住宅等の浸水対策のための、土のう等の資機材の整備に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単 1 / 2 (1 自主防災組織あたり 1 0 0 千円を限度に補助)

高岡市ほか 4 市町 1 2 3 組織

## 4. 雪 害 対 策

### (1) 降積雪情報の収集・提供

1 2 月 2 0 日から翌年 3 月 1 0 日までの間、県内 4 4 地点の降積雪等気象観測、1 5 地点の降積雪実況及び降雪・凍結予測情報の収集等を行い、防災関係機関や報道機関等へ情報を提供したほか、平成 2 4 年度冬期の降積雪・気温観測の結果分析・資料整備を行った。

### (2) 雪害対策連絡会議の開催

降積雪期を前に、関係機関の出席を得て、交通の確保、生活関連施設における対策等について情報の共有を図った。

・ 期日及び場所等 平成 2 4 年 1 1 月 1 5 日 県民会館

## 5. 原子力災害対策

### (1) 地域防災計画の修正

平成19年10月から、富山県防災会議で専門部会を設け、審議し、国との最終協議を終え、平成21年1月に策定した。

平成23年3月の東京電力福島第一原発事故を踏まえ、同年6月より県防災会議及び原子力災害対策部会を開催し、原子力災害対策に関する地域防災計画の改定に向け、議論を重ね、平成25年2月に改定案をとりまとめた。

#### 【富山県防災会議】

- ・第1回 平成24年5月29日 ANAクラウンプラザホテル
- ・第2回 平成25年2月27日 名鉄トヤマホテル

#### 【富山県防災会議原子力災害対策部会】

平成24年11月20日 県民会館

## 平成24年度富山県総合防災訓練の実施

この総合防災訓練は、災害対策基本法第48条に基づき、県及び富山市が、自衛隊等国の機関を始め、防災関係機関、関係市町村、自治会・自主防災組織、民間企業、ボランティア団体、地域住民等とも密接に連携をとりながら、大規模地震災害等の各種災害を想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の防災訓練を実施し、防災計画等の円滑な運用に資するとともに、防災思想の普及啓発を図ることを目的とする。

### 1 実施期日

平成24年9月30日（日）

### 2 災害想定

#### ①地震、津波

呉羽山断層帯を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生し、富山市で震度7を観測した。

このため、建物の倒壊、同時多発火災、ライフライン施設の被害、集落の孤立化、常願寺川上流域で河道閉塞等が発生した。

この災害で多数の負傷者も発生し、道路も寸断し、混雑している。

また、地震発生後、富山湾沿岸に大津波警報が発令され、富山市沿岸部へ津波の到達が予測される。

#### ②風水害

県東部で局地的な集中豪雨が発生し、神通川及び常願寺川流域で増水、山間部では土砂災害、市街地では内水氾濫のおそれがある。

### 3 初期活動及び災害対策本部の設置・運営会場

富山県庁、富山市役所

### 4 主な現地訓練会場

惣在寺会場（第1会場 富山県広域消防防災センター）

草島会場（第2会場 草島小学校周辺）

花崎会場（第3会場 大山社会体育館周辺）

## 5 訓練項目

### ※ 主な特色

#### (1) 県広域消防防災センターの防災拠点機能を活用した訓練

- ・ 災害対策本部員会議の開催、災害対策本部室の設置
- ・ 衛星通信車・ヘリコプターからの被災地映像の受信・集約
- ・ S C U (広域搬送拠点臨時医療施設)の設置
- ・ 訓練施設を活用した高層建物火災救出、倒壊建物人命救助
- ・ 岐阜県からの連絡員の派遣、及び連絡員による他県への救援物資搬送の要請
- ・ 福井県からのヘリコプターによる救援物資の受入れ
- ・ 広域消防防災センターから県内避難所への救援物資の供給・搬送

#### (2) 住民参加による実践的な訓練

- ・ 富山県の津波の特徴を踏まえた、住民の迅速な避難活動
- ・ 避難場所において、住民に対する津波浸水想定区域の周知、住民による図上訓練
- ・ J M A T (日本医師会災害医療チーム)による医療救護活動
- ・ 緊急速報メールによる情報伝達
- ・ ケーブルテレビによる災害放送
- ・ F M放送における緊急割り込み放送実施
- ・ 外国人に対する災害語学ボランティアによる情報提供

#### (3) 豪雨災害の対応訓練

- ・ 県警ヘリによる市街地における内水氾濫などの被災地映像の送信
- ・ 常願寺川上流での河道閉塞対応のための国、県、市町村の連携
- ・ 市街地における内水氾濫対応のための土のう積み訓練
- ・ 土砂災害による倒壊建物からの救出

#### (4) 甚大な被害を受けたライフライン等の迅速な復旧と確保のための訓練

- ・ 移動無線基地局の設置による携帯電話の通信の確保
- ・ 銀行によるバス型移動相談車の展示
- ・ 避難所への発電機車等による応急電源供給
- ・ 都市ガスの復旧、L P ガスの供給

#### (1) 情報伝達訓練等

- ①地震・津波、大雨・洪水情報等の伝達
- ②Jアラートによる緊急地震速報の伝達
- ③緊急速報メールによる情報伝達
- ④搜索機による被害状況調査・情報伝達
- ⑤県警ヘリによる被害状況調査・映像伝達
- ⑥緊急交通路のパトロール



- ⑦非常災害通信
- ⑧被災状況把握のための空中写真撮影
- ⑨富山県災害救援ボランティア本部の設置

## (2) 現地訓練

### ア 惣在寺会場（第1会場 富山県広域消防防災センター）

- ①災害対策本部員会議の実施
- ②災害対策本部代替機能の設置
- ③現地災害本部の設置
- ④災害ボランティアセンターの設置
- ⑤無線通信
- ⑥ケーブルテレビによる災害放送
- ⑦緊急割り込み放送実施
- ⑧外国人に対する情報提供
- ⑨災害警備通信
- ⑩緊急消防援助隊富山県隊集結・解隊
- ⑪高層建物火災救出
- ⑫倒壊建物の人命救助
- ⑬SCU設置による大規模救急医療
- ⑭自衛隊、消防、富山県DMAT等による災害医療活動
- ⑮応急救護
- ⑯建物火災(高層)消火訓練
- ⑰初期消火活動
- ⑱火災防御線の設定
- ⑲避難活動・避難所の開設
- ⑳非常持出品の点検・検討
- ㉑防疫活動
- ㉒救援物資の搬送・供給及び緊急輸送路の確保
- ㉓災害時応援協定に基づく救援物資の搬送・供給
- ㉔応急給水活動
- ㉕上水道施設復旧
- ㉖通信の確保
- ㉗都市ガス防御及び復旧

- ⑳避難所資機材の活用体験
- ㉑はしご車体験
- ㉒自走架柱橋の架設
- ㉓レスキュー体験
- ㉔四季防災館防災体験

イ 草島会場（第2会場 草島小学校周辺）

- ①無線通信
- ②JMATによる医療救護活動
- ③応急救護
- ④避難広報・避難所開設
- ⑤非常持出品の点検・検討
- ⑥避難所の安全確認
- ⑦避難所資機材の設置
- ⑧災害時要援護者に対する支援
- ⑨津波浸水区域の周知及び避難住民による図上訓練
- ⑩バスからの避難
- ⑪バイオトイレカーによる仮設トイレの設置
- ⑫救援物資の搬送・供給及び緊急輸送路の確保
- ⑬炊き出し
- ⑭応急給水活動
- ⑮緊急用医薬品等の搬送
- ⑯通信の確保
- ⑰LPガス応急供給
- ⑱避難所への電力の供給
- ㉑煙中体験
- ㉒ちびっこ放水体験
- ㉓消火器体験
- ㉔はしご車体験
- ㉕防災パネル展示
- ㉖住宅耐震化相談
- ㉗救援物資等の展示

ウ 花崎会場（第3会場 大山社会体育館周辺）

- ①無線通信
- ②被災現場中継
- ③衛星携帯電話による情報伝達
- ④土砂災害情報伝達・河道閉塞対応
- ⑤土砂災害による倒壊建物からの救出
- ⑥事故車両からの救出
- ⑦応急救護
- ⑧浸水対応
- ⑨自衛隊、消防、富山県DMA T等による災害医療活動
- ⑩血液救急搬送
- ⑪孤立集落からの負傷者搬送
- ⑫ヘリコプター空中消火
- ⑬避難広報・住民避難及び避難所開設
- ⑭非常持出品の点検・検討
- ⑮避難所資機材の設置
- ⑯救援物資の搬送・供給及び緊急輸送路の確保
- ⑰炊き出し
- ⑱応急給水活動
- ⑲LPガス応急供給
- ⑳電力供給
- ㉑防災普及展示
- ㉒土石流体験
- ㉓電気安全対策
- ㉔ちびっこ放水体験
- ㉕はしご車体験
- ㉖パネル等の展示および実地体験
- ㉗防災知識の普及啓発
- ㉘バス型「移動相談車」の展示

6 訓練参加機関及び人員・車両等 (順不同)

機 関 名	人 員	車 両 等	機 関 名	人 員	車 両 等	機 関 名	人 員	車 両 等	機 関 名	人 員	車 両 等
富山県	130	<1>6	(社)富山県薬剤師会	5		北陸地方非常通信協議会	10				
富山市	181	8	県立中央病院	5		(社)日本アマチュア無線連盟富山県支部					
中部管区警察局富山県情報通信部	8	2	国立大学法人富山大学附属病院	5		富山市役所ハムクラブ	15				3
富山県警察広域緊急援助隊	36	17	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院	7		富山アマチュア無線クラブ					
石川県警察広域緊急援助隊	7	<1>	黒部市民病院	5		神通アマチュア無線クラブ					
富山県警察航空隊	3	2	富山市民病院	5		富山県アマチュア無線赤十字奉仕団	2				
富山北警察署	4	2	高岡市民病院	5		(福)富山県社会福祉協議会	5				
富山南警察署	2	2	富山県赤十字血液センター	1		富山県民ボランティア総合支援センター	5				
緊急消防援助隊富山県隊	35	13	市立砺波総合病院	5		富山県ボランティアネットワーク会議	50				
富山消防局	100	30	中日本高速道路(株)金沢支社	6		災害ボランティアコーディネーター					
富山市消防団	70	12	北陸電力(株)富山支社	4		富山障害フォーラム	30				
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所	9	<1>2	一般財団法人北陸電気保安協会	4		富山県ケーブテレビ協議会	4				
国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所	4		(社)北陸電気管理技術者協会	8		ケーブテレビ富山	4				
富山地方気象台	4	4	富山市管工事協同組合	7		富山シティエフエム株式会社	6				
陸上自衛隊第14普通科連隊	10	2	西日本電信電話(株)富山支店	8		富山市民国際交流協会	50				
陸上自衛隊第10飛行隊	3	<1>	(株)エヌ・ティ・ティ・コム北陸支社	6		北陸銀行株式会社	2				1
陸上自衛隊第382施設中隊	10	4	KDDI株式会社	6		富山県防災士会	15				
航空自衛隊第6航空団	7	1	郵便局(株)北陸支社	1		自主防災組織	30				
航空自衛隊小松救難隊	11	<2>	郵便事業(株)北陸支社	1		自治会住民	1,300				
航空自衛隊小松氣象隊	2		(社)富山県トラック協会	7		富山県自主防災アドバイザー	20				
海上自衛隊舞鶴地方総監部・第23航空隊	4	<1>	日本通運(株)富山支店			富山大学(学生ボランティア)	10				
自衛隊富山地方協力本部	3	1	(株)日本海ガス	7		富山県立総合衛生学院	42				
国土交通省国土地理院北陸地方測量部	2		富山県LPガス協会富山中央支部	6		富山県立総合衛生学院	6				2
日本赤十字社富山県支部	10	2	富山県LPガス協会富山南支部	6		富山県レッカー事業協同組合	4				
富山赤十字病院	18		特定非営利活動法人全国災害救助犬協会	3		富山県立大学	4				
富山市四方赤十字奉仕団	10		(社)富山県構造物解体協会	10		石川県	6				<1>
富山県医師会	2		(社)富山自動車連盟中部本部富山支部	2		福井県	5				<1>
富山市医師会	6		(社)富山県警備業協会	6		岐阜県	2				
射水市医師会	5		富山地方鉄道(株)	3							
公益社団法人富山県看護協会	4		特定非営利活動法人コムリ災害対策センター	12							
			富山市建設業協会			合 計	2,470				128
											<9>

# 平成24年（2012年）の気象概況

## 1) 北陸地方（新潟県・富山県・石川県・福井県）の季節ごとの天候経過

### ◆ 冬（2011年12月～2012年2月）－低温・多雨・かなり寡照・多雪－

西高東低の冬型の気圧配置がたびたび現れました。特に、2月は、強い寒気の影響により山沿いに加えて平地でも大雪となりました。冬を通しては低温・多雨・かなり寡照・多雪でした。

### ◆ 春（3～5月）－気温の変動大・寡照－

春の前半は3月上旬に南から暖かい空気が入って気温が平年を上回る日もありましたが、中旬以降は、寒気の影響を受けて気温が平年を下回る日が多く、気温の変動が大きくなりました。春の後半は、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や上空の寒気の影響で雲が広がりやすく、春を通しては寡照でした。

### ◆ 夏（6～8月）－高温・少雨・かなり多照－

6月は、北に偏った高気圧に覆われることが多くなりました。7月は、月の前半は気圧の谷や梅雨前線の影響を受ける日が多くなりましたが、月の中頃には太平洋高気圧が本州付近で次第に強まりました。8月は、上旬の前半及び中旬の後半以降は、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなりましたが、上旬の後半と中旬の前半及び下旬の終りは、上空の寒気や気圧の谷の影響を受け、曇りや雨の日がありました。夏を通しては、高温・少雨・かなり多照でした。

### ◆ 秋（9～11月）－高温・多雨・かなり多照－

9月は、上・中旬に日本の東海上で太平洋高気圧の勢力が非常に強まり、晴れて暑い日が多くなりました。また、下旬は、天気は数日の周期で変わりました。10月は、天気はおおむね数日の周期で変わりました。11月は、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や低気圧通過後に冬型の気圧配置となった影響で曇りや雨の日が多くなりました。また、中旬の中頃や、下旬の中頃から終わりは、山沿いを中心に雪の降った所がありました。秋を通しては、高温・多雨・かなり多照でした。

### ◆ 北陸平均の年平均気温の平年差は0.0℃で平年並でした。

### ◆ 台風の発生数は25個（平年の年間発生数25.6個）で平年並でした。

上陸数は2個（平年の上陸数は2.7個）でした。

## 2) 富山県の月別概況

### 【1月】

上旬：冬型の気圧配置や低気圧の影響で、雪や雨の日が多くなりました。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や低気圧の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

下旬：冬型の気圧配置が続き、雪の日が多くなりました。

月平均気温は、平年に比べ低くなりました。

月降水量は、県東部では平年並か平年に比べ多く、県西部では平年に比べ少なくなりました。

月間日照時間は、平年に比べ少なくなりました。

### 【2月】

上旬：冬型の気圧配置と低気圧や前線の影響で雪や雨の日が多くなりました。

中旬：冬型の気圧配置と低気圧や前線の影響で雪や雨の日が多くなりました。

下旬：22日と28日は高気圧に覆われ晴れましたが、そのほかの日は本州の南を進んだ低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪となりました。

月平均気温は、平年に比べ低いか、かなり低くなりました。

月降水量は、魚津で平年に比べかなり多くなったほかは、多いか平年並となりました。

月間日照時間は、伏木、氷見で平年並となったほかは、平年に比べ少なくなりました。

### 【3月】

上旬：天気は周期的に変わりました。

中旬：天気は短い周期で変わり、気圧の谷や寒気の影響で雨または雪の降る日が多くなりました。期間の中頃は高気圧に覆われて晴れの日がありました。

下旬：天気は周期的に変わり、27日と29日は高気圧に覆われ晴れましたが、そのほかの日は、日本海や本州の南を進んだ低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨または雪となりました。

月平均気温は、平年並か、平年に比べ低くなりました。  
月降水量は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。  
月間日照時間は、平年に比べ少くなりました。

#### 【4月】

月上旬：期間のはじめと終わりに高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や冬型の気圧配置の影響で雨の日が多くなりました。特に3日は急速に発達した低気圧の影響により、各地で暴風となりました。

中旬：天気は短い周期で変わりました。低気圧の影響で雨となった日や高気圧に覆われて晴れた日がありました。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、22日から23日と26日は気圧の谷の影響で雨となりました。

月平均気温は、泊と魚津では平年に比べ低く、南砺高宮で平年に比べ高くなったほかは、平年並でした。

月降水量は、平年並か、平年に比べ少くなりました。  
月間日照時間は、氷見と伏木で平年並となったほかは、平年に比べ少くなりました。

#### 【5月】

月上旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧の影響で、雨の日が多くなりました。特に期間の後半は上空に強い寒気が入り、大気の状態が不安定となって雷雨となった日がありました。

中旬：天気は数日の周期で変わりました。低気圧の影響で雨となった日や高気圧に覆われて晴れた日がありました。特に期間の後半は、寒気を伴った低気圧の影響で雷雨となった日がありました。

下旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、後半は低気圧や寒気の影響で雨の日が多くなりました。特に28日と29日は上空に寒気が入り、大気の状態が不安定となったため、雷雨となりました。

月平均気温は、伏木、砺波、南砺高宮で平年並となったほかは、平年に比べ低くなりました。  
月降水量は、西部では平年に比べかなり少ない地点が多く、東部では平年並の地点が多くなりました。

月間日照時間は、すべての地点で平年並となりました。

#### 【6月】

月上旬：期間のはじめと終りは、上空の寒気や気圧の谷の影響により曇りや雨となりましたが、そのほかの日は高気圧に覆われて晴れました。

中旬：期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日が多くなりましたが、後半は前線や台風の影響で雨の日が多くなりました。

下旬：期間の前半は、はじめ低気圧や前線の影響で雨となりましたが、その後は、高気圧に覆われて晴れました。後半は夏日が続き、30日はこの年の最初の真夏日となりました。

月平均気温は、すべての地点で平年並となりました。  
月降水量は、一部で平年に比べかなり少なくなったほかは、少なくなりました。  
月間日照時間は、一部で平年並となったほかは、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。

#### 【7月】

月上旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、梅雨前線の影響で雨の日が多くなりました。特に6日夜遅くから7日にかけては大雨となりました。

中旬：前半は、梅雨前線の影響で雨の日が多くなりましたが、後半は晴れた日が多くなりました。特に16日は全観測地点で最高気温が35℃を超える猛暑日となりました。

下旬：21日は上空に寒気が入って気圧の谷に暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった影響で西部を中心に大雨となりました。その後は、高気圧に覆われて晴れました。期間の後半は、猛暑日となった日が多くなりました。

月平均気温は、上市で平年に比べかなり高くなったほかは、高くなりました。  
月降水量は、泊、宇奈月、魚津及び伏木で平年に比べ多くなったほかは、平年並となりました。  
月間日照時間は、泊と上市で平年並となったほかは、平年に比べ多くなりました。

#### 【8月】

上旬：前半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、後半は上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で一時雨となる日がありました。

中旬：前半は、前線や気圧の谷の影響で雨の日が多く、後半は高気圧に覆われ晴れて、午後は大気の状態が不安定となり雷雨となった日が多くなりました。

下旬：高気圧に覆われ晴れて、午後は大気の状態が不安定となり、雷雨となった日が多くなりました。特に期間の終わりは強い雨の降った所がありました。

月平均気温は、平年に比べ高くなり、南砺高宮ではかなり高くなりました。  
月降水量は、砺波、南砺高宮で平年並となったほかは、平年に比べ少なくなりました。  
月間日照時間は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。

#### 【9月】

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、上空の寒気や前線の影響で大気の状態が不安定となり雷雨で激しく降った日もありました。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、前線や大気の状態が不安定となった影響で雨の降った日があり、特に11日は東部北で非常に激しく降った所がありました。

下旬：前半は低気圧や気圧の谷の影響で雨の日が多く、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。30日は台風第17号の影響で夕方から大雨や強い風が吹いた所がありました。

月平均気温は、平年に比べ2℃以上高くなった所が多く、かなり高くなりました。  
月降水量は、泊で平年に比べ多くなったほかは、平年並か平年に比べ少なくなりました。  
月間日照時間は、平年の130～160%となり、平年に比べかなり多くなりました。

#### 【10月】

上旬：前半は、台風と上空の気圧の谷や寒気の影響で、雨の日が多くなりましたが、後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

中旬：前線や寒気の影響で雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れまたは曇りとなった日が多くなりました。

下旬：高気圧と低気圧が交互に通過したため、天気は周期的に変わりました。

月平均気温は、魚津で平年並となったほかは、平年に比べ高くなりました。  
月降水量は、平年の80～140%となりました。伏木と八尾では平年に比べ少なく、魚津では平年に比べかなり多くなり、そのほかでは平年並か平年に比べ多くなりました。  
月間日照時間は、平年の110～120%となり、泊は平年並となりましたが、そのほかでは平年に比べ多いか、かなり多くなりました。

#### 【11月】

上旬：4日は高気圧に覆われて晴れたほかは、低気圧や冬型の気圧配置の影響で雨の日が多くなりました。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や寒気の影響で雨の日が多くなりました。

下旬：高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や寒気の影響で雨の日が多くなりました。27日は富山地方気象台で初雪を観測しました。

月平均気温は、平年に比べ低くなりました。  
月降水量は、富山で平年並となったほかは平年に比べ多いか、かなり多くなりました。  
月間日照時間は、伏木と砺波は平年に比べ少なくなったほかは、かなり少なくなりました。

#### 【12月】

上旬：低気圧や冬型の気圧配置の影響で雨や雪の日が多くなりました。特に9日と10日は強い寒気の影響で平地でも大雪となり、富山市では最深積雪43cmを記録しました。

中旬：13日と14日は高気圧に覆われて晴れました。そのほかは、日中に日が射す日もありましたが低気圧や寒気の影響で雨や雪の日が多くなりました。

下旬：低気圧や寒気の影響で雨や雪の日が多くなりました。また、27日は放射冷却現象の影響で各地は厳しい寒さとなりました。

月平均気温は、平年に比べかなり低くなりました。

月降水量は、泊で平年並となったほかは、平年に比べかなり多いか、多くなりました。

月間日照時間は、泊、氷見および南砺高宮で平年に比べ少なくなったほかは、平年並となりました。



第1表 平成24年災害別被害状況

(期間：平成24年1月1日～12月31日)

単位：千円

区分	災害名		発生年月日		被害		被害		被害		被害		被害		被害		被害		計				
	死者	負傷者	1月8日	1月24日～2月23日	1月17日～2月21日	3月17日	3月29日	4月2日～5日	5月6日	7月6日～8日	7月20日～22日	8月13日～14日	9月1日～6日	9月11日	9月23日	9月27日～10月11日	10月11日～12日	12月9日	12月11日～14日	12月24日			
人的被害	死者	人	1		1			2	1												5		
	行方不明者	人																					
	負傷者	重傷	人	1		7	2		12											2		24	
		軽傷	人	1		38	6	1	78										1	3	1	130	
	住家被害	全壊	棟																				
		半壊	棟			1		1														2	
		一部破損	棟			1			111														2
			世帯			1	1																113
		床上浸水	棟								80												82
		床下浸水	棟																				
			世帯			7						489	1	7	39	2	2						547
公共建物	棟																				222		
非住家	その他	棟			4			12		1											17		
り災害世帯数	世帯									609											609		
り災害数	田	流失・埋没	ha																				
		冠水	ha																				
	畑	流失・埋没	ha																				
		冠水	ha																				
	水路	箇所																					
		箇所																					
	農産物	箇所																					
		箇所																					
	農業施設	箇所																					
		箇所																					
	ため池	箇所																					
		箇所																					
	治山	箇所																					
		箇所																					
	種畜生産施設	箇所																					
		箇所																					
	道路	箇所																					
		箇所																					
	橋りょう	箇所																					
		箇所																					
河川	箇所																						
	箇所																						
公共土木施設	箇所																						
	箇所																						
海岸	箇所																						
	箇所																						
林業施設	箇所																						
	箇所																						
林地荒廃防止施設	箇所																						
	箇所																						



第2表 防災会議及び地域防災計画等の現況

その1 (平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	防災会議(平成24年度中)				防災会議の部会数(有:1)									
	設置 の有 無	開催 回数	開催目的		地震	風水害	火山災害	土砂災害	雪害	救助	救急医療	通信 連絡	原 子 力	そ の 他
			地域 防災 計画 の 修正	防災 行政 無線 等の 防災 備に										
富山市	有	3	3											
高岡市	有	2	2											
魚津市	有	3	3											
氷見市	有	3	3											
滑川市	有	2	2											
黒部市	有	1	1											
砺波市	有	3	3											
小矢部市	有	3	3	1										
南砺市	有	1	1											
射水市	有	3	3						1			1		
舟橋村	有								1					
上市町	有	2	2											
立山町	有													
入善町	有	1	1											1
朝日町	有	2	2											
合計		29	28	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0





第3表 防災・震災対策の状況

その2 (平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	災害対策本部等の設置回数 (平成24年中)		災害対策基本法第60条の発動回数						災害救助法 適用回数				
	災害対策基本法 第23条に基づく 災害対策本部	その他	勸告		指示		災害対策基本 法第63条の 発動回数	災害対策基本 法第64条の 発動回数		災害対策基本 法第65条の 発動回数	左に 係る 従事者数	災害対策基本 法第67条の 発動回数	災害対策基本 法第68条の 発動回数
			回数	世帯数	人数	回数							
富山市	1		1										
高岡市			7										
魚津市													
氷見市													
滑川市		1											
黒部市													
砺波市													
小矢部市													
南砺市													
射水市													
舟橋村													
上市町													
立山町													
入善町													
朝日町													
合計	1	1	7	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第4表 防災・震災訓練の状況

(平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	防災訓練											震災個別訓練の内容						その他				
	災害想定					訓練形態			震災総合訓練	震災個別訓練	職員参集	情報伝達	消火	避難誘導	救急救助	給食給水	応急物資搬送					
	風水害	土砂災害	・地津波震	トントン災害ナ	大火災	林野火災	災原子害力	火山災害											その他	実動訓練	図上訓練	通信訓練
富山市	4	2	1	4					1	3	1			1	3	1					1	
高岡市	2		1	1			1			2					1							
魚津市	1		1	1	1					1		1			1							
氷見市	6	1	1	5						6					5						5	
滑川市																						
黒部市	14			14						1		13			1							12
砺波市	3			1	2					3					1							
小矢部市	1		1	2	1					1					1						1	
南砺市	10	1		1	8					9	1				1							
射水市	2			1						2					1							
舟橋村																						
上市町																						
立山町	1		1	2						1					1						1	
入善町	2	1							1		1											
朝日町	1		1							1												
合計	47	4	5	33	0	12	0	1	3	30	3	14	0	10	23	7	9	7	7	7	0	13

第5表 災害対策啓発事業の実施状況

(平成24年度中)

区分 市町村名	広 報 誌	講 演 会 ・ 研 修 会	新 聞	ラ ジ オ ・ テ レ ビ ジ ョ ン	冊 子 ・ パ ン フ レ ッ ト	映 像 資 料 ( ビ デ オ 等 )	起 震 車 等 に よ る 人 数	そ の 他
富山市	6	1		52				
高岡市	2			365	1			1
魚津市	3	1		2				
氷見市	2							
滑川市	1				3			
黒部市	7	3					100	
砺波市	1			12				
小矢部市	1	1		1		1		
南砺市	9							
射水市	4	2		218			450	
舟橋村	1							
上市町	1	2						
立山町								
入善町	13			3				
朝日町	5	1		25			100	
合計	56	11	0	678	4	1	650	1



第6表 防災無線通信施設等の状況

(その1) (平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	同報無線														移動無線								
	設置場所別装置数							勤務時間外の伝達							戸別受信機配置形態		基地局数	中継局数	車載型	形態別移動局数			
	親局			遠隔制御機				操作可能			操作不可				全部設置	一部設置							
	市町村役場	農・漁協等	その他	市町村役場	消防機関	農・漁協等	その他	市町村役場	消防機関	その他	市町村役場	消防機関	その他	親局			中継局	屋外拡声子局	同報子局				
富山市	7			5						1			7	5	230	140	1,352	1	8	3	74	17	42
高岡市	3				3				1		1		3	1	53	7	331	1	2	1	34	3	7
魚津市	1				1								1		8	8	503	1	1		18	2	1
氷見市	1				1								1		32	32			1	1	4		36
滑川市	1				1								1		34	34	98	1	1		11	4	3
黒部市	2				2								2		40	30	5,881	1	2		32	11	
砺波市	1				1								1		12		730	1	2		41	4	9
小矢部市	1				1								1		15	10		1	1		3	1	2
南砺市	7				7								7	1	99	53	1,058	1	5	3	156	5	38
射水市	1				1								4		52	47	879	1	1		44		18
舟橋村																							
上市町	1				1								1	1	74	11	40	1	1		26		7
立山町	1				1								1	2	60	27	20	1	1		18	3	10
入善町	1				1								1		19	4	5,476	1	1		14	2	3
朝日町	1				1								1	1	23	23	231	1	1		9		15
合計	29	0	0	1	10	11	4	1	13	8	11	2	31	11	751	416	16,609	0	28	8	484	52	191

第6表 防災無線通信施設等の状況

(その2) (平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	防災無線に関する調査											有線放送 (世帯数)	ネットワーク通信 (世帯数)	CATV (世帯数)	コミュニティ放送
	移動場所			移動局数			フラクシミリ 装置数	テレメータ 装置数		維持費(千円)					
	役場 等	公 共 施 設	職 員 宅	指 定 機 関 方	消 防 機 関	自 主 防 災 組 織		警 察 機 関	医 療 機 関	そ の 他					
										地 域 防 災 無 線	同 報 無 線				
富山市	109	24						2		5,198		102,608	有		
高岡市	40	3			1					1,203		10,617	有		
魚津市	20				1					1,807					
氷見市	40				2					1,897					
滑川市	16				9					3,192					
黒部市	33									35,428					
砺波市	51	1			1		1			1,764					
小矢部市	3								3	699					
南砺市	199														
射水市	62									3,759					
舟橋村															
上市市	33									2,995					
立山町	31									611					
入善町	19									1,404					
朝日町	24							1		1,600					
合計	680	28	0	0	14	0	1	0	2	24,232	0	194,923	0		



第7表 自主防災組織の現況

(その2)(平成25年4月1日現在)

区分	自主防災組織の活動状況						災害時の活動					
	平常時の活動			自主防災組織の活動状況			災害時の活動			災害時の活動		
市町村名	防災訓練	防災知識の啓蒙	活動地域内の防災巡視	三角バケツ、消火器等の共同購入	その他	災害危険箇所等の巡視	情報収集・伝達の初期消火	負傷者等の救出・救護	住民誘導	給食給水	その他	
富山市	319	319	319	319		319	319	319	319	319		
高岡市	458	458	458		458	458	445	458	445	458		
魚津市	50	50	50			50	50	50	50	50		
氷見市	22	22	22			22	22	22	22	22		
滑川市	142	142	142	142		172	172	142	142	4		
黒部市	104	104	104			104	104	104	104	104		
砺波市	27	27	27			27	27	27	27	27		
小矢部市	18	18	18			189	189	189	189	189		
南砺市	104		104	104		3	50		20			
射水市	167	167	167			167	167	167	167	167		
舟橋村	12	12			12		12	12	12			
上市町	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
立山町	109	109	109			109	109	109	109	109		
入善町	22	22				22	22	22	22	22		
朝日町	86	86				86	86	86	86	86		
合計	1,740	1,636	1,620	665	570	1,779	1,874	1,807	1,814	1,404	100	

第7表 自主防災組織の現況

(その3) (平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	自主防災組織の活動状況											可搬式動力ポンプ		
	資機材の保有状況											台	数組	数
	消火器、三角バケツ等の初期消火用資機材	携帯用無線通信機	インターネット	情報連絡用資機材	ジャッキ、パールの救助用資機材	テント、担架等の避難救出用資機材	土嚢用袋、かけや等の防水用資機材	救急医療用セツト、ろ水器等の救助資機材	ヘルメット、防火衣等の個人装備	ビデオ装置等の防災知識普及用資機材	台			
富山市	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	37	36	
高岡市	364	364	364	364	364	364	364	364	364	364	364	23	23	
魚津市	27		30	24	36	36	36	36	26	26	32	11	3	
氷見市	20	8	17	18	21	14	18	14	18	21	21	3	3	
滑川市	113	2	25	25	25	1	25	1	25	28	28	21	21	
黒部市	104	6	104	104	99	104	104	104	26	104	104	2	2	
砺波市	27		20	27	27	27	27	27	27	27	27	18	18	
小矢部市	55	37	77	18	80	59	18	59	37	18	18	29	9	
南砺市	104	15	34	20	35	3	20	3	27	79	79	6	6	
射水市	75	11	60	93	87	9	93	9	86	94	94	32	32	
舟橋村		1	4	1	4	1	1	1	4	4	4			
上市町	26		28	12	27	8	12	8	14	35	35	2	2	
立山町	42	5	36	29	55	33	29	33	17	53	53			
入善町	19		18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	
朝日町	86	44	69	85	86	7	85	7	69	86	86			
合計	1,192	259	1,016	968	1,094	814	888	1,093	24	202	173			

# 第8表 災害危険箇所等の現況

(その1) 点検実施回数：(平成24年度)  
その他：(平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	災害危険箇所等																
	急傾斜地崩壊危険箇所						地すべり危険箇所						土石流危険渓流				
	法律指定箇所						法律指定箇所						うち地域防 災計画掲載 数	点検実施 延べ回数			
	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数			箇所数	点検実施 延べ回数	
富山市	64	64	781	781	6	781	781	781	6	78	3	94	94	2	338	338	1
高岡市	57	57	95	96	96	96	11	11	11	11	11	14	14	14	152	152	152
魚津市	29	29	108	108	10	108	108	17	17	7	7	18	18	4	92	92	10
氷見市	123	123	723	723	10	723	723	82	82	10	10	74	74	10	240	240	10
滑川市	5	5	32	32	8	32	32	5	5	10	10	7	7	14	11	11	12
黒部市	18	18	44	44	44	44	10	10	10	10	10	6	6	6	53	53	53
砺波市	15	15	70	70	30	70	70	20	20	40	40	16	16	16	32	32	32
小矢部市	18	18	113	113	18	113	113	29	29	29	29	28	28	28	40	40	40
南砺市	22	22	346	346	22	346	346	29	29	29	29	34	34	34	211	211	211
射水市	5	4	17	4	17	4	1	1	1	1	1	1	1	9	5	5	5
舟橋村																	
上市町	12	12	46	46	36	46	7	7	21	21	21	7	7	21	67	67	201
立山町	11	1	61	61	1	61	11	11	1	1	1	5	5	1	63	63	1
入善町	2	2	10	4	10	4						2	2		1	1	1
朝日町	13	13	52	52	3	52	15	15	3	3	3	22	22	3	81	81	3
合計	394	382	2,498	2,419	845	2,419	315	304	174	327	316	153	1,390	1,323	726	726	726

第8表 災害危険箇所等の現況

(その2)  
 点検実施回数：(平成24年度)  
 その他：(平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	災害危険箇所等														
	山地に起因する災害危険箇所			なだれ災害危険箇所			河川			海岸			ため池		
	箇所数	うち地域防災計画掲載数	点検実施延べ回数	箇所数	うち地域防災計画掲載数	点検実施延べ回数	箇所数	うち地域防災計画掲載数	点検実施延べ回数	箇所数	うち地域防災計画掲載数	点検実施延べ回数	箇所数	うち地域防災計画掲載数	点検実施延べ回数
富山市	184	184	1	384	384	1	272	272	50	1	1	1	23	23	5
高岡市	125	125	125	63	63	63	144	144	144	1	1	1	79	79	79
魚津市	105	105	10	85	85	4	24	24	8				19	19	4
氷見市	224	224	10	336	336	10	31	31	10	8	8	10	103	103	10
滑川市	7	7	12	8	8	16	5	5	10	3	3	4			
黒部市	97	97	97	54	54	54	32	32	32	1	1	1	11	11	11
砺波市	47	47	47	61	61	61	42	30	42				26	26	26
小矢部市	61	61	61	40	40	40	73	73	73				182	182	182
南砺市				375	375	375	31	31	31				40	40	40
射水市	14	14					1	1		43	43		48	44	
舟橋村															
上市町	33	33	99	41	41	123	3	3	9				11	11	33
立山町	99		1	48		1	19		2				5		
入善町	1	1		6	6		3	3		2	2		1	1	
朝日町	99	99	3	55	55	3	6	6	4	2	2	2	2	2	
合計	1,096	997	466	1,556	1,508	751	686	655	415	61	61	19	550	474	390

第8表 災害危険箇所等の現況

(その3) 点検実施回数：(平成24年度)  
その他：(平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	災害危険箇所等											
	宅地造成工事規制区域			建築基準法による災害危険区域			その他			土砂災害危険箇所		
	法律指定			法律指定			(砂防指定地)			法律指定以外		
	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	点検実施 延べ回数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	点検実施 延べ回数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	点検実施 延べ回数	箇所数	うち地域防 災計画掲載 数	点検実施 延べ回数
富山市				471	471	336	142	142	9	1,868	1,868	346
高岡市				29	29	29	68	68	68	387	387	387
魚津市				78	78	10	46	46	17	323	323	44
氷見市			1	88	88	10	205	205	20	1,261	1,261	40
滑川市				17	17	30	10	10	18	66	66	56
黒部市				60	59	60	28	28	28	200	200	200
砺波市				67	67	67	35	35	70	225	218	225
小矢部市				573	573	573	47	47	47	242	242	242
南砺市							51	51	51	936	936	936
射水市							6	5		40	23	
舟橋村												
上市町			3	53	53	159	20	20	60	206	206	618
立山町				34		1	22	22	2	228		4
入善町							2	2		14	8	
朝日町				68	68	3	28	28	6	254	254	15
合計	0	0	4	1,538	1,503	1,278	710	687	396	6,250	5,992	3,113



第9表 避難場所・施設等の状況

(平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	指定避難場所及び施設											避難誘導標識設置数	避難路		幅員15m以上 延長							
	避難場所					避難施設							路	延長 (km)								
	(グラウンド)校	広保育所・幼稚園の場	公園・広場	河川敷	(グラウンドを除く)校	境内寺院等の	その他	計	学校	幼稚園・保育園	公民館					集会所	体育館	神社・寺院	その他	計		
富山市	26		16		2		18	116		18	6	23		39	202	22						
高岡市	53		6				59	54	15	27		5	1	83	185	5						
魚津市	18		22		2		44	19	1	10	2	1	3	36		2						
氷見市	22		11				161	22	14	6	81	3	60	7	193	5						
滑川市	11		3		3		19	10	7	9	14	1		2	43	4						
黒部市								16	14	17	5	7		15	74	5						
砺波市	10		13		1		32	13	15	153	13			8	202	3						
小矢部市	11		14		2		46	12	13	15	6			12	58	6						
南砺市	17		23		15		65	23	16	22	21	16		11	109	28						
射水市	26		19		15		86	26	26	25	13	11		14	115	5						
舟橋村	2		2				5	2	1	9			1	3	16							
上市町	8		1				9	9	7	11	1	4		5	37	4						
立山町	10		11		4		40	13	11	15	1	2		9	51							
入善町	9		27		1		47	8				4		4	16	9						
朝日町	4						21	4	1	1	8	1		4	19	1						
合計	201	66	168	2	45	65	652	347	141	338	165	84	62	219	1,356	99	560	617	178	127	0	0

# 第10表 備蓄等の状況

(平成25年4月1日現在)

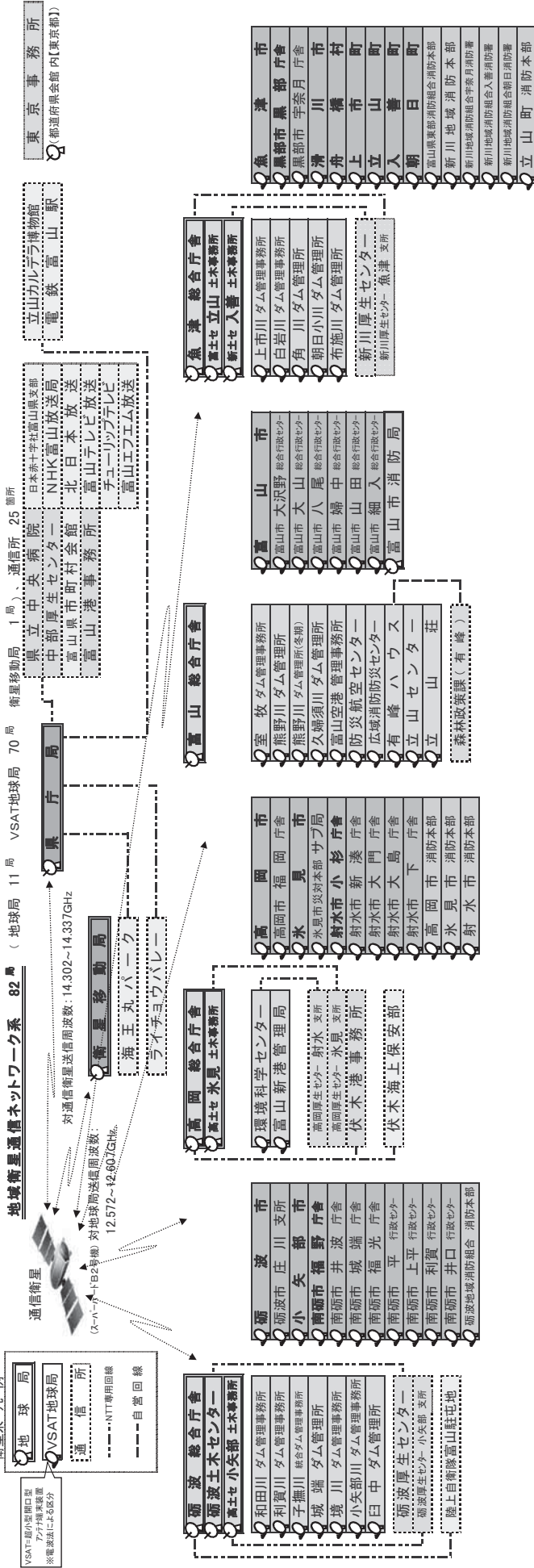
区分	備蓄倉庫等の棟数(借上げを含む)							備蓄物資等の状況																
	食糧	生活必需物資	防災資機材	①と②の兼用	①と③の兼用	②と③の兼用	①②③の兼用	食糧			飲料		毛被		日用品		医薬品	テント	担架	トイ	浄水装置	初期消火用	防災資機材	
								乾パン	麺類	インスタント	米	主食	副食	食糧	水	布							等服	懐中電灯
富山市				16				16	8,540		15,684	12,530	346	16	19	1,171							有	有
高岡市			14	16				1,674		33,012	1,310	20	38	23	46,070					2		有	有	
魚津市			9	1			420	3,290	1,134	8,396	1,134		12	15	256							有	有	
水見市			4	1			265		1,890	1,452	1,890		5	60	60				2			有	有	
滑川市	1						330		590	3,000	590		45	200	300							有	有	
黒部市				5			470		1,070	3,000	1,070		30	100	13							有	有	
砺波市							11,264		830		830		31	24	24									
小矢部市			2	3			33		2,320	22,404	2,320	460	6	6	17							有	有	
南砺市									1,175		1,175		1	4	4							有	有	
射水市									5,767	6,560	5,767		115	5	5	11,750			1				有	有
舟橋村				1			45	672	665	564	665	30	4	4								有	有	
上市町			1				223		497		497		20	26	26									
立山町	2			2			96		989	792	989	10												
入善町						1			544		544			10	22									有
朝日町						1	60		180	300	180		3									有		
合計	3	2	72	44	0	15	12,156	446	31,491	95,164	31,491	1,060	628	437	278	59,691			5					

第11表 相互応援協定の状況

(平成25年4月1日現在)

区分 市町村名	市町村間の相互応援協定の有無	うち他府県 市町村が 含まれる 協定の有無	民間機関等との相互応援協定の締結状況(有:1)							郵便局との 相互応援協定の 有無
			放送協定	報道協定	救急救護協定	輸送協定	災害復旧協定	物資協定	その他	
富山市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
高岡市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
魚津市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
氷見市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
滑川市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
黒部市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
砺波市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
小矢部市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
南砺市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
射水市	有	有	1	1	1	1	1	1	1	有
舟橋村	有							1	1	
上市町	有				1			1	1	
立山町	有	有						1	1	有
入善町	有	有			1			1	1	有
朝日町										有
合計			8	1	3	2	14	14	8	

# 富山県高度情報通信ネットワーク系 回線構成図



## 衛星系

## 地上系

[400 MHz帯]		[150 MHz帯]	
入善中継局	向	入善中継局	向
泉羽中継局	向	泉羽中継局	向
利賀中継局	向	利賀中継局	向

[400 MHz帯]		[150 MHz帯]	
入善中継局	向	入善中継局	向
泉羽中継局	向	泉羽中継局	向
利賀中継局	向	利賀中継局	向

[150 MHz帯]		陸上移動局 (車載型 23局・携帯型 1局)	
車載型 13	携帯型 1	富山土木センター (1)	砺波土木センター (2)
		高岡土木センター (1)	新土セ 山 土木事務所 (1)
		新川土木センター (1)	富土セ 入 普 土木事務所 (1)

## 地区別系移動局 202局 (基地局 31局 中継局 2局 陸上移動局 229局 (車載型 196局 携帯型 33局))

猫池 中継局 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
砺波土木センター	20 2
大敦トネル	
和田川ダム管理事務所	1
利賀川ダム管理事務所	2
利賀川ダム管理事務所(冬期)	
城端ダム管理事務所	1
境川ダム管理事務所	1
境川ダム(久野)	2
小女部川ダム管理事務所	1
臼中ダム管理事務所	1
計	27 6

高岡地区 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
高岡土木センター	21 2
水島地区 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
高土セ 水 貝 土木事務所	15 2
小女部地区 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
高土セ 小女部 土木事務所	14 2
子撫川 統合ダム管理事務所	3 3
計	53 9

富山地区 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
富山土木センター	41 2
室牧ダム管理事務所	1
熊野川ダム管理事務所	1
久彌須川ダム管理事務所(冬期)	1
森林政策策進(有 峰)	10
林道有峰線 竜谷 連絡所	
林道有峰線 水須 連絡所	
計	54 5

魚津地区 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
新川土木センター	19 2
角川ダム管理事務所	1
立山地区 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
富土セ 立 山 土木事務所	22 2
上市川ダム管理事務所	1
白岩川ダム管理事務所	1
計	62 13

入善地区 400MHz帯	
基地局 設置機関名	車載型 携帯型
新土セ 入 善 土木事務所	14 2
朝日小川ダム管理事務所	1
布施川ダム管理事務所	1
大谷川ダム	1
舟川ダム(入善土木)	1
計	62 13

## 第14章 国民保護の概況

### 国民保護の普及推進

#### 1. 国民保護の概要

平成16年9月に、武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（通称 国民保護法）が施行され、武力攻撃や大規模テロなどの事態が発生した際に、国、県、市町村など関係機関が相互に連携協力して、住民を守るため、各機関が国民の保護に関する計画を作成し、住民の避難や避難住民の救援など国民の保護に関する措置を行うこととされた。

#### 2. 県国民保護計画等

県は、国民保護法及び国の定める基本指針に基づき、平成18年3月に県国民保護計画を作成した。さらに、平成18年度には、市町村において国民保護計画が、また、指定地方公共機関（県内15機関（平成23年4月に1機関追加））でも、国民保護業務計画がそれぞれ作成された。

平成20年10月に国の「国民の保護に関する基本指針」が変更されたこと等に伴い、平成22年3月に県国民保護計画を一部変更した。

##### ・富山県国民保護協議会

知事の諮問に応じ、国民保護に関する重要事項の審議を行う機関で、県の国民保護計画作成にあたっての審議を行う。（会長：知事 委員：58名）

#### 3. 国民保護に関する会議の開催

市町村国民保護担当課長会議 : 2回（4月、12月）

#### 4. 国民保護の普及推進

##### ・富山県国民保護フォーラム in 射水市

- (1) 開催日時：平成25年2月2日（金）
- (2) 会 場：高周波文化ホール
- (3) 参加人数：約300人

#### 5. 国民保護訓練の実施

県では、テロや武力攻撃事態における対処能力の向上を図るため、国や市町村、関係機関等と共同するなどして、平成17年度から毎年事態想定を変えて、国民保護訓練を実施している。

24年度は、初の国との共同での実動訓練を実施した。

##### ・平成24年度富山県国民保護共同実動訓練

- (1) 実施日時：平成24年11月12日（月） 13:00～15:30
- (2) 訓練場所：海王丸パーク

射水市堀岡地区（避難場所：下村体育館）

- (3) 事態想定：緊急対処事態（大規模集客施設における爆破テロ）

- (4) 参加人数：約400人（内閣官房、消防庁、陸上自衛隊（第14普通科連隊、第382施設中隊）、自衛隊富山地方協力本部、伏木海上保安部、中部管区警察局富山県情報通信部、富山県、富山県警察本部、射水警察署、射水市、射水市消防本部、富山市消防局、高岡市消防本部、氷見市消防本部、富山県立中央病院、厚生連高岡病院、富山大学附属病院、黒部市民病院、富山市民病院、市立砺波総合病院、射水市民病院、日本赤十字社富山県支部、富山福祉短期大学、（公財）伏木富山港・海王丸財団、射水市消防団、堀岡地域振興会、県内全市町村（情報伝達訓練に参加））

- (5) 内 容：県、市及び消防機関等の関係機関が、実際に保有する資機材を活用し、初動対応や被災者の救出・救護、住民避難などの訓練を実地に行い、関係機関相互の機能確認や連携強化など、国民保護に係る対処能力の向上を図った。

## 防災関係機関連絡先一覧表

(国の機関)

機 関 名	担 当 課	所 在 地	電 話	F A X
内閣府	地震・火山対策担当	(〒100-8969) 千代田区霞が関1-2-2	03(3501)5693	03(3501)5199
	災害応急対策担当		03(3501)5408	03(3503)5690
消防庁	防災課	(〒100-8927) 千代田区霞が関2-1-2	03(5253)7525	03(5253)7535
	宿直室		03(5253)7777	03(5253)7553
警察庁 中部管区警察局 富山県情報通信部	広域調整第二課	(〒460-0001) 名古屋市中区三の丸2-1-1	052(951)6000	052(954)8880
	機動通信課	(〒930-8570) 富山市新総曲輪1-7	076(441)2211	076(441)6655
総務省 北陸総合通信局	総務課	(〒920-8566) 金沢市広坂2-2-60	076(233)4412	076(233)4419
財務省 北陸財務局 富山財務事務所	総務課	(〒930-8554) 富山市丸の内1-5-13	076(432)5521	076(432)5779
厚生労働省 東海北陸厚生局 富山労働局	総務課	(〒461-0011) 名古屋市東区白壁1-15-1	052(971)8831	052(971)8861
	総務課	(〒930-8509) 富山市神通本町1-5-5	076(432)2727	076(432)6471
農林水産省 北陸農政局 富山地域センター 中部森林管理局 名古屋事務所 富山森林管理署	農産課	(〒920-8566) 金沢市広坂2-2-60	076(232)4302	076(232)5824
	農政推進課	(〒930-0856) 富山市牛島新町11-7	076(441)9300	076(441)9325
	企画調整室	(〒380-8575) 長野市大字栗田715-5	026(236)2657	026(291)5131
		(〒456-8620) 名古屋市熱田区熱田西町1-20	050(3160)6660	052(683)9219
	総務課	(〒939-8214) 富山市黒崎字塚田割591-2	050(3160)6080	076(424)4934
経済産業省 中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局 中部近畿産業保安監督部 北陸産業保安監督署	総務課	(〒460-8510) 名古屋市中区三の丸2-5-2	052(951)2683	052(962)6804
	総務課	(〒930-0856) 富山市牛島新町11-7	076(432)5588	076(432)5526
	管理課	(〒460-8510) 名古屋市中区三の丸2-5-2	052(951)0558	052(951)9803
		(〒930-0856) 富山市牛島新町11-7	076(432)5580	076(432)0909
国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所  黒部河川事務所 立山砂防事務所 利賀ダム工事事務所 伏木富山港湾事務所 北陸技術事務所富山出張所 北陸信越運輸局 富山運輸支局 伏木庁舎 伏木海上保安部 富山地方气象台 大阪航空局 小松空港事務所 富山空港出張所	防災課	(〒950-8801) 新潟市中央区美咲町1-1-1	025(280)8836	025(370)6691
	調査第一課	(〒930-8537) 富山市奥田新町2-1	076(443)4715	076(443)4716
	道路管理第一課		076(443)4722	076(443)4723
	防災課		076(443)4728	076(443)4729
	河川管理課	(〒938-0042) 黒部市天神新173	0765(52)1122	0765(52)4211
	調査・品質確保課	(〒930-1406) 立山町芦峰寺ブナ坂61	076(482)1111	076(481)1101
	調査設計課	(〒939-1363) 砺波市太郎丸1-5-10	0763(33)4701	0763(33)6213
	沿岸防災対策室	(〒930-0856) 富山市牛島新町11-3	076(441)1901	076(443)1480
		(〒939-3544) 富山市水橋入江334-4	076(478)5511	076(478)5517
	総務課	(〒950-8537) 新潟市中央区美咲町1-2-1	025(285)9000	025(285)9170
	総務企画部門	(〒930-0992) 富山市新庄町馬場82	076(423)0894	076(423)1525
	海事部門	(〒933-0105) 高岡市伏木錦町11-15	0766(44)1367	0766(44)1368
	警備救難課	(〒933-0105) 高岡市伏木錦町11-15	0766(44)0195	0766(44)7147
	防災業務課	(〒930-0892) 富山市石坂2415	076(432)2331	076(442)4260
	管理課	(〒923-0993) 小松市浮柳町目21	0761(24)0828	0761(22)4632
		(〒939-8252) 富山市秋ヶ島35	076(495)3088	076(429)6762
防衛省 自衛隊富山地方協力本部 陸上自衛隊第14普通科連隊 陸上自衛隊第382施設中隊 航空自衛隊第6航空団 海上自衛隊舞鶴地方総監部	総務課	(〒930-0856) 富山市牛島新町6-24	076(441)3271	076(441)3279
	第3科	(〒921-8520) 金沢市野田町1-8	076(241)2171	内283 FAX内213
	防災係	(〒939-1338) 砺波市鷹栖出935	0763(33)2392	内265 FAX内281
	防衛部	(〒923-8586) 小松市向本折町戊267	0761(22)3751	0761(22)3751
	防衛部第3幕僚室	(〒625-8510) 舞鶴市余部下1190	0773(62)2250 内線2548	0773(64)3609

## (県等の機関)

機 関 名	担 当 課	所 在 地	電 話	F A X
知事政策局	知事政策局	(〒930-8501) 富山市新総曲輪1-7	076(444)4494	076(444)3473
	消防課	〃	076(444)3188	076(444)3489
	防災・危機管理課	〃	076(444)3187	076(444)3489
経営管理部	人事課	〃	076(444)3162	076(444)3484
	管財課	〃	076(444)3174	076(444)3486
生活環境文化部	県民生活課	〃	076(444)3128	076(444)3477
	環境保全課	〃	076(444)3142	076(444)3481
厚生部	厚生企画課	〃	076(444)3196	076(444)3491
	医務課	〃	076(444)3219	076(444)3495
	健康課	〃	076(444)3225	076(444)3496
商工労働部	商工企画課	〃	076(444)3242	076(444)4401
農林水産部	農林水産企画課	〃	076(444)3264	076(444)4407
	農村整備課	〃	076(444)3377	076(444)3437
	森林政策課	〃	076(444)3394	076(444)4429
土木部	管理課	〃	076(444)3307	076(444)4414
	建設技術企画課	〃	076(444)3313	076(442)7954
	道路課	〃	076(444)3108	076(444)4416
	河川課	〃	076(444)9098	076(444)4417
	砂防課	〃	076(444)3342	076(444)4420
	港湾課	〃	076(444)3335	076(444)4419
企業局	経営管理課	(〒930-0094) 富山市安住町2-14	076(444)2139	076(444)2154
教育委員会	教育企画課	(〒930-8501) 富山市新総曲輪1-7	076(444)3430	076(444)4433
警察本部	警備課	(〒930-8570) 〃	076(441)2211	内線5722
	地域課	〃 〃	076(441)2211	内線3572
	交通規制課	〃 〃	076(441)2211	内線5162
総合県税事務所	企画管理課	(〒930-8548) 富山市舟橋北町1-11	076(444)4503	076(444)4514
新川厚生センター 魚津支所		(〒938-0025) 黒部市堀切新343	0765(52)1224	0765(52)4440
		(〒937-0805) 魚津市本江1397	0765(24)0359	0765(24)9220
中部厚生センター		(〒930-0355) 上市町横法音寺40	076(472)1234	076(473)0667
高岡厚生センター 射水支所 氷見支所		(〒933-8523) 高岡市赤祖父211	0766(26)8413	0766(26)8464
		(〒939-0351) 射水市戸破1875-1	0766(56)2666	0766(56)5494
		(〒935-0021) 氷見市幸町34-9	0766(74)1780	0766(74)0374
砺波厚生センター 小矢部支所		(〒939-1506) 南砺市高儀147	0763(22)3511	0763(22)7235
		(〒932-0833) 小矢部市綾子260-1	0766(67)1070	0766(67)4270
富山市保健所		(〒939-8588) 富山市蟻川459-1	076(428)1155	076(428)1150
心の健康センター		(〒939-8222) 〃	076(428)1511	076(428)1510
新川農林振興センター	総務課	(〒937-0863) 魚津市新宿10-7	0765(22)9133	0765(22)9154
富山農林振興センター	総務課	(〒930-0096) 富山市舟橋北町1-11	076(444)4463	076(444)4515
高岡農林振興センター	総務課	(〒933-0806) 高岡市赤祖父211	0766(26)8440	0766(26)8466
砺波農林振興センター	総務課	(〒939-1386) 砺波市幸町1-7	0763(32)8120	0763(32)8140
新川土木センター 入善土木事務所	工務第一課	(〒937-0863) 魚津市新宿10-7	0765(22)9119	0765(22)9153
	工務課	(〒939-0642) 入善町上野11473	0765(72)1133	0765(74)2071
富山土木センター 立山土木事務所	施設管理課	(〒930-0096) 富山市舟橋北町1-11	076(444)4450	076(444)4517
	工務課	(〒930-0221) 立山町前沢2359-5	076(463)1101	076(463)2698
高岡土木センター 氷見土木事務所 小矢部土木事務所	施設管理課	(〒933-0806) 高岡市赤祖父211	0766(26)8428	0766(26)8465
	工務課	(〒935-0023) 氷見市朝日丘9-24	0766(74)0949	0766(74)5464
	工務課	(〒932-0051) 小矢部市今石町2-13-1	0766(67)5984	0766(67)6554
砺波土木センター	工務第一課	(〒939-1532) 南砺市寺家330	0763(22)3525	0763(22)6698

## ( 市 町 村 )

市町村名	担当課	所 在 地	電 話	F A X
富 山 市	防 災 対 策 課	( 〒930-8510 ) 富山市新桜町7-38	076-443-2181	076-443-2039
高 岡 市	総 務 課 危 機 管 理 室	( 〒933-8601 ) 高岡市広小路7-50	0766-20-1229	0766-20-1325
魚 津 市	地 域 協 働 課	( 〒937-8555 ) 魚津市釈迦堂1-10-1	0765-23-1078	0765-23-1182
氷 見 市	総 務 課	( 〒935-8686 ) 氷見市丸の内1-1	0766-74-8021	0766-74-8255
滑 川 市	総 務 課	( 〒936-8601 ) 滑川市寺家町104	076-475-2111 内線 217	076-475-6299
黒 部 市	総 務 課	( 〒938-8555 ) 黒部市三日市725	0765-54-2111 内線 133, 134	0765-54-4461
砺 波 市	総 務 課	( 〒939-1398 ) 砺波市栄町7-3	0763-33-1111 内線 211, 213	0763-33-5325
小 矢 部 市	総 務 課	( 〒932-8611 ) 小矢部市本町1-1	0766-67-1760 内線 233	0766-68-2171
南 砺 市	総 務 課	( 〒939-1596 ) 南砺市苗島4880	0763-23-2003	0763-22-1114
射 水 市	総 務 課	( 〒939-0393 ) 射水市戸破1511	0766-57-1628	0766-57-0528
舟 橋 村	総 務 課	( 〒930-0295 ) 舟橋村仏生寺55	076-464-1121 内線 21	076-464-1066
上 市 町	総 務 課	( 〒930-0393 ) 上市町法音寺1	076-472-1111 内線 215	076-472-1115
立 山 町	総 務 課	( 〒930-0292 ) 立山町前沢2440	076-462-9965	076-463-1254
入 善 町	総 務 課	( 〒939-0693 ) 入善町入膳3255	0765-72-1100 内線 213	0765-74-0067
朝 日 町	総 務 課	( 〒939-0793 ) 朝日町道下1133	0765-83-1100 内線 225	0765-83-1109



## (公共機関)

機 関 名	担 当 課	所 在 地	電 話	F A X
独立行政法人国立病院機構 東海北陸ブロック事務所	総務経理課	(〒460-0001) 名古屋市中区三の丸4-1-1	052(968)5171	052(968)5168
日本郵政(株) 北陸支社	総務部 経営企画担当	(〒920-8797) 金沢市尾張町1-1-1	076(220)3122	076(264)0851
西日本旅客鉄道(株) 金沢支社	総務企画課	(〒920-0005) 金沢市高柳町9-1-1	076(253)5204	076(253)5207
北陸地域鉄道部		(〒930-0001) 富山市明輪町1-227	076(444)8982	076(444)8983
西日本電信電話(株) 富山支店	設備部	(〒930-0017) 富山市東田地方町1-1-30	076(439)4560	076(439)4530
(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ 北陸支社	NW部災害対策室	(〒920-8202) 金沢市西都1-5	076(225)2065	076(225)2178
中日本高速道路(株) 金沢支社	企画調整チーム	(〒920-0365) 金沢市神野町東170	076(240)4977	076(240)4991
富山保全・サービスセンター		(〒939-8214) 富山市黒崎439	076(421)9048	076(491)7529
金沢保全・サービスセンター		(〒920-0365) 金沢市神野町東170	076(249)8111	076(249)8119
日本赤十字社 富山県支部	事業推進課	(〒930-0859) 富山市牛島本町2-1-38	076(441)4885	076(433)2657
(公社)富山県医師会		(〒939-8222) 富山市蛭川336	076(429)4466	076(429)6788
(公社)富山県薬剤師会		(〒930-0018) 富山市千歳町1-4-1	076(432)2577	076(442)3308
(公社)富山県看護協会		(〒930-0885) 富山市鶴島字川原1907-1	076(433)5680	076(433)6428
(福)富山県社会福祉協議会		(〒930-0094) 富山市安住町5-21	076(432)2958	076(432)6146
日本銀行 富山事務所		(〒930-0046) 富山市堤町通り1-2-26	076(424)4471	076(494)1158
日本放送協会 富山放送局	放送部 (報道)	(〒930-8502) 富山市新総曲輪3-1	076(444)6613	076(442)6092
北日本放送(株)	報道部	(〒930-0858) 富山市牛島町10-18	076(433)8515	076(433)8560
富山テレビ放送(株)	報道部	(〒939-8550) 富山市新根塚町1-8-14	076(492)7107	076(491)2663
(株)チューリップテレビ	ニュース&ブランチング ・グループ	(〒930-8539) 富山市奥田本町8-24	076(433)9886	076(433)7691
富山エフエム放送(株)	放送部	(〒930-8567) 富山市奥田町2-11	076(442)5533	076(432)2344
(株)北日本新聞社		(〒930-0094) 富山市安住町2-14	076(445)3300	076(431)2110
富山新聞社		(〒930-8520) 富山市大手町5-1	076(491)8111	076(491)2511
日本通運(株) 富山支店		(〒930-0996) 富山市新庄本町2-8-59	076(452)5500	076(452)5520
(一社)富山県トラック協会		(〒939-2708) 富山市婦中町島本郷1-5	076(495)8800	076(495)1600
北陸電力(株)	総務部総務チーム	(〒930-8686) 富山市牛島町15-1	076(405)3328	076(405)0113
関西電力(株) 北陸支社	総務・広報グループ	(〒930-8513) 富山市東田地方町1-2-13	076(432)6111	076(442)8219
富山地方鉄道(株)	総務課	(〒930-0012) 富山市桜町1-1-36	076(432)5540	076(433)0743
加越能鉄道(株)	運行課	(〒933-0062) 高岡市江尻字村中1243-1	0766(21)0748	0766(25)4378
万葉線(株)	総務部総務課	(〒933-0073) 高岡市荻布字川西68	0766(25)4139	0766(25)4119
富山ライトレール(株)	経営企画部	(〒931-8325) 富山市城川原3-3-45	076(426)1770	076(426)1775
日本海ガス(株)	総務グループ	(〒930-8588) 富山市城北町2-36	076(441)1811	076(442)3025
高岡ガス(株)	供給部	(〒933-0941) 高岡市内免2-1-43	0766(22)0709	0766(23)6617
(一社)日本コミュニティガス協会北陸支部		(〒930-0857) 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま8F	076(441)3241	076(441)3244
(一社)富山県エルピーガス協会		(〒930-0004) 富山市桜橋通り6-13 フコク生命第一ビル4F	076(441)6993	076(441)6996

## (市町村消防)

消防本部名	本部・署	所在地	電話	F A X
富山市消防局	本部(局)	(〒939-8075) 富山市今泉191-1	076(493)4141	076(493)5665
	富山署			076(493)4809
	富山北署	(〒931-8336) 富山市高島町1-10-30	076(437)7141	076(437)7142
	呉羽署	(〒930-0138) 富山市呉羽町2417-5	076(436)5040	076(436)2166
	水橋署	(〒939-0526) 富山市水橋館町420-1	076(478)0061	076(478)0046
	大沢野署	(〒939-2256) 富山市上二杉202	076(468)1212	076(468)1242
	大山署	(〒930-1326) 富山市花崎737	076(483)1119	076(483)1194
	八尾署	(〒939-2341) 富山市八尾町鏡町595-5	076(454)2119	076(455)0336
	婦中署	(〒939-2753) 富山市婦中町笹倉128	076(466)2280	076(466)3048
高岡市消防本部	本部	(〒933-0057) 高岡市広小路5-10	0766(22)3131	0766(26)7002
	高岡署			0766(26)7004
	伏木署	(〒933-0101) 高岡市伏木国分1-10-1	0766(44)1122	0766(44)7990
	戸出署	(〒939-1117) 高岡市戸出大清水281	0766(63)0045	0766(63)4467
	福岡署	(〒939-0121) 高岡市福岡町下老子748	0766(64)3305	0766(64)6119
射水市消防本部	本部	(〒939-0332) 射水市橋下条1522	0766(56)0119	0766(56)9543
	射水署			
富山県東部消防組合消防本部	新湊署	(〒934-0011) 射水市新湊町2-13-1	0766(82)8333	0766(82)6826
	本部	(〒937-0805) 魚津市本江3197-1	0765(24)0119	0765(23)9178
	魚津署			
	滑川署	(〒936-0053) 滑川市上小泉24	076(475)0180	076(475)7719
氷見市消防本部	上市署	(〒930-0362) 上市町稗田36	076(472)2244	076(473)0055
	本部	(〒930-0063) 氷見市加納387-1	0766(74)8300	0766(74)8338
新川地域消防本部	氷見署			
	本部	(〒938-0014) 黒部市植木761-1	0765(54)0119	0765(54)3992
	黒部署			
	入善署	(〒939-0626) 入善町入膳3520-1	0765(72)0135	0765(72)0937
砺波地域消防組合消防本部	朝日署	(〒939-0731) 朝日町東草野1608	0765(83)0009	0765(83)1867
	宇奈月署	(〒938-0282) 黒部市宇奈月温泉322-3	0765(62)1226	0765(62)2010
	本部	(〒939-1328) 砺波市大辻501	0763(32)4957	0763(32)2230
立山町消防本部	砺波署		0763(33)0119	0763(32)2081
	小矢部署	(〒932-0052) 小矢部市泉町2-37	0766(67)0119	0766(67)5108
	南砺署	(〒939-1661) 南砺市天神242	0763(52)0119	0763(52)4496
立山町消防本部	本部	(〒930-3265) 立山町米沢36	076(463)0005	076(463)1610
	立山署			